

特17-601



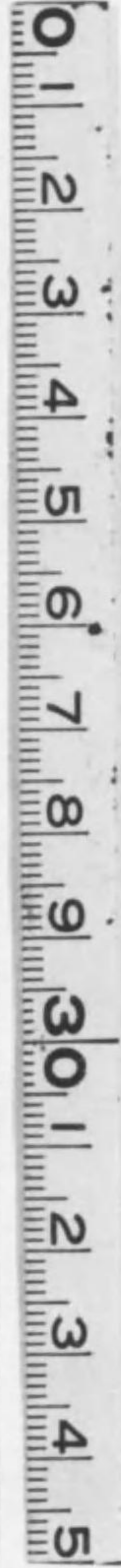
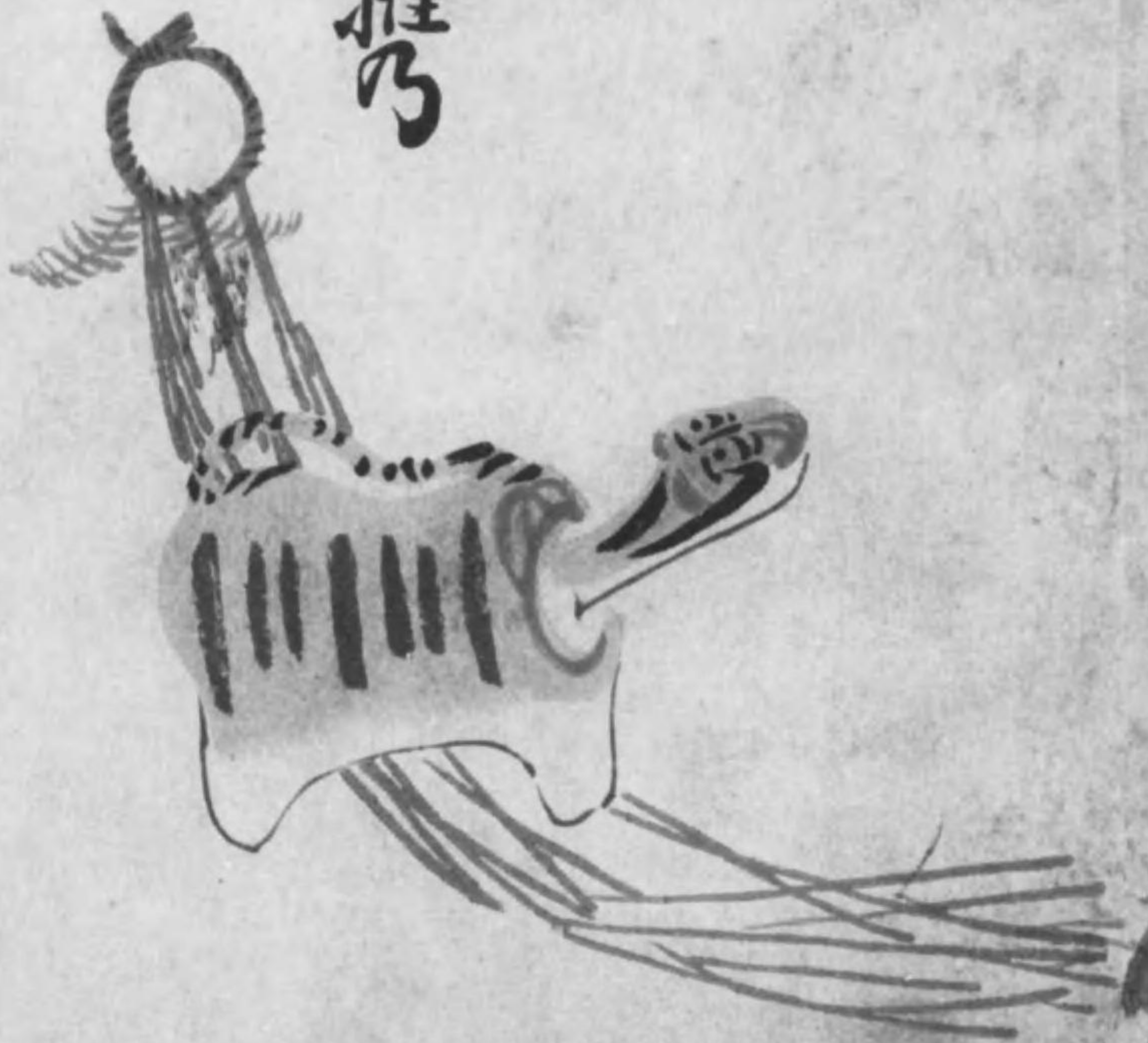
\*1200800145764\*

222  
60



高家

必推乃



始



特







○貨幣及紙幣

|               |    |
|---------------|----|
| ○貨幣法摘要        | 七〇 |
| ○流通不便の金銀銅貨交換方 | 七一 |
| ○新貨幣明細表       | 七二 |
| ○舊貨幣明細表       | 七二 |
| ○兌換銀行券條例摘要    | 七四 |
| ○毀損兌換券交換規則    | 七五 |

○公債

|            |    |
|------------|----|
| ○公債一覽      | 七六 |
| ○大藏省證券條例摘要 | 七七 |

○通信

|           |    |
|-----------|----|
| ○通常郵便     | 七七 |
| ○小包郵便     | 八〇 |
| ○郵便物特殊取扱  | 八一 |
| ○郵便爲替     | 八三 |
| ○郵便貯金     | 八六 |
| ○内國電報     | 八七 |
| ○外國郵便     | 九〇 |
| ○海外電報     | 九四 |
| ○電話交換規則摘要 | 九六 |

○雜事便覽

|              |     |
|--------------|-----|
| ○本邦の位置       | 九八  |
| ○本邦の面積及疆域    | 九九  |
| ○本邦著名の山河     | 一〇〇 |
| ○各地方廳管轄郡區市名表 | 一〇一 |
| ○各市區人口表      | 一〇五 |
| ○人口壹萬人以上名邑   | 一〇五 |

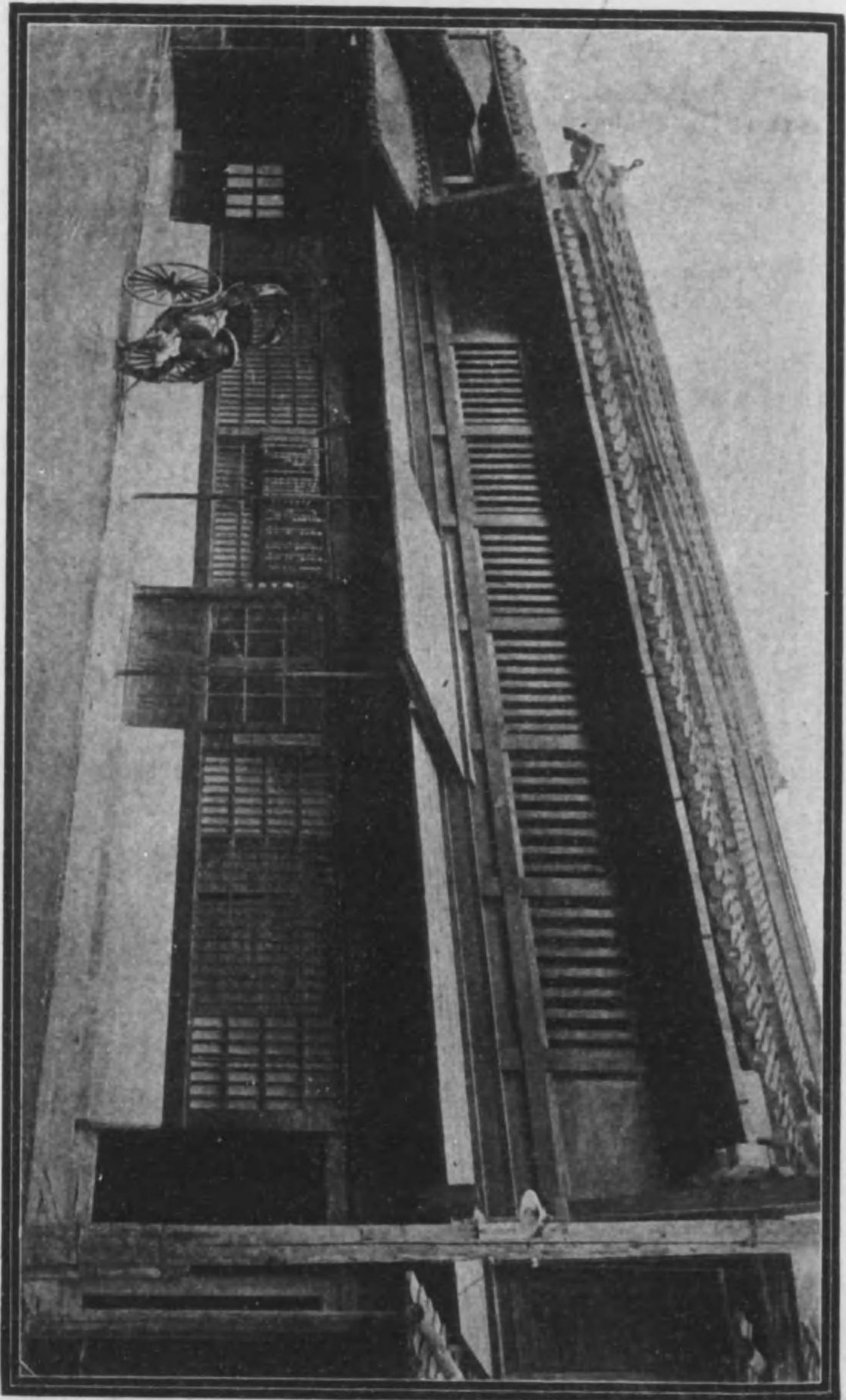
○愛知縣各町人口表

|                |     |
|----------------|-----|
| ○愛知縣各町人口表      | 一〇七 |
| ○陸軍管區表         | 一〇八 |
| ○海軍管區表         | 一一〇 |
| ○帝國軍艦表         | 一一一 |
| ○租稅納期一覽        | 一一四 |
| ○地租            | 一一四 |
| ○所得稅           | 一一五 |
| ○酒造稅           | 一一六 |
| ○鹽稅            | 一一六 |
| ○賣藥稅           | 一一六 |
| ○度量衡稅          | 一一七 |
| ○取引所稅          | 一一七 |
| ○營業稅           | 一一八 |
| ○鑛業稅           | 一一八 |
| ○其他            | 一一八 |
| ○各種手数料         | 一二一 |
| ○利息早見表         | 一二二 |
| ○年利日歩換算表       | 一二二 |
| ○日少年利換算表       | 一二三 |
| ○利廻元入表         | 一二三 |
| ○預金利殖表         | 一二五 |
| ○米價早見表         | 一二六 |
| ○日本及外國度量衡貨幣對照表 | 一二八 |
| ○年歷            | 一三〇 |
| ○求年歸表          | 一三二 |
| ○月數表           | 一三三 |
| ○日數早見表         | 一三四 |
| ○親族忌服一覽        | 一三五 |
| ○明治三十五年略歷      | 一三六 |



株式會社 愛知銀行營業案内





行銀知愛社會式株



行銀知愛社會式株





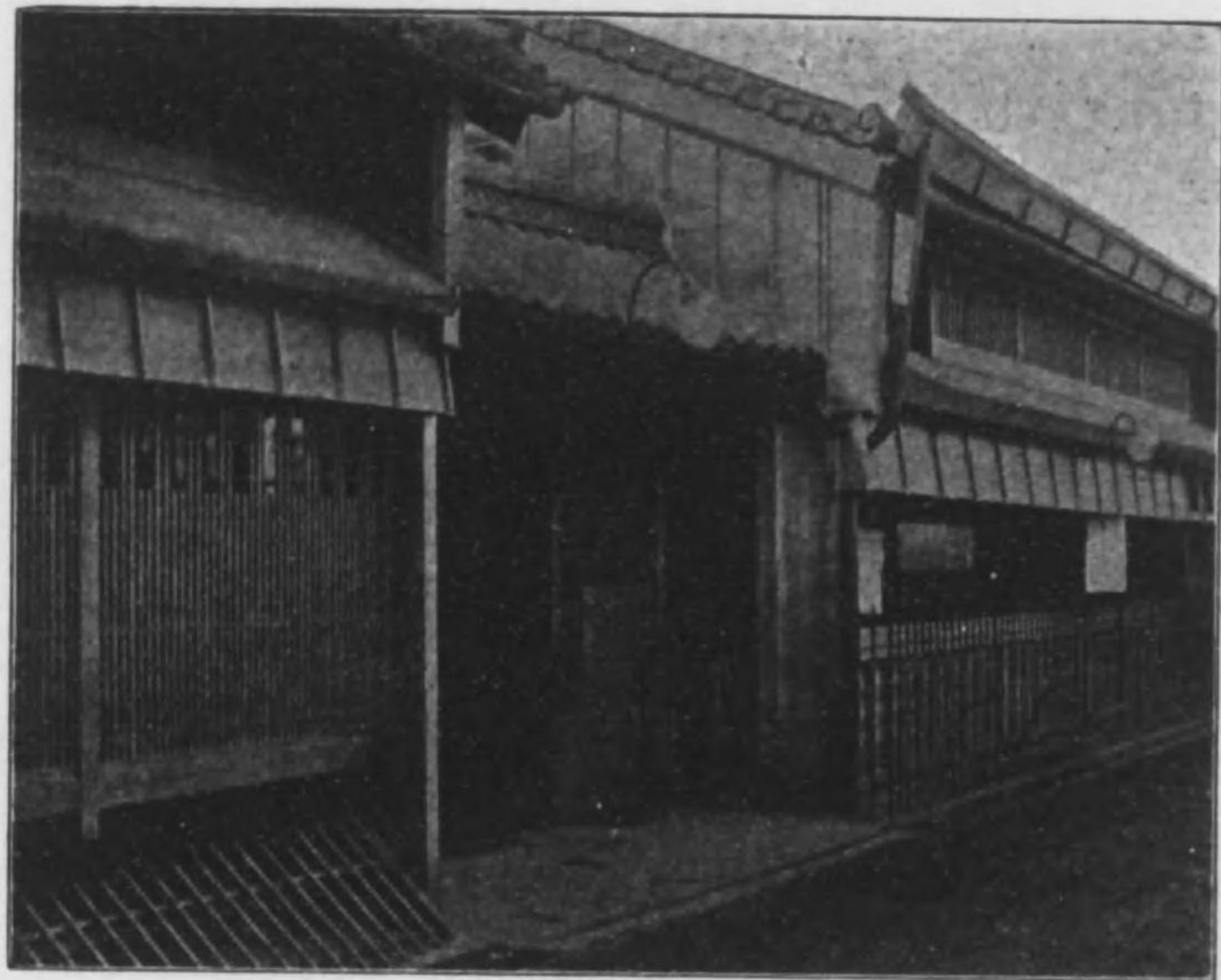
店支田半行銀知愛社會式株



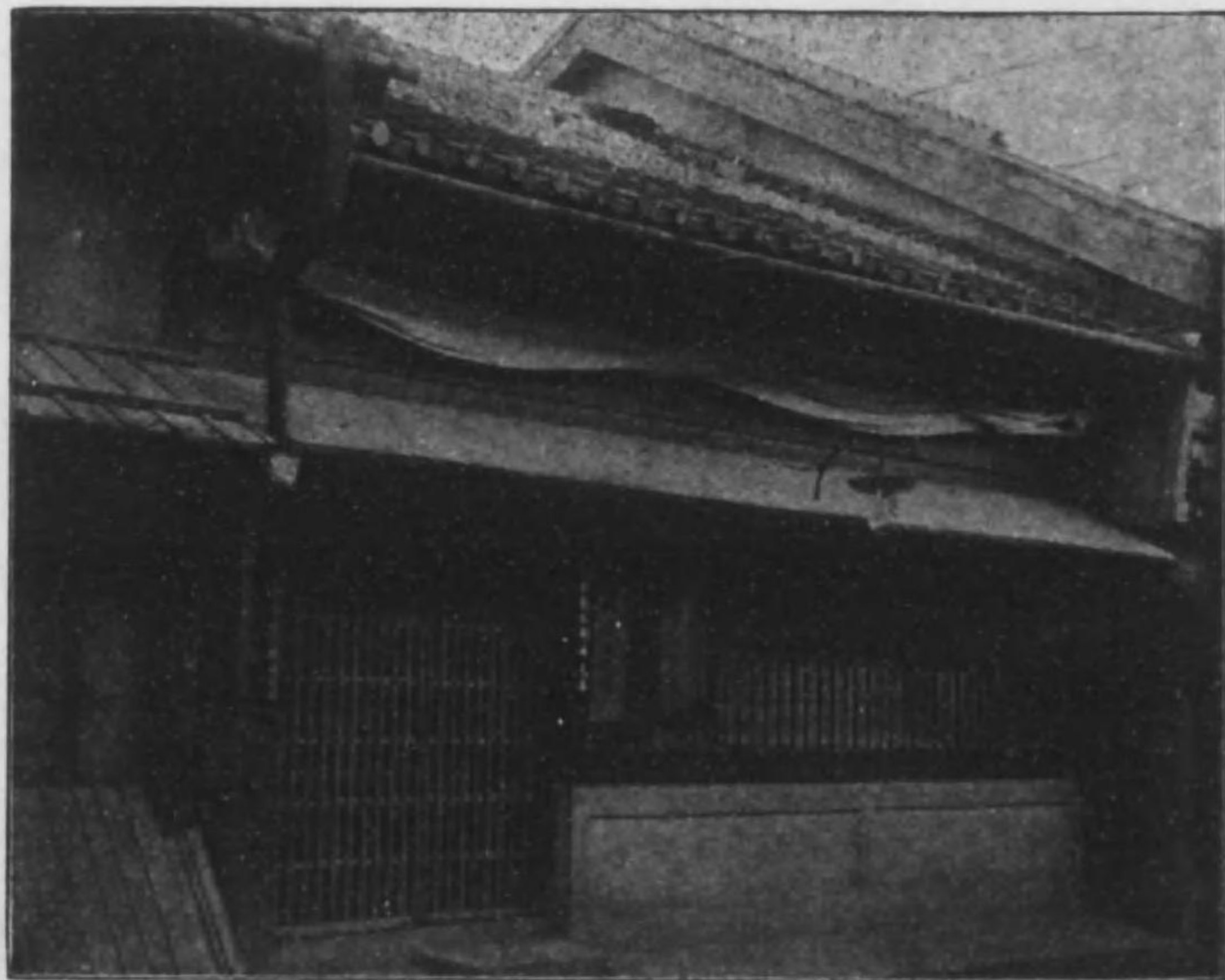
店支橋豊行銀知愛社會式株







店支津行銀知愛社會式株



店支崎岡行銀知愛社會式株





株式會社愛知銀行津島支店



明治三十四年十一月二十日開業  
株式會社愛知銀行四日市支店



株式 愛知銀行 營業案内



◎愛知銀行の組織

愛知銀行は舊尾張藩主侯爵徳川義禮名古屋の素封家伊藤次郎左衛門關戸守彦岡谷惣助中村與右衛門吹原九郎三郎伊藤由太郎祖父江重兵衛故山内正義等の發起設立に係る株式組織の銀行にして明治二十九年三月十九日其筋の許可を得同年四月二十日營業を開始したるものなり

◎愛知銀行の資本金及積立金

愛知銀行の資本金總額は貳百萬圓にして既に拂込済となれる分百貳拾萬圓現在に於ける積立金は壹拾貳萬圓なり

◎愛知銀行の役員

愛知銀行現任の重役左の如し

代表取締役 岡谷惣助  
取締役 關戸守彦  
取締役 山内正義  
取締役 伊藤由太郎  
取締役 吹原九郎  
取締役 中村與右衛門  
取締役 伊藤三郎  
取締役 伊藤九郎  
取締役 伊藤三郎  
取締役 伊藤九郎

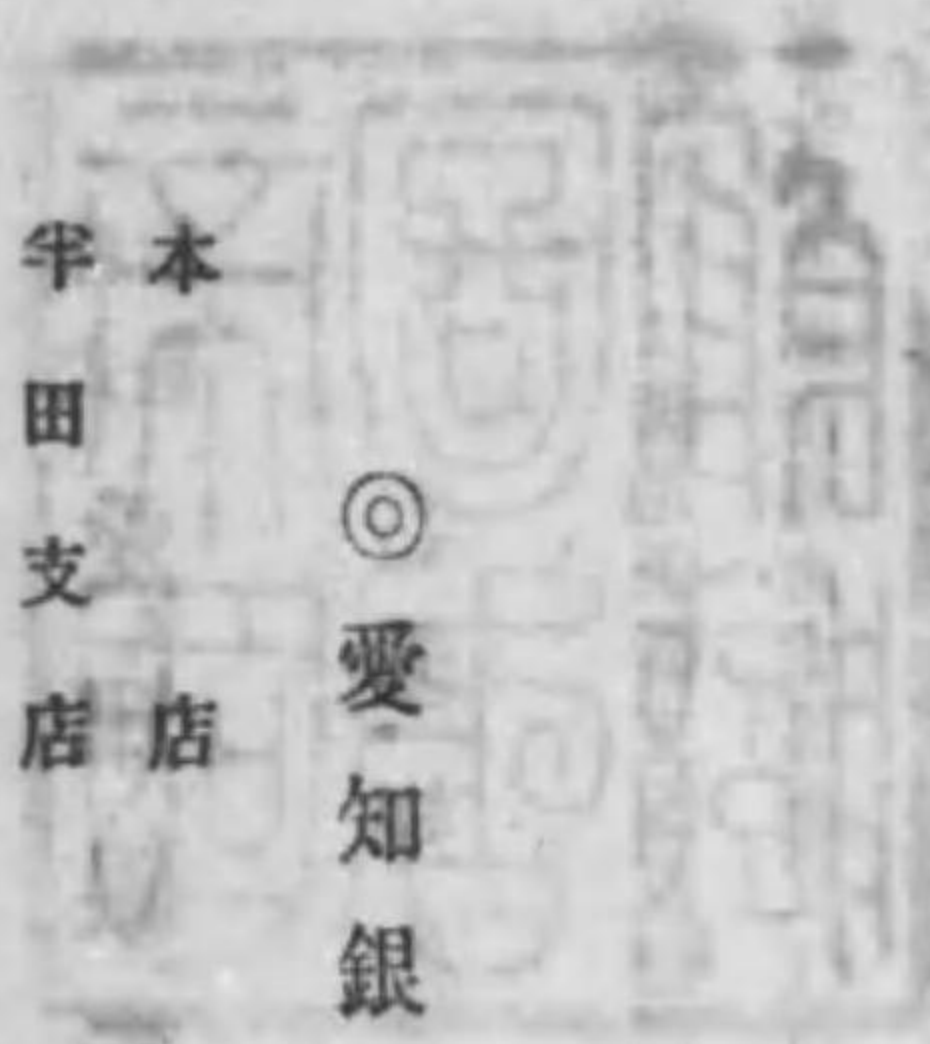


|     |         |
|-----|---------|
| 頭取  | 岡谷惣助    |
| 取締役 | 關戸守彦    |
| 取締役 | 吹原九郎三郎  |
| 取締役 | 中村與右衛門  |
| 取締役 | 伊藤由太郎   |
| 取締役 | 海部昂藏    |
| 取締役 | 長尾保吉    |
| 監査役 | 伊藤次郎左衛門 |
| 監査役 | 瀧兵右衛門   |

◎愛知銀行の營業所

本店  
半田支店

尾張國名古屋市玉屋町七十七番戸  
尾張國知多郡半田町七百五十九番戸



豊橋支店  
津支店  
岡崎支店  
津島支店  
四日市支店

三河國渥美郡豊橋町大字本町十三番戸  
伊勢國津市大門町七十一番屋敷  
三河國額田郡岡崎町大字籠田甲二十二番戸  
尾張國海東郡津島町大字津島九百三十七番戸  
伊勢國四日市市大字仲町二百一番屋敷

◎愛知銀行の營業時間

愛知銀行は大祭日、日曜日の外毎日左の時間に於て營業を爲し年末の如き商家繁忙の際には日曜日と雖も特に店を開き又時により營業時間の前後に於ても執務し以て専ら顧客の便利を圖るべし

自四月至九月  
午前第八時より  
午後第四時まで

自十月至三月  
午前第八時三十分より  
午後第四時まで

◎愛知銀行の資産負債

明治三十四年十一月十五日現在愛知銀行の資産負債左の如し



貸借対照表

| 資産           |          | 負債           |           |
|--------------|----------|--------------|-----------|
| 金額           | 種類       | 金額           | 種類        |
| 六三三、二八三三〇〇   | 貸附金      | 一五、九〇八七二四    | 公金預金      |
| 二二三、〇〇四三九〇   | 當座預金貸越   | 六五三、九六二八二〇   | 定期預金      |
| 二、四八三、六三七一四〇 | 割引手形     | 二、五七一、六三七三七八 | 當座及小口當座預金 |
| 五、四〇七二九〇     | 荷爲替手形    | 一一一、五九一一三五   | 別段預金      |
| 二二九、三〇五六四〇   | 預ケ金      | 二二〇、七三三五八〇   | 他店ヨリ借     |
| 五七〇、三一八五八〇   | 他店へ貸     | 二、〇〇〇、〇〇〇〇〇  | 資本金       |
| 二七一、七四七七五〇   | 國債證券     | 一一〇、〇〇〇〇〇〇   | 積立金       |
| 二二三、八八一五〇〇   | 會社株券及社債券 | 八〇、二六一七四六    | 前期繰越金其他   |
| 五〇〇〇〇〇〇      | 證券買入元    |              |           |
| 八〇〇、〇〇〇〇〇〇   | 拂込未済資本金  |              |           |
| 四四、五二六五七〇    | 營業用地所    |              |           |
| 二八、五五二七二八    | 營業用家屋    |              |           |
| 五、二〇五八九〇     | 營業用什器    |              |           |
| 二六四、七一四六〇五   | 金銀有高     |              |           |
| 五、七七四、〇八五三八三 | 合計       | 五、七七四、〇八五三八三 | 合計        |

◎愛知銀行の營業種目

- 一 當座預金
- 一 小口當座預金
- 一 一定期預金
- 一 手形割引
- 一 貸附金
- 一 當座貸越金
- 一 荷爲替
- 一 代金取立
- 一 送金爲替

愛知銀行は右重なる營業種目の外普通銀行事務全般を極めて便利に極めて懇篤に取扱ひ尙左の公金出納事務及び各種代理店事務の取扱を爲せり

- 一 宮内省内藏寮の現金出納事務
- 一 日本銀行名古屋支店半田派出所外十派出所の公債元利金其他取扱事務
- 一 半田支金庫外十支金庫の國庫金出納事務
- 一 愛知縣本金庫の預托金事務
- 一 渥美郡金庫の現金出納事務
- 一 愛知縣半田、豊橋両支金庫の現金出納事務代理
- 一 日本勸業銀行代理店事務



## 預金の事

人若し貨幣を己れの匣裡に保存する時は

知らず諱らず濫費の弊を生ずるものなり

火災盜難等時々に難を冷し心を駭かすことあるべし

幾年月を経るも毫も利益を生ずることなし

然るに之れを銀行に預くる時は

銀行は最も堅牢なる金庫を有し又諸般の注意行届けるか故に火災盜難等變異の恐れ無し

仮令貨幣にして紛失等不慮のことあるも銀行は其預け主に對し充分の責任を負ふて償還の義務を果

すべし

銀行は預りたる貨幣に對して相當の利息を支拂ふ

故に利子増殖の樂みありて濫費變災等の虞へ更らに無し

要するに銀行は利益の源泉にして貨幣の最も安全なる寄托所なるを以て苟も心あるものは金銀貨幣を

手許に死蔵し徒らに無要の心配を求めて却て當然に得べき利益を自ら捨つるの愚を學ばす宜しく確實

なる大銀行を撰みて預金勘定を開くべきなり

愛知銀行は現金を以て預るのみならず手形、小切手、預金證書、金庫の支拂命令書、公債利札、株式の配當金領收證等確實なるものは凡へて現金同様に受入るべし

愛知銀行當座預金又は小口當座預金の受け入れは取引店のみに限らず本支店中何れの店に誰れの手を以て入金するも差聞へなし

愛知銀行當座預金又は小口當座預金の取引主は商用其他の用務にて旅行したる時其先々に於て受取りたる金員を直ちに自己の預金勘定に振込み得るの便利あり

## 當座預金

凡そ商人にして日々取引上に使用する所の資金を悉く自分の手許に遊ばせ置くは實に無益にして又其取引に於て一々現金の受拂を爲すは極めて煩はしきことなるべし當座預金は重もに斯かる人々に便利を與ふる爲めに設けたるものにして其名の通り當座の預金なれば定期預金の如く引出期限の定めあるなく愛知銀行の營業時間中は何時にても預け入れ何時にても引出すこと勝手次第なり蓋し取引頻繁なる商家に在て毎に現金の受渡を爲す時は其員數を改め其眞贋を調査する等無用の時間と手數とを要するのみならず或は勘定を誤りて思はぬ損失を招くの虞なしとせずされば斯く貴重の時間を徒消し無益の手續を勞して尙其上に損失の上塗を爲すが如きは實に詰らぬことにしあれば取引忙はしく金錢の出入常に繁劇なる商人は勿論のことさ程までならぬ人にも必ず當座預金の取引を開き餅屋は餅屋の商賣として一切の金錢取扱をば擧げて之れを委託せらるゝこと肝要なるべし斯くして取引上より收入する所の金錢は固より苟くも餘金あれば都へて之を銀行に預け入れ又支拂の必要生ずれば隨時小切手を振出して之を引出し收入支出ともに必ず銀行の手に掛くることゝすれば單に一片の小切手を受授する



のみにて幾何の巨額の取引にても自由に辨することを得て而して現金取扱の手續を要せず又火災盜難等不慮の虞れ更らに無之恰も忠實なる良會計係を無給にて雇入れたるご一様に最も安全に所謂高枕して専心商賣を勵むことを得る其外に又應分の利息を願く次第なれば利便此上無しと云ふべし

愛知銀行に當座預金の取引を開かむとする時は店頭に備附ある當座預金申込書に記名調印の上預金係に差出し現金は入金票と共に收納係に渡さるべし銀行は此申込を承諾して取引を始める時は當座預金通帳(預金の受拂を明記して其差引残高を示すもの)並に小切手帳(其一片を截取り入用の金額を記載し名下に調印して預金の引出しに使用するもの)を交付し小切手振出其他諸取引上に用ゆる印鑑と筆跡とを預金主より受取り置くなり

抑小切手は請求次第若干の金額を名指入又は所持人に支拂ふべきことを銀行に宛て命令する所の一種の流通證券にして紙幣の如く市場に轉ずるものなれば其流通の間に於て變造盜難等如何なる間違の起らむも保し難きを以て之れを振出すときは持參人拂合せす指圖式と爲すか或は銀行渡(小切手面に二條の並行線を畫き其中に銀行の文字を記載するなり)と爲し又其表面に記載する金額は必ず壹、貳、參等の文字を使用し尙複記を爲し萬一の危険を豫防すること肝要なりとす

小切手は資金なくして振出すことを得ざるものなれば過振して自ら信用を害ふことなき様預金の残高に注意せらるべく又小切手の振出日附は必ず明確に記載し置かるべし若し虚偽の日附を記載したる時は商法に依り相當の處分を受くることあらむ

約束手形爲替手形の仕拂方便宜の爲めに當座預金を以て其資金に充てむことを望むものは其旨を

銀行に申込み豫め約定書を差入れ置き而して約束手形を振出す時又は爲替手形の引受を爲す時に株式會社愛知銀行に於て支拂ふべき旨を手形面に記載し置かるべし然る時は手形の所持人は満期日に至り直接銀行に支拂を請求すべく銀行は之れを當座勘定より引落して支拂ふこと猶小切手の引出しに應ずるか如くに取扱ふを以て商取引の頻繁なるものに於ては殊に此種簡便法の必要を感ずるならむ

愛知銀行は當座取引先の振出したる小切手に支拂保證を爲し送金同様に取扱ふべし

愛知銀行は當座の得意先に對しては手形割引代金取立其他諸般の取引に於て出來得る限り勉めて便利懇切に取扱ふべし

### 小口當座預金

小口當座預金は當座預金の如く何時にても預入れ何時にても引出し得れども其一口の預け金高は五圓以上とし名は小口といへども如何程多額にても差問へなく預け得らるべく又引出しは些少の額にても自由に引出し得らるべし此預金は當座預金よりも利息の割合稍高きを以て官吏會社員等一定の收入あるもの若し醫士、辯護士の如き不時の收入あるものか貯蓄の爲めに預金するか或は又何人に限らず慶吊其他臨時の失費は免かれざるものなれば豫め之れに備へて其折々の雜用に應せむか爲めに貯蓄するには最も都合よき預金なりとす

さて此預金を引出すには通帳を以てすること普通の取扱なれども斯くては預金主は金員入用の都度自



ら銀行に至りて支拂を請求するの面倒あるべきか故に愛知銀行は其不便を慮り別に小切手を以て引出し得る使利法を設けたれば愛知銀行小口當座預金の取引主は其望みに依り小切手附と爲すことを得べし。すれは一々通帳を銀行に持参するの煩勞なく一片の小切手を以て座して總へての支拂を辨することを得るの利便あり。

### 定期預金

定期預金とは例へば六ヶ月とか或は壹ヶ年とか豫め一定の期限を定め其間は獲りに引出さざる約束を以て預くるものにして銀行は其期限内安じて資金を運轉利用し得るか故に利息の如きも他の引出し自由なる諸種の預金よりも高き歩合を付くること常なれば基本財産積立の爲めにする金員當分使用の自途なき金員又は入用の季節定まれる金員等日常出入の必要なものは凡へて定期預金と爲すを以て適當とするなり。

愛知銀行に定期預金を爲さむとする時は預金係に就き住所姓名を通じて其旨を申込み印鑑を差出し現金をば入金票に添へて收納係に拂込まるべし。銀行は現金受入の手續了れば直ちに定期預金證書を作成して之れを預金主に交付致すべし。

定期預金の満期日に達したるときは證書裏面に記名調印の上持参せらるべし。銀行は預入れの當時に定めたる歩合を以て利息を計算し元利とも速かに拂渡すべく又其望みに依りては新らしき證書に書替へて交付致すべし。若し預金主の住所遠方なるか或は用務の都合にて銀行に持参し難き場合には證

書に裏書調印して郵送せらるゝ時は夫々手續の上速かに送金を取斗ふべし。

定期預金は豫定の期限内は獲りに引出さざる約束なれば隨意に引出すことを得ざるは勿論なれども預金主に於て已むを得ざる都合に依り其引出を請求せらるゝ時は特に拂戻を承諾することあるべし。此場合に於ては全く利息を附せざることを通例の取扱ひなれども愛知銀行は其事情に依り精々割合善き利息を附し預金主の便宜を圖るべし。

### 手形割引

手形の割引とは一定の期限後に仕拂はるべき手形の代金を満期日以前に現金に引換へむとするものゝ爲めに其日より仕拂期日までの利息を割引料として手形面金額より引去り残高を依頼人に拂渡して手形を銀行に買取ることを云ふなり。

愛知銀行は商業の機關を以て自ら任じ勉めて資金の運轉を迅速ならしめ以て大に事業の繁昌を圖らむとするものなれば商業家か其取引上代金支拂の爲めに振出したる手形に對しては其當所拂なると他所拂なるとを問はず顧客の求めに應じて便利に割引すべく殊に其振出人支拂人裏書人の信用確實なるに於ては無擔保にて手形を譲受け低廉なる歩合にて割引を爲すべし。

特に愛知銀行に當座の取引ある常得意に對しては最も低廉なる割引料を以て懇切に取扱ひ例へば金融逼迫の折柄にて世間貸出し割引に慎重の注意を加へ大に警戒する場合に際しても可成融通を爲し一意其利便を圖るに務むるを以て愛知銀行に向て手形の割引を求めむとするものは必ず先づ當座預金の勘



定を開き置くこと便利なるべし  
擔保品附手形の割引も精々勉強し低歩を以て懇篤に取扱ふべし

### 貸付金

貸付金とは借入金證書に對して貸金を爲し利息は返金の節に受取るものとす  
愛知銀行は可成多數の商工業家に有用の資金を供給せむ目的なるを以て公債證書、大藏省證券、確實なる會社株券會社債券及倉庫預券等を擔保に取り例令幾拾圓の小口にても精々低廉なる日歩を以て融通を爲すべし

### 當座預金貸越

當座預金貸越とは當座の取引ある得意先と銀行との約定に依り若干の金額までは何時にても必要に應じ小切手を以て借出し又借主の都合次第何時にても隨意に返金することを得る豫め返済期限の定めなき一種の當座貸金を云ふなり  
愛知銀行は得意先の望みに依り相當の擔保品を申受けて當座預金貸越の契約を爲し懇篤に取扱ふべし  
これは此約定を結ひたる顧客は手形を振出して割引を請ふ世話もなく借用證文を作りて貸金を請求することも入らず只一片の小切手を以て自由に銀行より金員を借出し又自由に返金することを得る至大の便利を享くるならむ

### 荷爲替

遠隔の地に在る取引先の注文に依り若は委託販賣の爲めに商品を他所に積送るに際し先方より代金の送附を待つか或は當方に於て手形を作成し之れが引受を爲さしめ然る後銀行に就て割引を請ふときは徒らに許多の日子を要し種々の不便を來たすへければ荷物を發送すると同時に直ちに該代金を得むとは商人の大に利とする所なるべし  
愛知銀行は其便利を圖る爲め出荷すへき商品を擔保に取り荷受主に宛て荷主の振出したる手形を割引し精々低廉たる日歩を以て融通することに勉むべし  
商品の種類により又運輸の方法にして確實なるときは其代金の七八掛より場合に依り全額の取組を爲すべし

### 代金取立

銀行は得意先の依頼に依り諸所各地に於て仕拂はるへき手形及小切手若は賣掛證書の類を義務者に呈示して仕拂を受くることあり之れを手形の取立と云ふ  
商人相互の賣掛代金又は他人より受取るへき金員等を取立つる場合に一々其本人に於て之れを取扱ふ時は時間と費用とを要するのみならず繁忙なる商人は到底其煩はしきに堪へざるへく殊に他所渡のものに於ては最も然りと爲すされは此等の手續は其取扱に馴れたる銀行に委託すること至極便利なるべし  
愛知銀行は最も輕便に且つ少しの手数料をも取ること無しに顧客の求めに應じて代金の取立を爲し當



所拂のものに在りては直様當座又は小口當座に入金し他所拂のものに在りては取組先銀行より取立済の報知あり次第之れを依頼人に拂渡すべく若し依頼人にして當座又は小口當座の取引先なるときは直様小口當座又は當座預金の勘定に入金し何の手數も掛らぬ様敏速に便利に取扱ふべし  
 愛知銀行に當座又は小口當座の取引無き向より代金取立の依頼あるときは相當の手數料を申受くべし

### 送金爲替

普通送金………何人にてても他所に送金の必要を生したる時は愛知銀行に托して之れを送らるへし愛知銀行は全國到る所に爲替取組先を有するか故に其用を辨せぬと云ふこと無きのみならず金額の多少を問はず送り先の遠近に拘はらず一切無手数料にて最も手輕に最も敏速に之れを取扱ふを以て顧客の利便大方ならざるへし

又當座預金の取引ある顧客にして他所に送金せらるゝ場合には引出小切手に仕拂保證を附し普通送金と同様に取扱ふの便利あるを以て當座取引の得意先は少しの手數をも要せず幾何の金額にても遠地に送附すること自由なるへし

電信送金………若し又至急に送金を要せらるゝ場合には愛知銀行は其依頼により電信爲替を取組み臺灣の匯にても北海道の奥にても大抵其日の中に受取ることの出来る様敏速の取扱を爲し遺憾なく火急の間に合はすへければ顧客の便利甚た多かるへし  
 現在の爲替取組先左の如し

### ◎愛知銀行本店爲替取組先

#### ○畿内

山城京 都 大和 奈良 和泉 堺  
 攝津 神 戶 攝津 兵庫 庫 和泉 堺 攝津 大 阪 南 區 西 區 北 區 區

#### ○東海道

|      |      |      |      |       |
|------|------|------|------|-------|
| 伊賀上野 | 伊賀名張 | 伊勢津  | 伊勢桑名 | 伊勢四日市 |
| 伊勢松阪 | 伊勢山田 | 伊勢河崎 | 伊勢久居 | 伊勢六軒  |
| 伊勢家城 | 伊勢神社 | 伊勢關  | 伊勢龜山 | 伊勢一身田 |
| 伊勢神戶 | 志摩鳥羽 | 志摩前島 | 尾張熱田 | 尾張鳴海  |
| 尾張清洲 | 尾張一宮 | 尾張蟹江 | 尾張津島 | 尾張彌富  |
| 尾張犬山 | 尾張布袋 | 尾張龜崎 | 尾張半田 | 尾張野間  |
| 尾張内海 | 尾張豐濱 | 尾張龜河 | 尾張有松 | 尾張野間  |
| 三河矢作 | 三河知立 | 三河安城 | 三河一色 | 三河大濱  |
| 三河新川 | 三河豐橋 | 三河國府 | 三河新城 | 三河海老  |

愛知銀行本店爲替取組先



|      |      |       |      |      |       |       |       |      |   |      |      |      |       |      |
|------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|---|------|------|------|-------|------|
| 上野桐  | 信濃鹽尻 | 信濃飯田  | 飛騨高山 | 美濃金山 | 美濃付知  | 美濃太田  | 近江愛知川 | 近江大津 | 武藏橫濱                                    | 相模鎌倉 | 駿河入江 | 駿河靜岡 | 遠江掛川  | 三河田口 |
| 生    | 信濃赤穂 | 信濃上諏訪 | 飛騨萩原 | 美濃上知 | 美濃下麻生 | 美濃揖斐  | 近江能登川 | 近江彦根 | 武藏八王子                                   | 相模浦賀 | 駿河沼津 | 駿河島田 | 遠江横須賀 | 三河富岡 |
| 上野高崎 | 信濃伊那 | 信濃福島  | 飛騨古川 | 美濃垂井 | 美濃御嵩  | 美濃高須  | 近江岐阜  | 近江長濱 | 下總千葉                                    | 相模秦野 | 甲斐甲府 | 駿河藤枝 | 遠江森   | 三河福江 |
| 岩代保原 | 信濃松島 | 信濃高遠  | 信濃長野 | 美濃池野 | 美濃高田  | 美濃多治見 | 美濃大垣  | 近江八幡 | 常陸水戸                                    | 武藏東  | 伊豆三島 | 駿河吉原 | 遠江見付  | 遠江濱松 |
| 陸前仙臺 | 上野前橋 | 信濃上田  | 信濃松本 | 美濃墨俣 | 美濃八幡  | 美濃中津  | 美濃笠松  | 近江日野 | 京日本橋區<br>京橋區<br>京區<br>深草區<br>淺草區<br>墨田區 | 伊豆下田 | 駿河清水 | 遠江掛水 | 遠江氣賀  |      |

○東山道

陸中盛岡 陸奥青森 陸奥弘前 羽後秋田 羽後大館

○北陸道

若狹小濱 越前福井 越前敦賀 越前鯖江 越前武生  
 能登羽咋 越中富山 越中大聖寺 越中福光 越中出輪 越中島生  
 越中井波 越中石動 越中戸出 越中福田 越中出瀧  
 越後新發田 越後高田 越後直江津

○山陰道

因幡鳥取 出雲松江

○山陽道

播磨姫路 播磨明石 播磨加古川 備前岡山 備後尾ノ道  
 備後福山 安藝廣島 安藝吳 安藝矢野 周防柳井津  
 周防岩國 長門赤間關 長門小月 長門長府



○南海道

紀伊和歌山 紀伊田邊 紀伊新宮 紀伊串本 紀伊木本  
紀伊尾鷲 紀伊長島 阿波德島 讚岐高松 土佐高知

○西海道

豐前門司 豐前中津 豐前小倉 豐後大分 筑前福岡  
筑前博多 筑前若松 筑前八幡 筑後久留米 筑後柳河  
肥前長崎 肥前佐賀 肥前伊萬里 肥後熊本 肥後八代  
薩摩鹿兒島

○北海道

渡島函館 渡島江差 後志岩内 後志小樽 石狩札幌  
釧路室蘭 根室根室

○臺灣

臺北 臺中 臺南 基隆

◎豐橋支店爲替取組先

○畿内

山城京都 山城伏見 攝津大阪 攝津神戸 戶

○東海道

伊賀上野 伊賀名張 伊勢津崎 伊勢桑名 伊勢四日市  
伊勢松阪 伊勢山田 伊勢河崎 伊勢六軒 伊勢神戶  
伊勢富田 伊勢大泉原 志摩鳥羽 尾張名古屋 尾張熱田  
尾張鳴海 尾張一宮 尾張祖父江 尾張津島 尾張彌富  
尾張犬山 尾張半田 尾張野間 尾張内海 尾張豐濱  
三河岡崎 三河西尾 三河安城 三河新城 三河海濱  
三河蒲郡 三河三谷 三河豐川 三河牛久保 三河國府老  
三河富岡 三河田原 三河福江 三河老津 三河濱松  
遠江氣賀 遠江掛川 遠江橫須賀 遠江見付 遠江中泉  
駿河靜岡 駿河島田 駿河藤枝 駿河吉原 駿河沼津



甲斐甲府 伊豆三島 相模秦野 相模平塚 武藏東京  
武藏八王子 武藏横濱 下總千葉 常陸水戸

○東山道

近江大津 近江彦根 近江長濱 近江八幡 近江愛知川  
美濃御嵩 美濃高田 美濃垂井 美濃笠山 美濃揖斐  
信濃松本 信濃飯田 信濃上諏訪 信濃高山 信濃赤穂  
信濃伊那 上野前橋 上野桐生 上野足利 上野高崎  
下野宇都宮 陸前仙臺

○北陸道

若狹小濱 越前福井 越前敦賀 越前鯖江 越前武生  
加賀金澤 加賀大聖寺 加賀小松 能登輪島 能登羽咋  
能登七尾 越中富山 越中高岡 越中新潟 越中井波  
越中石動 越中戸出 越中中田 越後新潟

○山陽道

播磨姫路 備前岡山 備後尾ノ道 安藝廣島  
紀伊和歌山 紀伊新宮 紀伊尾鷲 紀伊長島 紀伊錦  
紀伊橋本 阿波徳島

○南海道

肥前唐津 肥前小樽 石狩札幌  
○西海道

○北海道

渡島函館 後志小樽 石狩札幌

◎半田支店爲替取組先

○畿内

山城京都 攝津大阪 攝津神戸 攝津兵庫

○東海道







◎東海道

|       |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 伊賀上野  | 伊賀名張  | 伊勢桑名  | 伊勢四日市 | 伊勢松阪  |
| 伊勢山田  | 伊勢河崎  | 伊勢久居  | 伊勢六軒  | 伊勢神社  |
| 伊勢關原  | 伊勢龜山  | 伊勢一身田 | 伊勢神戶  | 伊勢富田  |
| 伊勢大泉原 | 志摩鳥羽  | 志摩前島  | 志摩波切  | 尾張名古屋 |
| 尾張熱田  | 尾張枇杷島 | 尾張一宮  | 尾張蟹江  | 尾張津島  |
| 尾張龜崎  | 尾張半田  | 三河岡崎  | 三河西尾  | 三河豐橋  |
| 三河新城  | 遠江濱松  | 遠江掛川  | 駿河靜岡  | 駿河藤枝  |
| 駿河沼津  | 甲斐甲府  | 武藏東京  | 武藏橫濱  |       |
| 近江大津  | 近江彦根  | 近江八幡  | 近江八日市 | 美濃岐阜  |
| 美濃大垣  | 美濃笠松  | 美濃多治見 | 信濃松本  | 上野前橋  |
| 上野高崎  |       |       |       |       |
| 越前福井  | 越前敦賀  | 越前鯖江  | 越前武生  | 加賀金澤  |

◎山陽道

加賀小松 能登輪島 越中富山 越後新潟

◎南海道

播磨姫路 播磨明石 長門赤間關

紀伊和歌山 紀伊田邊 紀伊新宮 紀伊串本 紀伊木本

紀伊尾鷲 紀伊長島 紀伊湯淺 紀伊引本 紀伊岩出

◎西海道

阿波德島 讚岐高松 土佐高知

◎北海道

豐前門司 筑前若松 筑前八幡 肥後熊本

◎岡崎支店爲替取組先

○畿内

淡路島函館 後志小樽 石狩札幌 根室根室



山城京都大和奈良攝津大阪攝津神戸

○東海道

|       |      |       |       |      |
|-------|------|-------|-------|------|
| 伊勢津   | 伊勢桑名 | 伊勢四日市 | 伊勢松阪  | 伊勢山田 |
| 伊勢河崎  | 伊勢久居 | 伊勢六軒  | 尾張名古屋 | 尾張熱田 |
| 尾張枇杷島 | 尾張一宮 | 尾張津島  | 尾張犬山  | 尾張半田 |
| 尾張野間  | 尾張内海 | 尾張西尾  | 尾張一色  | 尾張安城 |
| 三河豐橋  | 三河新川 | 三河西矢  | 三河新川  | 三河安城 |
| 三河田原  | 三河福江 | 遠江濱松  | 遠江掛川  | 遠江中泉 |
| 駿河静岡岡 | 駿河島田 | 相模浦賀  | 駿河吉原  | 駿河沼津 |
| 甲斐甲府  | 伊豆三島 | 相模秦野  | 武藏東京  |      |
| 武藏八王子 | 武藏横濱 |       |       |      |

○東山道

|       |      |      |      |       |
|-------|------|------|------|-------|
| 近江大津  | 近江彦根 | 近江長濱 | 近江日野 | 近江八日市 |
| 美濃岐阜  | 美濃大垣 | 美濃高須 | 美濃笠松 | 美濃揖斐  |
| 美濃多治見 | 美濃高田 | 美濃垂井 | 信濃長野 | 信濃松本  |

|      |       |      |      |      |
|------|-------|------|------|------|
| 信濃飯田 | 信濃上諏訪 | 信濃上田 | 信濃伊那 | 信濃屋代 |
| 上野前橋 | 上野桐生  | 上野高崎 |      |      |

○北陸道

|      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| 越前福井 | 越前敦賀 | 越前武生 | 加賀金澤 | 越中富山 |
| 越後新潟 |      |      |      |      |

○山陽道

|      |      |      |  |  |
|------|------|------|--|--|
| 播磨姫路 | 播磨明石 | 備前笠岡 |  |  |
|------|------|------|--|--|

○南海道

|       |      |  |  |  |
|-------|------|--|--|--|
| 紀伊和歌山 | 紀伊長島 |  |  |  |
|-------|------|--|--|--|

○北海道

|      |      |      |      |    |
|------|------|------|------|----|
| 渡島函館 | 後志小樽 | 根室根室 | 石狩札幌 | 網走 |
|------|------|------|------|----|

◎津島支店爲替取組先



山城京部 攝津大阪 攝津神戸

○東海道

伊勢津 伊勢桑名 伊勢四日市 伊勢松阪 伊勢山田 伊勢前島田

伊勢河崎 伊勢神社 伊勢龜山 伊勢富田 志摩前島

尾張名古屋 尾張熱田 尾張一宮 尾張蟹江 尾張半田

三河岡崎 三河西尾 三河豐橋 遠江濱松 駿河靜岡

武藏東京 武藏橫濱 武藏八王子 松岡

○東山道

近江彦根 近江八幡 美濃岐阜 美濃大垣 信濃長野 野

信濃松本 陸前仙臺

○北陸道

加賀金澤

○南海道

紀伊長島 阿波德島

○西海道

豐前門司 筑前福岡 肥後熊本

○北海道

渡島函館 後志小樽

◎四日市支店爲替取組先

○畿内

山城京都 都大和奈良 攝津大阪 攝津神戸

○東海道

伊賀上野 伊賀名張 伊勢津 伊勢桑名 伊勢久居 伊勢大泉原

伊勢富田 伊勢松阪 伊勢山田 伊勢久居 伊勢六軒

伊勢河崎 志摩鳥羽 尾張名古屋 尾張熱田 尾張津島

尾張一宮 尾張半田 尾張龜崎 尾張野間 尾張內海

三河岡崎 三河西尾 三河安城 三河大濱 三河豐橋



株式  
會社

丸八貯蓄銀行營業案内

四日市支店爲替取組先

|      |      |      |       |       |      |      |      |      |      |
|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|------|
| 渡島函館 | 播磨姫路 | 越後新潟 | 越前福井  | 信濃飯田  | 美濃高須 | 近江大津 | 武蔵横濱 | 駿河沼津 | 三河新城 |
| ○北海道 | ○山陽道 | ○北陸道 | ○東山道  | 美濃多治見 | 近江彦根 | 美濃岐阜 | 甲斐甲府 | 駿河清水 | 三河田原 |
| 後志小樽 | 備前岡山 | 加賀金澤 | 美濃中津川 | 美濃笠野  | 美濃大垣 | 信濃長野 | 相模浦賀 | 遠江掛川 | 遠江濱松 |
|      |      | 越中富山 | 信濃松本  | 美濃大垣  | 美濃大垣 | 武蔵東京 | 駿河静岡 |      |      |
|      |      | 越中高岡 |       |       |      |      |      |      |      |



四日市支店爲替取組先

|      |      |      |      |      |       |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|
| 波島函館 | 播磨姫路 | 越後新潟 | 越前福井 | 信濃飯田 | 美濃高須  | 近江大津 | 武藏横濱 | 駿河沼津 | 三河新城 |
| 後志小樽 | ○北海道 | ○山陽道 | 越前敦賀 | ○北陸道 | 美濃多治見 | 近江彦根 | ○東山道 | 駿河清水 | 三河田原 |
|      |      |      | 加賀金澤 |      | 美濃中津川 | 美濃岐阜 |      | 甲斐甲府 | 遠江濱松 |
|      |      |      | 越中富山 |      | 信濃長野  | 美濃笠松 |      | 相模浦賀 | 遠江掛川 |
|      |      |      | 越中高岡 |      | 信濃松本  | 美濃大垣 |      | 武藏東京 | 駿河静岡 |

三十

株式會社

丸八貯蓄銀行營業案内



株式 丸八貯蓄銀行營業案内

株式 丸八貯蓄銀行の組織

株式 丸八貯蓄銀行は明治三十一年四月中侯爵徳川義禮岡谷惣助關戸守彦吹原九郎三郎中村與右衛門岡田良右衛門伊藤由太郎等の發起設立せるものにて全年八月二十三日其筋の設立御許可を得同年九月十二日營業を開始せり

株式 丸八貯蓄銀行の株主

株式 丸八貯蓄銀行の株主は侯爵徳川義禮關戸守彦岡谷惣助吹原九郎三郎中村與右衛門伊藤由太郎岡田良右衛門長尾保吉株式會社愛知銀行にして現資本金拾萬圓其株數二千株なり

株式 丸八貯蓄銀行の役員

株式 丸八貯蓄銀行現任の役員は左の如し

|      |         |
|------|---------|
| 頭取   | 關 戸 守 彦 |
| 取締役  | 岡 谷 惣 助 |
| 取締役  | 長 尾 保 吉 |
| 兼支配人 |         |



監査役 中村與右衛門  
 監査役 伊藤由太郎

◎本支店及代理店

株式 丸八貯蓄銀行本支店代理店現在の位置左の如し

愛知縣名古屋市玉屋町七十七番戸  
 愛知縣知多郡半田町字中村五十三番ノ第貳  
 愛知縣渥美郡豊橋町大字本町十三番戸  
 愛知縣海東郡津島町大字津島九百三十七番戸  
 愛知縣額田郡岡崎町大字籠田甲二十二番戸  
 岐阜縣岐阜市上加納金津町二百七十一番戸  
 三重縣津市大門町七十一番屋敷  
 愛知縣名古屋市堀詰町關戸銀行出張店內  
 愛知縣名古屋市大船町伊藤由太郎方  
 愛知縣名古屋市鍋屋町中村清左衛門方

株式 丸八貯蓄銀行本店  
 同 半田支店  
 同 豊橋支店  
 同 津島支店  
 同 岡崎支店  
 同 岐阜支店  
 同 津支店  
 同 幅下代理店  
 同 堀川代理店  
 同 鍋屋町代理店

愛知縣名古屋市古渡町津田理三郎方  
 愛知縣知多郡大野町大野倉庫合資會社内  
 愛知縣愛知郡鳴海町寺島嘉兵衛方  
 愛知縣西春日井郡西枇杷島町水野市治郎方

株式 丸八貯蓄銀行ノ資産負債

同 古渡代理店  
 同 大野代理店  
 同 鳴海代理店  
 同 西枇杷島代理店

明治三十四年六月三十日に於ける 株式 丸八貯蓄銀行の貸借對照表左の如し  
 株式 丸八貯蓄銀行 會社 (明治三十四年六月三十日現在)

| 資 産       | 金 額        | 負 債    | 金 額        |
|-----------|------------|--------|------------|
| 預ケ金       | 四四七、九八四〇九六 | 貯蓄預金   | 四九三、五一〇九八八 |
| 代理店へ貸     | 四、八八〇九一五   | 貯蓄定期預金 | 八一、七七三三二   |
| 他店へ貸(五ヶ所) | 一、四六〇三五〇   | 別段預金   | 一〇〇〇〇〇     |
| 國債證券      | 五〇、一六〇〇〇〇  | 定期預金   | 六、五九二一〇〇   |
| 社債證券      | 二六、七八〇〇〇〇  | 小口當座預金 | 一五、九五三三二八  |
| 會社株券      | 九一、八七〇〇〇〇  | 支拂手形   | 一、二七〇八〇    |



|         |            |            |            |
|---------|------------|------------|------------|
| 拂込未済資本金 | 七五、〇〇〇〇〇   | 他店ヨリ借(八ヶ所) | 一、〇三五九四〇   |
| 營業用什器   | 二七、八七五〇    | 資本金        | 一〇〇、〇〇〇〇〇  |
| 金銀有高    | 三、六四六七五五   | 積立金        | 九〇〇〇〇〇     |
| 内譯      |            | 前期繰越金      | 一四〇八二五     |
| 正戻      | 一六三、七五五    | 当期純益金      | 九二八〇八四     |
| 兌換券     | 三、四八三、〇〇〇  | 合計         | 七〇二、〇六〇八六六 |
| 合計      | 七〇二、〇六〇八六六 |            |            |

◎ 株式会社 丸八貯蓄銀行の取扱事務

株式会社 丸八貯蓄銀行に於て現在取扱ふ事務左の如し

貯蓄預金

壹錢以上何程にても御預り致し毎月五日迄の御預け入に對しては其月一日よりの利子を付し可申  
又一冊の通張にて本支店代理店何れにても自由に御預け入の御便利有之候

複利定期預金

一口金拾圓以上何程にても壹ヶ年以上の期限にて御預り致し半年毎に利子を元加し複利計算を爲し期限に至り仕拂可致に付一定の元金を据置き増殖せんと欲する方には最も利益に御座候

小口當座預金

吉野川

岐阜支店に限り御取扱致し金高五圓以上何程にても預り御引出の節は小切手又は通帳の便利も有之又各地送金も右小切手にて自由に御座候

**定期預金**  
岐阜支店に限り取扱ひ最も高き歩合にて御預り致し期限内と雖ども相當の利子を附し仕拂の御請求に可應候

**送金爲替**  
岐阜支店に限り御取扱致し小口當座預金御取引有之向へは小切手を保證し送金の御便利有之候

◎ 貯蓄預金人員金額増加一覽表

| 調査年          | 金額         | 人員     |
|--------------|------------|--------|
| 明治三十一年十二月卅一日 | 一七三、五三四六三五 | 一〇、四一六 |
| 明治三十二年六月三十日  | 二八六、四一六二三四 | 一六、四二五 |
| 明治三十二年十二月卅一日 | 三七〇、一八一六七五 | 一九、六九一 |
| 明治三十三年六月三十日  | 四五二、八九三六七四 | 二六、〇五二 |
| 明治三十三年十二月卅一日 | 四九八、四一三八〇〇 | 二八、九五二 |
| 明治三十四年六月三十日  | 四九三、五一〇九八八 | 三一、一三〇 |



◎複利定期預金人員金額増加一覽

| 調査年          | 金                      | 人   |
|--------------|------------------------|-----|
| 明治三十一年十二月卅一日 | 三九、一九五七 <sup>四</sup> 五 | 一六員 |
| 明治三十二年六月三十日  | 六六、六一九八 <sup>六</sup> 六 | 一六員 |
| 明治三十二年十二月卅一日 | 八一、一六三〇 <sup>二</sup> 九 | 一六員 |
| 明治三十三年六月三十日  | 九六、五五五 <sup>一</sup> 九七 | 一六員 |
| 明治三十三年十二月卅一日 | 九七、五四六 <sup>一</sup> 〇三 | 一六員 |
| 明治三十四年六月三十日  | 八二、七七三 <sup>三</sup> 二  | 一六員 |
| 人員金額         | 八二、七七三 <sup>三</sup> 二  | 一六員 |



金 額 増 加 一 覽

明治三十一年十二月卅一日

明治三十二年六月三十日

明治三十二年十二月卅一日

明治三十三年六月三十日

明治三十三年十二月卅一日

明治三十四年六月三十日

人員金額

八二、七七三<sup>三</sup>二

附 録





附  
録

丸八貯蓄銀行營業案内

◎複利定期預金人員金額増加一覽

| 調 査 年 月      | 金 額                     | 人 員 |
|--------------|-------------------------|-----|
| 明治三十一年十二月卅一日 | 三九、一九五 <sup>円</sup> 七六五 | 三五七 |
| 明治三十二年六月三十日  | 六六、六一九八六六               | 五六六 |
| 明治三十二年十二月卅一日 | 八一、一六三〇二九               | 六一三 |
| 明治三十三年六月三十日  | 九六、五五五一九七               | 六八五 |
| 明治三十三年十二月卅一日 | 九七、五四六一〇三               | 六八九 |
| 明治三十四年六月三十日  | 八一、七七二三二一               | 五九七 |





◎ 皇 室

|                                  |                      |                                |                     |                    |                     |
|----------------------------------|----------------------|--------------------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 第一百二十一代<br>今上天皇 御名睦仁<br>孝明天皇第二皇子 |                      | 御降誕<br>嘉永五年壬子九月二十二日<br>陽曆十一月三日 | 御踐祚<br>慶應三年丁卯正月九日   | 御元服<br>應慶四年戊辰正月十五日 | 御即位<br>明治元年戊辰八月二十七日 |
| 皇后 宮 御名美子<br>故從一位一條忠香第三女         |                      | 御生誕<br>嘉永三年庚戌四月十七日<br>陽曆五月二十八日 | 入內<br>明治元年戊辰十二月二十八日 |                    |                     |
| 昌子內親王 第六皇女<br>常 宮                | 御生誕<br>明治二十一年戊子九月三十日 |                                |                     |                    |                     |
| 房子內親王 第七皇女<br>周 宮                | 御生誕<br>明治二十三年庚寅二月廿八日 |                                |                     |                    |                     |
| 允子內親王 第八皇女<br>富美宮                | 御生誕<br>明治二十四年辛卯八月七日  |                                |                     |                    |                     |
| 聰子內親王 第九皇女<br>泰 宮                | 御生誕<br>明治廿九年丙申五月十一日  |                                |                     |                    |                     |
| 宣 后 下                            |                      | 大嘗會<br>明治四年辛未十一月十七日            |                     |                    |                     |



| 宮院閑                |                    | 宮階山               | 宮川白北                |                    | 宮見伏                 |                     | 宮                            |
|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|------------------------------|
| 御息所<br>智惠子         | 大勳位<br>載仁親王        | 勳一等<br>菊麿王        | 故大勳位<br>能久親王<br>富子  | 御息所<br>利子女王        | 大勳位<br>貞愛親王         | 御息所<br>周子           | 御繼嗣<br>依仁親王                  |
| 故正一位大勳位公爵三條實美二女    | 故一品邦家親王第十六子孝明天皇御養子 | 故大勳位晃親王第一子        | 故從一位大勳位公爵島津久光養女     | 故一品大勳位熾仁親王第四女      | 故一品邦家親王第十四子孝明天皇御養子  | 正二位公爵岩倉具定第一女        | 故一品邦家親王第十七子御養父大勳位彰仁親王今上天皇御養子 |
| 御生誕<br>明治五年壬申五月廿五日 | 御生誕<br>慶應元年乙丑九月廿二日 | 御生誕<br>明治六年癸酉七月三日 | 御生誕<br>明治二十年丁亥四月十八日 | 御生誕<br>安政五年戊午五月廿一日 | 御生誕<br>安政五年戊午四月二十八日 | 御生誕<br>明治九年丙子八月二十九日 | 御生誕<br>慶應三年丁卯九月十九日           |

| 松小                 |                    | 宮川栖有              |                    | 東宮殿下                  |  |
|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|-----------------------|--|
| 御息所<br>頼子          | 大勳位<br>彰仁親王        | 御息所<br>慰子         | 大勳位<br>威仁親王        | 御皇孫<br>裕仁親王<br>迪宮     | 皇太子妃<br>御名節子<br>裕仁親王   |
| 故從三位伯爵有馬頼成第一女      | 故一品邦家親王第八子仁孝天皇御養子  | 故從二位侯爵前田慶寧第四女     | 故從四位伯爵溝口直浦第七女      | 故大勳位熾仁親王第四子今上天皇御養子    | 從一位大勳位九條道孝四女   |
| 御生誕<br>嘉永五年壬子六月十八日 | 御生誕<br>弘化三年丙午正月十六日 | 御生誕<br>元治元年甲子二月八日 | 御生誕<br>安政二年乙卯五月十二日 | 御生誕<br>明治十七年甲申六月二十日   | 御生誕<br>明治十二年巳卯八月三十日  |
|                    |                    |                   |                    | 明治卅四年四月二十九日<br>午后十時十分 | 東宮<br>宣下<br>立太子<br>宣下<br>太子妃<br>宣下<br>明治二十年丁亥八月三十一日<br>明治二十二年巳丑十一月三日<br>明治三十三年庚子五月十日 |







|         |       |         |       |        |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|--------|-------|---------|-------|
| 十六代仁德   | 一〇九七三 | 十七代履仲   | 一〇六六五 | 十八代反正  | 一〇七六六 | 十九代允恭   | 一〇七三三 |
| 二十代安康   | 一一一六四 | 二十一代雄略  | 一一一三七 | 二十二代清寧 | 一一一四〇 | 二十三代顯宗  | 一一一四五 |
| 二十四代仁賢  | 一一一四八 | 二十五代武烈  | 一一一五九 | 二十六代繼體 | 一一一六七 | 二十七代安閑  | 一一一四五 |
| 二十八代宣仁  | 一一一九六 | 二十九代欽明  | 一一二〇一 | 三十代敏達  | 一一二四二 | 三十一代用明  | 一一二四六 |
| 三十二代崇峻  | 一一二四八 | 三十三代推古  | 一一二五三 | 三十四代舒明 | 一一二八九 | 三十五代皇極  | 一一三〇二 |
| 三十六代孝德  | 一一三〇五 | 三十七代齊明  | 一一三一五 | 三十八代天智 | 一一三三一 | 三十九代弘文  | 一一三三二 |
| 四十代天武   | 一一三三三 | 四十一代持統  | 一一三四七 | 四十二代文武 | 一一三五七 | 四十三代元明  | 一一三六八 |
| 四十四代元正  | 一一三三五 | 四十五代聖武  | 一一三八四 | 四十六代孝謙 | 一一四〇九 | 四十七代淳仁  | 一一四一九 |
| 四十八代稱徳  | 一一四二五 | 四十九代光仁  | 一一四三〇 | 五十代桓武  | 一一四四二 | 五十一代平城  | 一一四六九 |
| 五十二代嵯峨  | 一一四七〇 | 五十三代淳和  | 一一四八四 | 五十四代仁明 | 一一四九四 | 五十五代文徳  | 一一五一八 |
| 五十六代清和  | 一一五三六 | 五十七代陽成  | 一一五三七 | 五十八代光孝 | 一一五四五 | 五十九代宇多  | 一一五四八 |
| 六十代醍醐   | 一一五九八 | 六十一代朱雀  | 一一五九一 | 六十二代村上 | 一一六〇七 | 六十三代冷泉  | 一一六二八 |
| 六十四代圓融  | 一一六三〇 | 六十五代花山  | 一一六四六 | 六十六代一條 | 一一六七七 | 六十七代三條  | 一一六七二 |
| 六十八代後一條 | 一一六七七 | 六十九代後朱雀 | 一一六九七 | 七十代後冷泉 | 一一七〇六 | 七十一代後三條 | 一一七二九 |
| 七十二代白河  | 一一七三三 | 七十三代堀河  | 一一七四七 | 七十四代鳥羽 | 一一七六八 | 七十五代崇徳  | 一一七八四 |

|         |       |         |       |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|
| 七十六代近衛  | 一一八〇二 | 七十七代後白河 | 一一八一六 | 七十八代二條  | 一一八二九 | 七十九代六條  | 一一八二六 |
| 八十代高倉   | 一一八四〇 | 八十一代安德  | 一一八四三 | 八十二代後鳥羽 | 一一八四八 | 八十三代土御門 | 一一八五九 |
| 八十四代順徳  | 一一八七一 | 八十五代仲恭  | 一一八八一 | 八十六代後堀河 | 一一八九二 | 八十七代四條  | 一一八九三 |
| 八十八代後嵯峨 | 一一九〇三 | 八十九代後深草 | 一一九〇七 | 九十代龜山   | 一一九二四 | 九十一代後宇多 | 一一九三五 |
| 九十二代伏見  | 一一九四八 | 九十三代後伏見 | 一一九五九 | 九十四代後二條 | 一一九六七 | 九十五代花園  | 一一九七八 |
| 九十六代後醍醐 | 一一九七九 | (光嚴)    | 一一九九二 | 九十七代後村上 | 一一九九九 | 九十八代後龜山 | 一一〇三〇 |
| 九十九代後小松 | 一一〇五三 | 百代稱光    | 一一〇七三 | 百一代後花園  | 一一〇八九 | 百二代後土御門 | 一一一二五 |
| 百三代後柏原  | 一一一六一 | 百四代後奈良  | 一一一八七 | 百五代正親町  | 一一二四八 | 百六代後陽成  | 一一二四七 |
| 百七代後水尾  | 一一二七二 | 百八代明正   | 一一三〇三 | 百九代後光明  | 一一三〇四 | 百十代後西院  | 一一三二二 |
| 百十一代靈元  | 一一三三三 | 百十二代東山  | 一一三六九 | 百十三代中御門 | 一一三九〇 | 百十四代櫻町  | 一一三九六 |
| 百十五代桃園  | 一一四〇二 | 百十六代後櫻町 | 一一四三〇 | 百十七代後桃園 | 一一四三九 | 百十八代光格  | 一一四七六 |
| 百十九代仁孝  | 一一四七六 | 百二十代孝明  | 一一五〇七 | 百二十一代今上 | 一一五二七 |         |       |

北朝

光 明 二〇〇八  
 崇 光 二〇〇九  
 後 光 嚴 二〇一〇  
 後 圓 融 二〇一〇  
 後 小 松 二〇一〇  
 (南北一統)



●諸法令

○手形法

第四編 手形

第一章 總則

第四百三十四條 本法ニ於テ手形トハ爲替手形、約束手形及ヒ小切手ヲ謂フ

第四百三十五條 手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十六條 代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セスシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百三十七條 偽造又ハ變造シタル手形ニ署名シタル者ハ其偽造又ハ變造シタル手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

變造シタル手形ニ署名シタル者ハ變造前ニ署名シタルモノト推定ス

偽造者、變造者及ヒ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ偽造又ハ變造シタル手形ヲ取得シタル者ハ手形上ノ權利ヲ有セス

第四百三十八條 無能力者カ手形ヨリ生シタル債務ヲ取消シタルトキト雖モ他ノ手形上ノ權利義務ニ影響ヲ及ホサス

第四百三十九條 本編ニ規定ナキ事項ハ之ヲ手形ニ記載スルモ手形上ノ効力ヲ生セス

第四百四十條 手形ノ債務者ハ本編ニ規定ナキ事由ヲ以テ手形上ノ請求ヲ爲ス者ニ對抗スルコトヲ得ス但直接ニ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ハ此限ニ在ラス

第四百四十一條 何人ト雖モ惡意又ハ重大ナル過失ナクシテ手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形返還ヲ請求スルコトヲ得ス

第四百四十二條 手形ノ引受又ハ支拂ヲ求ムル爲メニスル呈示、拒絕證書ノ作成其他手形上ノ權利ノ行使又ハ保全ニ付キ利害關係人ニ對シテ爲スヘキ行爲ハ其營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所又ハ居所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス但其者ノ承諾アルトキハ他ノ場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ妨ケス

利害關係人ノ營業所、住所又ハ居所カ知レザル

トキハ拒絕證書ヲ作ルヘキ公證人又ハ執達吏ハ其他ノ官署又ハ執達吏ハ其地ノ官署又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ要ス若シ問合ヲ爲スモ營業所、住所又ハ居所カ知レザルトキハ其役場又ハ官署若クハ公署ニ於テ拒絕證書ヲ作ルコトヲ得

第四百四十三條 引受人又ハ約束手形ノ振出人ニ對スル債權ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ支拂拒絕證書作成ノ日ヨリ六個月裏書人ノ其前者ニ對スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ六個月ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第四百四十四條 手形ヨリ生シタル債權カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ振出人又ハ引受人ニ對シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二章 爲替手形

第一節 振出

第四百四十五條 爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人ノ署名スルコトヲ要ス

一 其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

二 一定ノ金額

三 支拂人ノ氏名又ハ商號

四 受取人ノ氏名又ハ商號

五 單純ナル支拂ノ委託

六 振出ノ年月日

七 一定ノ滿期日

八 支拂地

第四百四十六條 爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額ヲ以テ手形金額トス

第四百四十七條 振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得

第四百四十八條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條 爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限り之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百五十條 滿期日ハ左ニ掲ケタル種類ノ一タルコトヲ要ス

一 確定セル日



二 日附後確定セル期間ヲ經過シタル日  
 三 一覽ノ日  
 四 一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日  
 第四百五十一條 振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス  
 第四百五十二條 振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ其爲替手形ニ記載シタル支拂人ノ住所地ヲ以テ其支拂地トス  
 第四百五十三條 支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナルトキハ他人ヲ以テ支拂擔當者トシテ爲替手形ニ記載スルコトヲ得  
 第四百五十四條 振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂ノ場所ヲ記載スルコトヲ得  
 第四百五十五條 爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス  
 第四百五十六條 振出人、引受人又ハ裏書人カ裏

書ニ依リテ爲替手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得  
 第四百五十七條 裏書ハ爲替手形、其曆本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス  
 裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ爾後爲替手形ハ引渡ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得  
 第四百五十八條 裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得  
 第四百五十九條 裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ手形上ノ責任ヲ負ハサル旨ヲ記載スルコトヲ得  
 第四百六十條 裏書人カ裏書ヲ爲スニ當タリ爾後裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ其裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ對シテ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ  
 第四百六十一條 裏書人カ其署名ノミヲ以テ裏書ヲ爲シタルトキハ所持人ハ自己ヲ其被裏書人ト爲スコトヲ得  
 第四百六十二條 支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ

後所持人カ裏書ヲ爲シタルトキハ被裏書人ハ裏書人ノ有シタル權利ノミヲ取得ス此場合ニ於テハ其裏書人ハ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ  
 第四百六十三條 所持人ハ裏書ニ依リテ爲替手形ノ質入ヲ爲シ又ハ其取立ノ委任ヲ爲スコトヲ得  
 此場合ニ於テハ裏書ニ其目的ヲ附記スルコトヲ要ス  
 前項ノ場合ニ於テ被裏書人ハ同一ノ目的ヲ以テ更ニ裏書ヲ爲スコトヲ得  
 第四百六十四條 裏書アル爲替手形ノ所持人ハ其裏書カ連續スルニ非サレハ其權利ヲ行フコトヲ得ス但署名ノミヲ以テ爲シタル裏書アルトキハ次ノ裏書人ハ其裏書ニ因リテ爲替手形ヲ取得シタルモノト看做ス  
 第三節 引 請  
 第四百六十五條 所持人ハ何時ニテモ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ得  
 第四百六十六條 一覽後定期拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年內ニ爲替手形ヲ支拂人ニ呈

示シテ其引受ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得  
 所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
 第四百六十七條 所持人カ一覽後定期拂ノ爲替手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ仕拂人カ其引受ヲ爲サス又ハ引受ノ日附ヲ爲替手形ニ記載セサリシトキハ所持人ハ呈示期間內ニ拒絕證書ヲ作ランコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書ノ作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス  
 所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
 引受人カ引受ノ日附ヲ記載セサリシ場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ呈示期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス  
 第四百六十八條 引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ支拂人署名スルニ依リ之ヲ爲ス  
 支拂人カ爲替手形ニ署名シタルトキハ其引受ヲ爲シタルモノト看做ス



第四百六十九條 支拂人ハ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ヲ除ク外支拂人カ爲替手形ノ單純ナル引受ヲ爲ササリシトキハ其引受ヲ拒絕シタルモノト看做ス但引受人ハ其引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百七十條 支拂人ハ爲替手形ノ引受ニ因リ滿期日ニ於テ其引受ケタル金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第四百七十一條 引受人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲ササリシ場合ニ於テ其所持人又ハ償還ヲ爲シタル裏書人若クハ振出人ニ對シテ支拂フヘキ金額ハ第四百九十一條又ハ第四百九十二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第四百七十二條 支拂地カ支拂人ノ住所地ト異ナル場合ニ於テ振出人カ爲替手形ニ支拂擔當者ヲ記載セサリシトキハ支拂人ハ其引受ヲ爲スニ當タリ之ヲ記載スルコトヲ得若シ支拂人カ之ヲ記載セサリシトキハ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス責ニ任ス

前項ノ場合ニ於テ振出人ハ爲替手形ニ其引受ヲ求ムル爲メ之ヲ呈示スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得此場合ニ於テ所持人カ拒絕證書ニ依リ其呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四節 擔保ノ請求

第四百七十四條 支拂人カ爲替手形ノ引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ手形金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得支拂人カ手形金額ノ一部ニ付キ引受ヲ爲シタルトキハ所持人ハ其殘額及ヒ費用ニ付相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第四百七十五條 爲替手形ノ所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ引受拒絕證書ヲ作ラシメ且擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シテ遲滯ナク擔保請求ヲ通知シ發スルコトヲ要ス

第四百七十六條 裏書人カ其後者ヨリ前條ノ通知

ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シテ其擔保スヘキ金額及ヒ費用ニ付キ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ擔保ヲ供セシメント欲スル者ニ對シテ遲滯ナク擔保請求ヲ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百七十七條 前三條ノ規定ニ依リテ擔保ノ請求ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク引受拒絕證書ト引換ニ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス但擔保ニ代ヘテ相當ノ金額ヲ供託スルコトヲ得

第四百七十八條 前者カ擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタルトキハ其後者全員ノ爲メ且其後者全員ニ對シテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

所持人又ハ裏書人カ第四百七十五條又ハ第四百七十六條第二項ノ通知ヲ發シタルトキハ其通知ヲ受クル者ノ後者全員ノ爲メニシタルモノト看做ス

第四百七十九條 左ノ場合ニ於テハ第四百七十七條ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其効力ヲ失ヒ又供託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一 後日ニ至リ爲替手形單純ナル引受アリタル

トキ

二 手形金額及ヒ費用ノ支拂アリタルトキ  
三 擔保ヲ供シ若シシハ供託ヲ爲シタル者又ハ其前者カ償還ヲ爲シタルトキ

四 手形上ノ權利カ時効又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキ

五 擔保ヲ供シ又ハ供託ヲ爲シタル者カ滿期日ヨリ一年內ニ償還ノ請求ヲ受ケサリシトキ

第四百八十條 引受人カ破産ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相當ノ擔保ヲ供セサルトキハ所持人ハ豫備支拂人ノ引受ヲ求ムルコトヲ得但拒絕證書ヲ作ラシメ且遲滯ナク豫備支拂人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

豫備支拂人ナキトキ又ハ豫備支拂人カ單純ナル引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百七十四條乃至第四百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十一條 左ノ場合ニ於テハ前條第二項ノ規定ニ依リテ供シタル擔保ハ其効力ヲ失ヒ又供



託シタル金額ハ之ヲ取戻スコトヲ得

一 豫備支拂人カ後日ニ至リ單純ナル引受ヲ爲シタルトキ

二 引受人カ後日ニ至リ相當ノ擔保ヲ供シタルトキ

三 第四百七十九條第二號乃至第五號ノ場合

第五節 支拂

第四百八十二條 一覽拂ノ爲替手形ノ所持人ハ其日附ヨリ一年内ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百八十三條 支拂ハ爲替手形ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ要セス

支拂ヲ爲ス者ハ所持人ヲシテ爲替手形ニ其支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セシムルコトヲ得

第四百八十四條 手形金額ノ全部ニ付キ引受アリ

タルトキト雖モ所持人ハ其一部ノ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス

一部ノ支拂アリタルトキハ所持人ハ其旨ヲ爲替手形ニ記載シ且其原本ヲ作り署名ノ後之ヲ交付スルコトヲ要ス

第四百八十五條 爲替手形ノ支拂ノ請求ナキトキハ引受人ハ支拂拒絕證書作成ノ期間經過ノ後手形金額ヲ供託シテ其債務ヲ免ルルコトヲ得

第六節 償還ノ請求

第四百八十六條 支拂人カ爲替手形ノ支拂ヲ爲サザリシトキハ所持人ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百八十七條 所持人カ前條ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手形ヲ支拂人ニ呈示シ、若シ手形金額ノ支拂ナキトキハ滿期日又ハ其後二日內ニ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シテ拒絕證書作成ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲サザリシトキ

ハ其前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第四百八十八條 裏書人カ其後者ヨリ前條第一項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裏書人ハ償還ヲ爲サシメント欲スル者ニ對シ自己カ通知ヲ受ケタル日ノ翌日マテニ償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百八十九條 爲替手形ノ所持人ハ支拂拒絕證書ヲ作ラシメザリシトキト雖モ其作成ヲ免除シタル者ニ對シテハ手形上ノ權利ヲ失フコトナシ

所持人カ支拂拒絕證書ヲ作ラシメタルトキハ其作成ヲ免除シタル者ト雖モ其費用ヲ償還スル義務ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百九十條 支拂地カ支拂人ノ住所ト異ナル場合ニ於テ所持人カ償還ノ請求ヲ爲サント欲スルトキハ支拂擔當者ニ、若シ爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載ナキトキハ支拂地ニ於テ支拂人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ要ス

此場合ニ於テ支拂擔當者又ハ支拂人カ支拂ヲ爲サザリシトキハ所持人ハ支拂地ニ於テ第四百八

十七條第一項ノ規定ニ從ヒ支拂拒絕證書ヲ作ラシメ且償還請求ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

爲替手形ニ支拂擔當者ノ記載アル場合ニ於テ所持人カ前項ニ定メタル手續ヲ爲サザリシトキハ引受人ニ對シテモ手形上ノ權利ヲ失フ

第四百九十一條 爲替手形ノ所持人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一 支拂アラザリシ手形金額及ヒ滿期日以後ノ法定利息

二 拒絕證書作成ノ手数料其他ノ費用

前項ノ金額ハ償還ノ請求ヲ受ケタル者ノ住所地カ支拂地ト異ナル場合ニ於テハ支拂地ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル者ノ住所地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償還ノ請求ヲ受ケタル者ノ住所地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂ノ爲替手形ノ相場ニ依ル

第四百九十二條 償還ノ請求ヲ受ケタル裏書人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一 其支拂ヒタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ法定



利息

二 其支出シタル費用

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス  
 第四百九十三條 爲替手形ノ所持人又ハ裏書人ハ  
 償還ノ請求ヲ爲ス爲メ其前者ヲ支拂人トシテ更  
 ニ爲替手形ヲ振出スコトヲ得  
 第四百九十四條 所持人又ハ裏書人カ前條ノ規定  
 ニ依リテ振出ス爲替手形ハ償還ノ請求ヲ受クル  
 者ノ住所地ヲ以テ其支拂地ト定メタル一覽拂ノ  
 モノタルコトヲ要ス  
 所持人カ振出ス爲替手形ニハ本爲替手形ノ支拂  
 地ヲ以テ振出地ト定メ裏書人カ振出ス爲替手形  
 ニハ其住所地ヲ以テ振出地ト定ムルコトヲ要ス  
 第四百九十五條 償還ハ爲替手形、支拂拒絕證書  
 及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ爲スコト  
 ヲ要セス  
 償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計算書  
 ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之ニ署名セ  
 シムルコトヲ得  
 第四百九十六條 第四百七十八條第二項ノ規定ハ

償還ノ請求ニ之ヲ準用ス

第七節 保證

第四百九十七條 爲替手形ヨリ生シタル債務ヲ保  
 證スル爲メ爲替手形、其原本又ハ補箋ニ署名シ  
 タル者ハ其債務カ無効ナルトキト雖モ主タル債  
 務者ト同一ノ責任ヲ負フ  
 第四百九十八條 何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタルカ  
 分明ナラサルキハ其保證ハ引受人ノ爲メニ之ヲ  
 爲シタルモノト看做ス但未タ引受アラサリシト  
 キハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス  
 第四百九十九條 保證人カ其債務ヲ履行シタルト  
 キハ所持人カ主タル債務者ニ對シテ有セシ權利  
 及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シテ有スヘキ權  
 利ヲ取得ス  
 第八節 參加  
 第一款 參加引受  
 第五百條 爲替手形ノ所持人カ引受拒絕證書ヲ  
 作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人アルトキハ  
 其豫備支拂人ニ引受ヲ求メタル後ニ非サレハ其  
 前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得ス

豫備支拂人カ引受ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ  
 其旨ヲ引受拒絕證書ヲ記載セシムルコトヲ要ス  
 第五百一條 爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人ニ非  
 サル者ノ參加引受ヲ拒ムコトヲ得  
 第五百二條 參加引受ヲ爲サントスル者數人アル  
 トキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ヲシテ引受  
 ヲ爲サシムルコトヲ得  
 第五百三條 參加引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記載シ  
 參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス  
 參加引受人カ爲替手形ニ被參加人ヲ定メサリシ  
 トキハ其引受ハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモ  
 ノト看做ス  
 第五百四條 所持人ハ引受拒絕證書ニ參加引受ア  
 リタル旨ヲ記載セシメ且其證書作成ノ費用ノ支  
 拂ト引換ニ之ヲ參加引受人ニ交付スルコトヲ要  
 ス參加引受人ハ遲滞ナク前項ノ拒絕證書ヲ被參  
 加人ニ送付スルコトヲ要ス  
 第五百五條 參加引受人ハ支拂人カ手形金額ノ支  
 拂ヲ爲ササル場合ニ於テ被參加人ノ後者ニ對シ  
 支拂アラサリシ手形金額及費用ヲ支拂フ義務ヲ

負フ但所持人カ満期日又ハ其後二日內ニ支拂ヲ  
 求ムル爲メ爲替手形ヲ參加引受人ニ呈示セサル  
 トキハ參加引受人ハ其義務ヲ免ル  
 第五百六條 爲替手形ノ所持人其他被參加人ノ後  
 者ハ參加引受ニ因リテ擔保ヲ請求スル權利ヲ失  
 フ  
 第五百七條 被參加人ハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請  
 求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百七十五條  
 乃至第四百七十九條ノ規定ヲ準用ス  
 第二款 參加支拂  
 第五百八條 爲替手形ノ所持人カ支拂拒絕證書ヲ  
 作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人又ハ參加引  
 受人アルトキハ所持人ハ満期日又ハ其後二日內  
 ニ參加引受人ニ、若シ參加引受人ナキトキ又ハ  
 參加引受人カ支拂ヲ爲ササリシトキハ豫備支拂  
 人ニ爲替手形ヲ呈示シテ其支拂ヲ求メタル後ニ  
 非サレハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコト  
 ヲ得ス  
 參加引受人又ハ豫備支拂人カ支拂ヲ爲ササリシ  
 トキハ所持人ハ其旨ヲ支拂拒絕證書ニ記載セシ



ムルコトヲ要ス  
 所持人カ前二項ニ定メタル準據ヲ爲ササリシト  
 キハ豫備支拂人ヲ指令シタル者又ハ被參加人及  
 七其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
 第五百九條 爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人又ハ  
 參加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ト雖モ之ヲ拒  
 ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルトキハ被參加人  
 及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ  
 第五百十條 參加支拂ヲ爲サントスル者數人アル  
 トキハ所持人ハ最モ多數ノ者ヲシテ債務ヲ免レ  
 シムル効力ヲ有スル支拂ヲ受タルコトヲ要ス  
 第五百十一條 豫備支拂人又ハ參加引受人ニ非サ  
 ル參加支拂人カ被參加人ヲ示ササリシトキハ其  
 支拂ハ支拂人ノ爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做  
 ス  
 第五百十二條 所持人ハ支拂拒絕證書ニ參加支拂  
 アリタル旨ヲ記載セシメ且手形金額及ヒ費用ノ  
 支拂ト引換ニ其拒絕證書及ヒ爲替手形ヲ參加支  
 拂人ニ交付スルコトヲ要ス  
 第五百十三條 參加支拂人カ支拂ヲ爲シタルトキ

ハ引受人、被參加人及ヒ其前者ニ對スル所持人  
 ノ權利ヲ取得ス  
 第九節 拒絕證書  
 第五百十四條 拒絕證書ハ爲替手形ノ所持人ヲ請  
 求ニ因リ公證人又ハ執達吏之ヲ作ル  
 第五百十五條 拒絕證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ公  
 證人又ハ執達吏之ニ署名スルコトヲ要ス  
 一 爲替手形、其贖本及ヒ補箋ニ記載シタル事  
 項  
 二 拒絕者及ヒ被拒絕者ノ氏名又ハ商號  
 三 拒絕者ニ對シテ爲シタル請求ノ趣旨及ヒ拒  
 絶者カ其請求ニ應セサリシコト又ハ拒絕者  
 ニ面會スルコト能ハサリシ理由  
 四 前號ノ請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハサ  
 リシ地及ヒ年月日  
 五 拒絕者ノ營業所、住所又ハ居所カ知レサル  
 場合ニ於テ其地ノ官署又ハ公署ニ同合ヲ爲  
 シタルコト  
 六 法定ノ場所外ニ於テ拒絕證書ヲ作ルトキハ  
 拒絕者カ之ヲ承諾シタルコト

七 參加引受又ハ參加支拂アルトキハ參加ノ種  
 類及ヒ參加人並ニ被參加人ノ氏名又ハ商號  
 第五百十六條 數人ニ對シテ手形上ノ請求ヲ爲ス  
 ヘキトキハ其請求ニ付キ一通ノ拒絕證書ヲ作ラ  
 シムルヲ以テ足ル  
 第五百十七條 公證人又ハ執達吏カ拒絕證書ヲ作  
 リタルトキハ其帳簿ニ其證書ノ全文ヲ記載スル  
 コトヲ要ス  
 拒絕證書カ滅失シタルトキハ利害關係人ハ其贖  
 本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此贖本ハ原本ト同  
 一ノ効力ヲ有ス  
 第十節 爲替手形ノ複本及ヒ贖本  
 第五百十八條 爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ對シ  
 テ其爲替手形ノ複本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得  
 但所持人受取人ニ非サルトキハ順次ニ其前者ヲ  
 經由シテ之ヲ請求スルコトヲ要ス  
 振出人カ爲替手形ノ複本ヲ作リタルトキハ各裏  
 書人ハ各通ニ其裏書ヲ爲スコトヲ要ス  
 第五百十九條 爲替手形ノ複本ニ其複本タルコト  
 ヲ示ササルトキハ其各通ハ獨立ノ爲替手形トシ

テ其効力ヲ有ス  
 第五百二十條 爲替手形ノ複本ヲ作リタル場合ニ  
 於テ其一通ノ支拂アリタルトキハ他ノ各通ハ其  
 効力ヲ失フ但引受アルモノハ此限ニ在ラス  
 二人以上ニ各別ニ數通ノ爲替手形ノ裏書ヲ爲シ  
 タル者又ハ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲シタル者  
 ハ支拂ノ時ニ於テ返還アラサリシ各通ニ付キ手  
 形上ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス  
 第五百二十一條 爲替手形ノ複本ノ所持人カ引受  
 ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキハ他ノ各  
 通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要ス  
 前項ノ記載アル爲替手形ノ所持人ハ引受ヲ求ム  
 ル爲メニ送付シタル一通ノ爲替手形ヲ受取リタ  
 ル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得若シ其  
 者カ之ヲ返還セサルトキハ拒絕證書ニ依リ其事  
 實及ヒ他ノ一通又ハ數通ノ爲替手形ヲ以テ引受  
 又ハ支拂ヲ受タルコト能ハサリシコトヲ證明ス  
 ルニ非サレハ其前者ニ對シテ擔保又ハ償還ノ請  
 求ヲ爲スコトヲ得ス  
 第五百二十二條 爲替手形ノ所持人ハ其贖本ヲ作



ルコトヲ得  
爲替手形ノ贖本ニ或事項ヲ記載シタルトキハ其  
事項ト原本ニ記載シタル事項トヲ區別スルコト  
ヲ要ス

第五百二十三條 所持人カ爲替手形ノ引受ヲ求ム  
ル爲メ其原本ヲ送付シタル場合ニ於テ其贖本ヲ  
作リタルトキハ之ニ其原本ノ送付先ヲ記載スル  
コトヲ要ス

前項ノ記載アル贖本ノ所持人ハ原本ヲ受取リタ  
ル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十四條 引受ヲ求ムル爲メニ送付シタル  
爲替手形ヲ受取リタル者カ之ヲ返還セサル場合  
ニ於テ其贖本ノ所持人カ拒絕證書ニ依リテ其事  
實ヲ證明スルトキハ贖本ニ署名シタル者ニ對シ  
テ擔保ノ請求ヲ爲シ又贖本ニ記載シタル滿期日  
カ到來シタル後ハ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三章 約束手形

第五百二十五條 約束手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ  
振出人之ニ署名スルコトヲ要ス  
一 其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字

日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ振出  
人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

振出人カ呈示ノ日附ヲ記載セサリシ場合ニ於テ  
所持人カ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキハ呈示  
期間ノ末日ヲ以テ呈示ノ日ト看做ス

第五百二十九條 第四百四十六條、第四百四十九  
條乃至第四百五十一條、第四百五十三條乃至第  
四百五十七條、第四百五十九條乃至第四百六十  
四條、第四百七十一條、第四百八十條乃至第四  
百九十九條、第五百八條乃至第五百十七條及ヒ  
第五百二十二條ノ規定ハ約束手形ニ之ヲ準用ス

第四章 小切手

第五百三十條 小切手ニハ左ノ事項ヲ記載シ振  
出人之ニ署名スルコトヲ要ス

- 一 其小切手タルコトヲ示スヘキ文字
- 二 一定ノ金額
- 三 支拂人ノ氏名又ハ商號
- 四 受取人ノ氏名若シハ商號又ハ所持人ニ支拂  
フヘキコト

二 一定ノ金額

三 受取人ノ氏名又ハ商號

四 單純ナル支拂ノ約束

五 振出ノ年月日

六 一定ノ滿期日

七 振出地

第五百二十六條 振出人カ約束手形ニ支拂地ヲ記  
載セサリシトキハ振出地ヲ以テ其支拂地トス

第五百二十七條 一覽後定期拂ノ約束手形ノ所持  
人ハ其日附ヨリ一年內ニ振出人ニ約束手形ヲ呈  
示スルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨリ短キ呈示期  
間ヲ定ムルコトヲ得

所持人カ拒絕證書ニ依リ前項ニ定メタル呈示ヲ  
爲シタルコトヲ證明セサルトキハ振出人以外ノ  
前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ

第五百二十八條 所持人カ一覽後定期拂ノ約束手  
形ヲ呈示シタル場合ニ於テ振出人カ呈示ヲ受ケ  
タル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記載セサリシト  
キハ所持人ハ呈示期間內ニ拒絕證書ヲ作ラシム  
ルコトヲ要ス此場合ニ於テハ其拒絕證書作成ノ

五 單純ナル支拂ノ委託

六 振出ノ年月日

七 支拂地

第五百三十一條 小切手ノ振出人ハ自己ヲ受取人  
ト定ムルコトヲ得

第五百三十二條 小切手ハ一覽拂ノモノトス

第五百三十三條 小切手ノ所持人ハ其日附ヨリ一  
週間內ニ小切手ヲ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコト  
ヲ要ス

所持人カ前項ニ定メタル呈示ヲ爲ササリシトキ  
ハ其前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第五百三十四條 小切手ノ所持人カ其前者ニ對シ  
テ償還ノ請求ヲ爲スニハ支拂拒絕證書ノ作成ニ  
代ヘ支拂人ヲシテ前條第一項ニ定メタル期間內  
ニ支拂拒絕ノ旨及ヒ其年月日ヲ小切手ニ記載セ  
シメ且之ニ署名セシムルヲ以テ足ル

第五百三十五條 小切手ノ振出人又ハ所持人カ其  
表面ニ二條ノ平行線ヲ畫キ其線內ニ銀行又ハ之  
ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ記載シタルトキハ  
支拂人ハ銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得



振出人又ハ所持人カ平行線内ニ特定セル銀行ノ商號ヲ記載シタルトキハ支拂人ハ其銀行ニ對シテノミ支拂ヲ爲スコトヲ得但其銀行カ其商號ヲ抹消シテ他ノ銀行ノ商號ヲ記載シ之ニ取立ノ委任ヲ爲スコトヲ妨ケス

第五百三十六條 左ノ場合ニ於テハ振出人ハ五圓以上十圓以下ノ過料ニ處セラル

一 資金ナク又ハ信用ヲ得スシテ小切手ヲ振出シタルトキ

二 小切手ニ虚偽ノ日附ヲ記載シタルトキ  
 第五百三十七條 第四百四十六條、第四百五十二條、第四百五十五條、第四百五十七條、第四百五十九條乃至第四百六十二條、第四百六十四條、第四百八十三條、第四百八十四條、第四百八十六條乃至第四百八十九條、第四百九十一條、第四百九十二條、第四百九十五條、第四百九十六條、第五百十四條、第五百十五條及ヒ第五百十七條ノ規定ハ小切手ニ之ヲ準用ス

○特許法摘要

(明治三十二年三月法律第三十六號)  
 (明治三十二年七月一日ヨリ施行)

(一)工業上ノ物品及方法ニ關シ最先ノ發明ヲ爲シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ特許ヲ受クルコトヲ得

物品ノ發明ニ係ル特許ハ特許ヲ受タル者ニ限リ其發明ノ物品ヲ製作使用、販賣若ハ擴布スルノ權利ヲ有セシム

方法ノ發明ニ係ル特許ハ特許ヲ受ケタル者ニ限リ之ヲ使用若ハ擴布スルノ權利ヲ有セシム但其ノ特許ノ效力ハ同一方法ニ依リ製作セラレタル物品ニ及フモノトス(第一條)

(二)左ニ掲クル發明ハ特許ヲ受クルコトヲ得ズ

- 一 飲食物、嗜好物
- 二 醫藥又ハ其ノ調合法
- 三 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ
- 四 特許出願前公ニ知ラレ又ハ公ニ用キラレタモノ但シ試験ノ爲メ二年以内公ニ知ラレタルモノハ此ノ限ニテラズ(第二條)

(三)特許ノ年限ハ十五年トシ原簿登錄ノ日ヨリ起算ス(第三條)

(四)特許ハ制限ヲ附シ若ハ附セスシテ讓渡シ、共有ト爲シ又ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得、前項ノ場ニ於テハ特許局ニ請求シ其ノ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス(第四條)

(五)特許ニ關シ出願若ハ請求ヲ爲サントスル者又ハ特許証主ニシテ帝國内ニ住所ヲ有セサルトキハ帝國内ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定ムベシ、前項代理人ハ此ノ法律及ヒ之ニ基キテ發スル命令ノ定ムル所ニ依リ特許局ニ對シテ爲スヘキ手續又ハ特許ニ關スル民事訴訟及告訴ニ付本人ヲ代表スルモノトス(第六條)

(六)特許ヲ受ケントスル者ハ一發明毎ニ發明ノ明細書及必要ノ圖面ヲ添へ特許局長ニ出願スヘシ特許局長ハ出願者ニ對シ必要ト認ムルトキハ難形若ハ見本ノ提出ヲ命スルコトヲ得(第十一條)

(七)審査官ニ於テ特許ヲ與フヘキモノト査定シタルトキハ特許局長ハ特許原簿ニ登錄シ特許証ヲ

下附ス、特許証ニハ特許局長之ニ署名シ明細書及必要ノ圖面ヲ添附ス

(八)特許証主ハ自己ノ發明ヲ利用シテ爲シタル發明ニ對シ追加特許ヲ受クルコトヲ得、追加特許ハ原特許ニ從ヒ移轉若ハ消滅スルモノトス(第十九條)

(九)特許ヲ受ケタル發明ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ其ノ特許ヲ無効トス

- 一 第一條及第二條ニ違反シタルモノ
- 二 發明ノ實施ニ必要ナル事項ヲ故意ニ明細書ニ記載セザリシモノ
- 三 發明ノ實施ニ必要ナラザル事項ヲ故意ニ明細書ニ記載セシモノ(第二十條)

(十)二個以上ノ特許發明互ニ撞著シ又ハ特許發明ト特許ヲ受ケサル物品若ハ方法ト撞著スルコトヲ發見シタルキハ利害關係人ハ權利ヲ確認スル爲メ特許局ニ審判ヲ請求スルコトヲ得(第二十九條)

(十一)特許ヲ受ケタル發明ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許局長ニ於テ其ノ特許ヲ



取消スコトヲ得

一 特許証主正當ノ事故ナクシテ特許証ノ日ヨリ三年ヲ經ルモ帝國内ニ於テ其ノ發明ヲ實施公行セザル場合又ハ三年以上其ノ實施公行ヲ中止シタル場合ニ於テ第三者ヨリ相當ノ條件ヲ附シテ其ノ讓渡若ハ使用ヲ請求スルモ之ヲ拒絶シタルトキ

二 特許証主特許料納附期限ノ後六十日ヲ經過スルモ仍其ノ納附ヲ怠リタルトキ

三 特許主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第六條ノ代理人ヲ置カサルトキ(第二十八條)

(十二) 特許証主ハ特許料トシテ各特許ニ付毎年金拾圓ヲ納ムベシ

前項特許料ハ三年毎ニ金五圓ヲ増スモノトス

特許証主追加特許ヲ受ケタルトキハ追加特許料トシテ一時ニ金貳拾圓ヲ納ムベシ(第二十九條)

(十三) 特許料ハ毎年一年分ヲ特許證ノ日附ニ應當スル日ニ納メ前納スベシ第一年ニ係ルモノ及追加特許料ハ特許査定書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ前納セシ特許料ハ還附セス但シ

一時ニ二年分以上ノ特許料ヲ前納シタル場合ニ於テハ未ダ其ノ納附期限ニ至ラサルモノニ限り之ヲ還附ス(第四十條)

(十四) 特許證書ハ其ノ特許品ニ特許ノ標記ヲ附ス(シ(第四十一條))

(十五) 他人ノ特許品ヲ偽造シタル者又ハ情ヲ知リテ偽造特許品ヲ使用シ若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ特許方法ヲ竊用シタル者又ハ情ヲ知リテ其竊用シテ製造シタル物品ヲ使用若ハ販賣シタル者ハ十五日以上三年以下ノ重禁錮又ハ拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ特許ヲ侵害スヘキ物品ナルコトヲ知リテ之ヲ外國ヨリ輸入シタルモノ又ハ情ヲ知リテ其輸入シタル物品ヲ使用シ若ハ販賣シタル者ハ罰前項ニ同ジ(第四十五條)

(十六) 詐欺ノ處爲ヲ以テ特許ヲ受ケタル者又ハ特許ヲ受ケサル物品ニ特許標記ヲ附シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス、特許ヲ受ケサル物品ヲ販賣スル爲メ廣告、看板、引札等

ニ於テ特許品タルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同ジ(第四十七條)

(十七) 特許証主特許標記ヲ附スルヲ怠リタルトキハ其ノ特許品タルコトヲ知リテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテノミ要價ノ訴ヲ爲スコトヲ得(第四十九條)

(完)

○ 意匠法 (明治三十二年三月一日 法律第三十七號)

第一條 工業上ノ物品ニ應用スヘキ形狀、模様、色彩又ハ其ノ結合ニ係ル新規ノ意匠ヲ提出シタル者若ハ其ノ承繼人ハ此ノ法律ニ依リ意匠ノ登録ヲ受ケ之ヲ專用スルコトヲ得

第二條 左ニ掲クル意匠ハ登録ヲ受クルコトヲ得

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ形狀、模様ヲ有スルモノ

二 秩序又ハ風俗ヲ紊ルノ虞アルモノ

三 意匠登録出願前公ニ知ラレ又ハ公ニ用キラレタルモノ若ハ之ト類似スルモノ但シ自己ノ登録意匠ト類似スルモノハ此ノ限ニアラ

第三條 意匠専用ノ年限ハ十年トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス但シ類似意匠ノ専用年限ハ原意匠ノ有効年限ニ伴フ

第四條 意匠ノ専用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル物品ニ限ル

第五條 他人ノ委託又ハ雇主ノ費用ヲ以テ提出シタル意匠ニ係ル登録出願ノ權利ハ其ノ委託者若ハ雇主ニ屬ス但シ別ニ契約アル場合ニ於テハ此ノ限ニアラス

第六條 意匠専用權ハ制限ヲ附シ若ハ附セスシテ讓渡シ若ハ共有ト爲シ又ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ特許局ニ請求シ其ノ登録ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七條 特許局ノ官吏ハ在職中意匠専用權ヲ有スルコトヲ得ス但シ相續ニ因リ之ヲ取得シ又ハ在



職前ヨリ之ヲ有スルトキハ此ノ限ニアラス

第八條 意匠ノ登録ヲ受ケントスル者ハ一意匠毎ニ其意匠ヲ應用スヘキ物品ヲ明記シ難形、見本若ハ圖面ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ

特許局長ハ出願者ニ對シ難形、見本圖面説明書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第九條 二人以上同一又ハ相類似スル意匠ノ登録ヲ出願スル者アルトキハ出願ノ先ナルモノヲ登録ス其同時ノ出願ニ係ルモノハ共ニ之ヲ登録セス但シ出願者共有ノ目的ヲ以テ連名登録ノ申出ヲ爲シタルトキ又ハ出願者一人トナリタルトキハ此ノ限ニアラス

第十條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ意匠登録ヲ出願シタル者四箇月以内ニ同一意匠ニ付登録ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於テ之ヲ爲シタルト同一ノ効力ヲ有ス

第十一條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ第一條第二條第五條又ハ第九條ニ違反シタルモノナルトキハ其ノ登録ヲ無効トス

第十二條 登録ヲ受ケタル意匠ニシテ左ノ場合ニ

該當スルモノアルトキハ特許局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

一 意匠登録證主意匠科納付期限後六十日ヲ經過シ仍其ノ納付ヲ怠リタルトキ

二 意匠登録證主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第二十二條ニ依ル特許法第六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第十三條 意匠登録證主ハ意匠料トシテ各意匠ニ付第一年ヨリ第三年マデハ毎年金三圓第四年ヨリ第六年マデハ毎年金五圓第七年ヨリ第十年マデハ金七圓ヲ納ムヘシ

第十四條 意匠料ハ毎年一年分ヲ登録證ノ日付ニ應當ナル日ニ於テ前納スヘシ第一年ニ係ルモノ及前條第二項ノ意匠料ハ登録査定書到達ノ日ヨリ六十日以内ニ之ヲ納ムヘシ

前納シタル意匠料ハ之ヲ還付セス但シ一時ニ二年分以上ノ意匠料ヲ納付シタル場合ニ於テハ未ダ其ノ納付期限ニ到ラサルモノニ限り之ヲ還付

ス

第十五條 意匠登録證主ハ其ノ意匠ヲ應用シタル物品ニ意匠登録ノ標記ヲ付スヘシ

第十六條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲シタルトキハ一月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定ヲ爲サシメタル者ハ罰前項ニ同ジ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定若ハ審決ニ至ラサル前特許局又ハ囑託ヲ受ケタル裁判所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第十七條 他人ノ登録意匠ヲ摸擬シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ摸擬シタル物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス他人ノ登録意匠ヲ侵害スヘキ物品ナルコトヲ知リ之ヲ外國ヨリ輸入シタル者又ハ情ヲ知ツテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ罰前項ニ同ジ

第十八條 前條ノ場合ニ於テ沒收シタル物件ハ之

ヲ意匠登録主ニ給付ス

第十九條 詐偽ノ所爲ヲ以テ意匠ノ登録ヲ受ケタル者又ハ登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ニ登録標記ヲ付シ若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ物品ヲ販賣シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

登録ヲ受ケサル意匠ヲ應用シタル物品ヲ販賣スル爲廣告、看板、引札等ヲ其ノ意匠ノ登録ヲ受ケタルニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者ハ罰前項ニ同ジ

第二十條 第十七條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ズ

第二十一條 意匠登録證主登録標記ヲ付スルコトヲ怠リタルトキハ其ノ登録意匠タルコトヲ知リテ其ノ權利ヲ侵害シタル者ニ對シテノミ要償ノ訴ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 特許法第六條乃至第十條第十三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條乃至第三十七條第四十三條及第五十一條ノ規定ハ意匠



ニ關シテ之ヲ準用ス

第二十三條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十四條 明治二十年勅令第八十五號意匠條例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

意匠條例ニ依テ受ケタル登録ハ其ノ年限間此ノ法律ニ依テ受ケタル登録ト同一ノ効アルモノトス

意匠ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノハ此ノ法律ニ依リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スベシ

○商標法

第一條 自己ノ商品ヲ表彰スル爲商標ヲ專用セントスル者ハ此ノ法律ニ依リ其ノ登録ヲ受クベシ

第二條 文字、圖形又ハ記號ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノハ商標ノ登録ヲ受クルコトヲ得ス

一 菊花御紋章ト同一若ハ類似ノ圖形ヲ有スルモノ

二 國旗軍旗勳章又ハ外國ノ國旗ト同一若ハ類似ノモノ

三 秩序又ハ風俗ヲ紊リ若ハ世人ヲ欺瞞スルノ虞アルモノ

四 他人ノ登録商標又ハ其ノ登録失効後一年ヲ經過セサルモノト同一若ハ類似ニシテ同商品ニ使用セントスルモノ

五 此法律施行前ヨリ他ニ使用者アル商標ト同一若ハ類似ノモノ

六 商品ノ普通名稱、產地ヲ表彰スルモノ又ハ其ノ品位、品質、形狀ヲ商業上慣用ノ文字、圖形若ハ記號ニ依リ表彰スルモノ及普通ニ使用セラル、氏名商號會社名若ハ組合名ヲ普通ノ書體ニ依リ記載スルモノ

七 欄、地紋其ノ他特別著名ノ外觀ナキモノ

第三條 商標專用ノ年限ハ二十年トシ原簿登録ノ日ヨリ起算ス

外國ノ登録商標ニシテ帝國ニ於テ登録ヲ受ケタルモノ、專用年限ハ原登録ノ有効年限ニ從フ但シ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條 商標專用年限滿了ノ後其ノ商標ヲ續用セシトスルモノハ更ニ其登録ヲ受クルコトヲ得

第五條 商標ノ専用ハ農商務大臣ノ定ムル類別ニ從ヒ出願人ノ指定シタル商品ニ限ル

第六條 登録商標主其ノ營業ヲ讓渡シ又ハ他人ト其ノ營業ヲ共ニスル場合ニ限リ其ノ商標ヲ讓渡シ若ハ共有ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ特許局ニ請求シ其ノ登録ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

登録商標主同商品ニ附類似ノ商標ヲ有スル時ハ共ニ讓渡シ若ハ共有ト爲シ又ハ類似商標ノ使用ヲ廢止スルニ非サレハ前項ノ登録ヲ受クルコトヲ得ス

第七條 商標ノ登録ヲ受ケントスル者ハ一商標毎ニ其商標ヲ附スヘキ商品ヲ明記シ見本ヲ添ヘ特許局長ニ出願スヘシ

第八條 二人以上同一又ハ相類似スル商標ヲ同商品ニ使用セントシテ登録ヲ出願スル者アルトキハ出願ノ先ナルモノヲ登録シ同時ニ出願シタルモノハ共ニ之ヲ登録セス但シ出願人一人トナリ

タルトキハ此ノ限リニアラス

第九條 工業所有權保護同盟條約國ニ於テ商標登録ヲ出願シタル者四箇月以内ニ同一商標ニ附登録ヲ出願スルトキハ其ノ出願ハ最初出願ノ日ニ於テ之ヲ爲シタルト同一ノ効力ヲ有ス

第十條 登録ヲ受ケタル商標ニシテ第二條又ハ第八條ニ違反シタルモノアルトキハ其ノ登録ヲ無効トス但シ第二條第四號若ハ第五號ニ該當シ又ハ第八條ニ違ヒ登録ヲ受ケタルモノニシテモ登録後三年ヲ經タルトキハ此ノ限ニアラス

第十一條 登録ヲ受ケタル商標ニシテ左ノ場合ニ該當スルモノアルトキハ特許局長ニ於テ其ノ登録ヲ取消スコトヲ得

一 登録商標主登録後其ノ商標ヲ使用スル商品ノ產地、品質等ニ關シ不實ノ事項ヲ附記シタルトキ

二 登録商標主正當ノ事故ナクシテ六箇月以上第二十條ニ依ル特許法第六條ノ代理人ヲ置カサルトキ

第十二條 商標使用權ハ登録商標主其ノ商標ヲ使



用スル營業ノ廢止ニ依リ消滅ス

第十三條 商標ノ登録ヲ受ケタル者ハ一商標ニ附商  
品一類毎ニ商標料金參拾圓ヲ納ムヘシ續用ノ登  
録ニ附テモ亦同ジ

第十四條 特許局ハ商標公報ヲ發行シ商標登録ニ  
關スル必要事項ヲ公示スベシ

第十五條 證人又ハ鑑定人ニシテ特許局又ハ囑托  
ヲ受ケタル裁判所ニ對シ偽證又ハ詐偽ノ鑑定を  
爲シタルトキハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處  
シ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑托シ偽證又ハ詐偽  
ノ鑑定ヲ爲サシメタル者ハ罰前項ニ同ジ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ査定若ハ審  
決ニ至ラサル前特許局又ハ囑托ヲ受ケタル裁判  
所ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

第十六條 他人ノ登録商標ナルコトヲ知り其ノ承  
諾ヲ經スシテ之ト同一又ハ類似ノ商標ヲ製造シ  
之ヲ交附若ハ販賣シタル者又ハ他人ノ登録商標  
ト同一若ハ類似ノ商標ヲ同商品ニ使用シタル者  
又ハ情ヲ知リテ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲

メ所藏シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮又  
ハ貳拾圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

他人ノ登録商標ヲ有スル容器、包裝等ナルコト  
ヲ知り之ヲ同商品ニ使用シタル者又ハ情ヲ知リ  
テ其ノ商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者  
又ハ他人ノ登録商標ト同一若ハ類似ノ商標ヲ其  
ノ商品販賣ノ廣告、看板引札等ニ使用シタル者  
ハ罰前項ニ同ジ

第十七條 詐偽ノ所爲ヲ以テ商標ノ登録ヲ受ケタ  
ル者又ハ登録ヲ受ケタル商標ニ登録商標記ヲ附シ  
若ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ爲シタル者又ハ情ヲ知  
リテ其商品ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所藏シタル者  
ハ十五日以上一年以下ノ重禁錮又ハ拾圓以上參  
百圓以下ノ罰金ニ處ス登録ヲ受ケスシテ登録標  
記又ハ之ニ紛ハシキ表示ヲ附シタル商標ヲ其ノ  
商品販賣ノ廣告、看板、引札等ニ使用シタル者ハ  
罰前項ニ同ジ

第十八條 第十六條及第十七條ノ場合ニ於テハ商  
標及商標ヲ表示スヘキ器具ヲ沒收ス其ノ商標ト  
分離スヘカラサル商品、容器、包裝等ハ之ヲ毀壞

セシム

第十九條 第十六條ノ犯罪ハ被害者ノ告訴ヲ待テ  
其ノ罪ヲ論ス

第二十條 特許法第六條乃至第十條第十二條第十  
三條第十五條第二十一條第二十三條第二十八條  
乃至第三十七條第四十三條及第五十一條ノ規定  
ハ商標ニ關シテ之ヲ準用ス

第二十一條 主務官廳ニ於テ認可シタル同業者の  
組合ニシテ標章ヲ商標トシテ專用セントスルト  
キハ此ノ法律ニ依リ登録ヲ受ケタルコトヲ得  
前項ニ依リ登録ヲ受ケタル標章ハ登録商標ニ準  
ス

附 則

第二十二條 此ノ法律ハ明治三十二年七月一日ヨ  
リ之ヲ施行ス

第二十三條 明治二十一年勅令第八十六號商標條  
例ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

商標條例ニ依テ受ケタル商標ハ此ノ法律ニ依テ  
受ケタル商標ト同一ノ効アルモノトス

商標ニ關スル出願又ハ請求ニシテ此ノ法律施行

ノ日マテニ處分ヲ終ラサルモノハ此ノ法律ニ依  
リタル出願又ハ請求ト看做シ處分スベシ

第二十四條 明治二十一年勅令第八十六號商標條  
例第二條第三號ニ該當シ又ハ同第八條ニ違ヒ登  
録ヲ受ケタル商標ニシテ同第十條ニ依リ無効タ  
ルヘキモノニ對シテハ此ノ法律施行後二年ヲ經  
過スルトキハ其登録無効ノ審判ヲ請求スルコト  
ヲ得ス

○ 度量衡法摘要 (明治三十四年三月 法律第三號)

(一) 度量ハ尺、量ハ貫ヲ以テ基本トス

(二) 度量衡ノ原器ハ白金、コイタヂウム、合金製ノ  
棒及分銅トス其ノ棒ノ面ニ記シリル標線間ノ攝  
氏〇、一五度ニ於ケル長サ三十三分ノ十ヲ尺ト  
シ分銅ノ質量四分ノ十五ヲ貫トス

(三) 度量衡ノ名稱命位ヲ定ムル左ノ如シ

毛、尺ノ萬分ノ一厘、尺ノ千分ノ一分、尺ノ百分ノ一  
寸、尺ノ十分ノ一尺、 丈、十尺

間、六尺、町、三百六十尺(六十間)、里、一萬二千九百六十尺  
(三十六町)



**地積**

勺、歩ノ百分ノ一合、歩ノ十分ノ一歩、或ハ坪六尺平方  
畝、三十歩  
町、三千歩  
量  
勺、升ノ百分ノ一合、升ノ十分ノ一升、六萬四千八百  
斗、十升  
石、百升  
衡  
毛、貫ノ百分ノ一厘、貫ノ十分ノ一分、貫ノ百分ノ一  
匁、貫ノ千分ノ一貫、斤、百六十匁  
(四)從來慣用ノ鯨尺ハ布帛ヲ度ルトキニ限リ用ウ  
ルヲ得鯨尺一尺ハ一尺二寸五分トシ其ノ十倍ヲ  
鯨尺一丈、十分ノ一ヲ鯨尺一寸、百分ノ一ヲ鯨尺  
一分トス  
(五)メートル法度量衡ハ左ノ比較ニ依リ適法ノモ  
ノトス

|   |          |          |
|---|----------|----------|
| 度 | メートル     | 0.3048   |
| 毛 | メトリットル   | 0.001135 |
| 厘 | センチメートル  | 0.01135  |
| 分 | デシメトリットル | 0.01135  |
| 寸 | メトリットル   | 0.01135  |

**尺** 0.0254  
**寸** 0.0254  
**間** 0.0254  
**町** 0.0254  
**里** 0.0254  
**地積**  
勺 [0.0001135] センチアール  
合 [0.001135] アール  
歩 [0.01135] ハクタール  
畝 [0.0254] ハクタール  
段 [0.0254] ハクタール  
町 [0.0254] ハクタール  
**量**  
勺 [0.0001135] センチグラム  
合 [0.001135] グラム  
升 [0.01135] デカグラム  
斗 [0.0254] ヘクトグラム  
石 [0.0254] キログラム  
**衡**  
毛 [0.0001135] ミリグラム  
厘 [0.001135] センチグラム  
分 [0.01135] デシグラム  
寸 [0.01135] メトリットル

厘 0.01135 「センチグラム」  
分 0.01135 「アシクラム」  
匁 0.01135 「グラム」  
貫 0.01135 「デカグラム」  
斤 0.01135 「ヘクトグラム」

(六)度量衡器ヲ製作シ修繕シ若ハ販賣セント欲ス  
ル者ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ出願免許  
ヲ受クベシ

**○戸籍法摘要**

戸籍及ヒ身分登記ニ關スル事務ハ市町村役場又ハ  
區役所ニ於テ取扱ヒ、市町村長之ヲ掌リ、區ヲ置  
キタル市ニ於テハ區長之ヲ掌リ、此等ノ吏員ヲ戶  
籍吏トナス(第一條、第二條)

●身分ニ關スル届出

届出ハ其届出人ノ本籍地戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ  
要ス、其届出人ガ本籍地外ニ在ル場合ニ於テハ其  
所在地ノ戸籍吏ニ届出ヲ爲スコトヲ得(第四十二  
條第一項)届出人ガ本籍ヲ有セザルトキハ其届出

ニ關シテハ所在地ヲ以テ本籍地ト看做ス(第四十  
二條第二項)届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要  
ス、但正常ノ事由アルトキハ戸籍吏ニ其理由ヲ陳  
述シ口頭ニテ届出ヲ爲スコトヲ得(第四十三條)届  
書ニハ(一)届出事件(二)届出ノ年月日(三)届出人  
ノ族稱等ヲ記載シ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス  
(第四十四條)届出人ト届出事件ノ本人ト異ナル  
トキハ届書ニ其間ノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス  
(第四十五條)届出人ガ家族ナルトキハ届書ニ戶  
主ノ氏名及届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スルコト  
ヲ要ス(同條一項)届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者  
又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人  
ヲ以テ届出義務者トス(第四十六條)前項ノ場合  
ニ於テハ届出人ハ届書ニ(一)届出ヲ爲スヘキ者ノ  
氏名、族稱、出生ノ年月日及ビ本籍地(二)無能力  
ノ原因(三)届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人タル  
コト等ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス(第四十六條第  
二項)前條ノ規定ハ無能力者カ其法定代理人ノ同  
意ヲ得スシテ爲スコトヲ得キ行爲ノ届出ニハ適  
用セス(禁治産者カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書



ニ届出人カ届出事件ノ性質及効果ヲ理會スルニ足ルヘキ能力ヲ有スル者ナルコトヲ證スヘキ醫師ノ診斷書ヲ添フルヲ要ス(第四十七條)。證人ヲ要スル事件ノ届出ニ付テハ證人ハ届出ニ其證人タルコト、出生ノ年月日、職業及本籍地ヲ記載シテ署名捺印スルコトヲ要ス(第四十八條)。届出人、届出事件ノ本人又ハ届出ノ證人カ本籍地外ニ在ルトキハ届書ニ其所在地ヲ記載スルコトヲ要ス(第四十九條)。届出人カ疾病其他ノ事故ニ因リ自ラ戸籍吏ノ面前ニ出頭スルコト能ハサルトキハ代理人ヲ差出スコトヲ得(第五十八條)。

●出生

子ノ出生アリタルトキハ十日内ニ下ノ諸件ヲ具シテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス。(一)子ノ名及男女ノ別(二)子カ私生子ナルトキ又ハ出生前ニ認知セラレタル爲メ庶子ト爲リタル者ナルトキハ其旨(三)出生ノ年月日時及場所(四)父母ノ氏名、族稱、職業及本籍地但私生子ノ届出ニ付テハ母ノ氏名、族稱、職業及本籍地ノミヲ記載スルコトヲ要ス(五)生子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名、族稱、職業及本籍地(六)出生子カ一家ヲ創立スル者ナルトキハ其旨及創立ノ原因(七)國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨(第六十八條)。嫡出子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス。庶子出生ノ届出ハ出生地又ハ父母ノ籍籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス。但庶子カ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル場合ハ此限ニ在ラズ。私生子又ハ父ノ家ニ入ルコトヲ得サル庶子ノ出生ノ届出ハ出生地又ハ母ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス(第六十九條)。嫡出子出生ノ届出ハ父ヨリ之ヲ爲シ其届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ在テハ母ヨリ之ヲ爲スコトヲ要ス庶子出生ノ届出ハ父ヨリ、私生子ノ届出ハ母ヨリ之ヲ爲スコト能ハサル場合(第七十一條)。前項ノ場合ニ在テ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ(一)戸主(二)同居者(三)分娩ニ立會セタル醫師又ハ産婆(四)分娩ヲ介抱シタル者等其順序ニ從ヒ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ(第七十二條第二項)棄兒ヲ發見シタル者ハ二十四時内ニ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ツルコトヲ要ス(第七十五條)。

●私生子認知

私生子認知ノ届書ニハ(一)子ノ名及男女ノ別(二)出生ノ年月日(三)死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日(四)父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ氏名、職業、及本籍地等ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス(第八十條)。以上四號ノ場合ニ於テ母カ家族ナルトキハ其戸主ノ氏名、職業、本籍地及其戸主ト母トノ續柄ヲ記載スルコトヲ要ス(同條第二項)。遺言ニ依リテ認知ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者ハ遺言カ効力ヲ生シタル日ヨリ十日内ニ其認知ニ關スル遺言ノ謄本ヲ添へ第八十條其他ノ規定ニ從ヒテ之ヲ届出ツルコトヲ要ス(第八十三條)。胎内ニテ認知セラレタル子カ死體ニテ分娩シタルトキハ出生届出義務者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ認知ノ登記ノ取消ヲ申請スルコトヲ要ス。

●養子縁組

縁組ノ届書ニハ(一)當事者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及本籍地(二)養子及實父母ノ氏名、職業ノ本籍地(三)當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職

業及本籍地等ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス。養子カ婚家又ハ養家ヨリ更ニ縁組ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前ニ掲ケタル事項ノ外婚家ノ戸主又ハ前養親ノ氏名、職業及本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス(第八十五條)。養子ト爲ルヘキ者十五年未滿ナル場合ニ於テ其家ニ在ル父母其縁組ノ承諾ヲ爲シタルトキハ養子ニ代リテ縁組ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス(民法第八百四十三條戶籍法第八十六條)。縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス。

●養子離縁

離縁ノ届書ニハ(一)當事者ノ氏名、職業及本籍地(二)養子ノ實父母ノ氏名、職業及本籍地(三)當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及本籍地(四)離縁ノ年月日(五)離縁カ協議又ハ裁判ニ因ルコト(六)養子ノ妻カ養子ト共ニ養家ヲ去ルトキハ其旨及妻ノ名(七)養子カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名職業及本籍地(八)養子カ復籍スヘキ家ナルトキハ其事由等ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十五條)。養子カ十五年未滿ナルトキニ在テ離縁ヲ爲



ス場合ハ養親及ヒ養子ニ代リテ協議ヲ爲シタル者ヨリ届出ヲ爲スコトヲ要ス(第九十六條)。養親カ死亡シタル後離縁ヲ爲ス場合ニ於テハ養子ヨリ届出ヲ爲スヲ以テ足ル(第九十七條)。民法第八百六十二條)。滿二十五年ニ達セサル者カ協議ノ上離縁ヲ爲スニハ戸主、父母、後見人又ハ親族會同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ届出人ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ其旨ヲ附記シ連署セシムルコトヲ要ス(第九十八條)。離縁ノ裁判カ確定シタルトキハ確定ノ日ヨリ十日内ニ訴訟提起者ヨリ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヲ爲スコトヲ要ス(第九十九條)。

●婚姻  
婚姻ノ届書ニハ(一)當時者ノ氏名、出生ノ年月日及本籍地(二)父母ノ氏名、職業及本籍地(三)當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及本籍地(四)入夫婚姻又ハ婿養子縁組ナル時ハ其旨(五)入夫婚姻ノ場合ニ於テ入夫ノ戸主ト爲ラサルトキハ其旨(六)婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得スル庶子アルトキハ其名及出生ノ年月日等ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス。當事者ノ一方カ婚家又ハ養家

ヨリ更ニ婚姻ニ因リテ他家ニ入ル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外前婚家ノ戸主又ハ養親ノ氏名職業及本籍地ヲ記載スルコトヲ要ス(第一百二條)。婚姻ノ届出ハ夫ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但入夫婚姻及婿養子縁組ナルトキハ妻ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ届出ヲ爲スヘシ(第一百四條)。

●離婚  
離婚ノ届書ニハ(一)當事者ノ氏名、職業及本籍地(二)父母ノ氏名、職業及本籍地(三)當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、職業及本籍地(四)婚姻ノ年月日(五)離婚カ協議又ハ裁判ニ因ル(六)當事者カ復籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名、職業及本籍地(七)當事者カ復籍スヘキ家ナルトキハ其事由等ノ諸件ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十九條)。滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離婚ヲ爲ス場合ニ於テハ届出人ハ父母、後見人又ハ親族會ノ同意ノ證書ヲ添ヘ又ハ同意ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ連署セシムルヲ要ス。後見

後見ノ開始アリタルトキハ後見人ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ届出ツルヲ要ス(第一百十四條)。後見人ノ更迭アリタルトキハ後任者ハ其就職ノ日ヨリ十日内ニ届出ツルコトヲ要ス(第一百五條)。後見人ノ任務カ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ後見監督人ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス(第一百七條)。此ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ所在地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スヘシ(第一百十八條)。

●隱居  
隱居ノ届書ニハ(一)隱居者ノ氏名、族稱、出生ノ年月日、職業及本籍地(二)家督相續人ノ名、出生ノ年月日、職業及家督相續人ト隱居者トノ續柄(三)隱居原因等ヲ記載スルヲ要ス(第一百十九條)。届出人ハ届書ニ家督相續人ノ承認ノ證書ヲ添ヘ又ハ承認ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其旨ヲ附記シ連署セシムルヲ要ス(第二十條)。

●失踪  
失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ其宣告請求者ハ(一)失踪者ノ氏名、出生ノ年月日、職業及本籍地(二)失踪ノ宣告アリタル年月

日(三)失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及戸主ト失踪者トノ續柄等ノ諸件ヲ具シ此レニ裁判所ノ謄本ヲ添ヘテ届出ツルコトヲ要ス(第一百二十三條)。

●死亡  
死亡者アリタルトキハ届出義務者ハ其死亡ヲ知リタル日ヨリ五日内ニ醫師ノ診斷書若クハ檢案書又ハ警察官ノ檢視調査ノ謄本ヲ添ヘ(一)死亡者ノ氏名、出生ノ年月日、男女ノ別及本籍地、(二)死亡ノ年月日時及場所(三)死亡カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名、族稱及戸主ト死亡者トノ續柄等ノ諸件ヲ具シテ届出ヲ爲スコトヲ要ス(第二十五條)。死亡ノ届出ヲ爲ス義務ヲ負フ者ハ第一戸主、第二同居者、第二家地主又ハ土地家屋ノ管理人ナリトス、(第二十六條)。死亡ノ届出ハ死亡地又ハ死亡者ノ本籍地若クハ寄留地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス(第二十七條)。

●家督相續  
家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタリ者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ一箇月内ニ(一)家督相續ノ原因及戸



主ト爲リタル年月日(二)前戸主ノ氏名及家督相續人トノ續柄等ノ諸件ヲ具シ被相續人ノ本籍地ノ戸籍吏ニ届出ヅルコトヲ要ス(第三百三十三條)。

●氏名及族籍ノ變更

氏ヲ復舊シ又ハ名ヲ改稱シタル者ハ十日内ニ(一)復舊又ハ改稱前ノ氏名(二)復舊シタル氏又ハ改稱シタル名(三)復舊又ハ改稱ノ原因及許可ノ年月日等ノ諸件ヲ具シ管理官廳ノ許可書ノ謄本ヲ添ヘテ届出ヅルコトヲ要ス(第六十四條)

●戸籍ニ關スル届出

戸籍吏ノ管轄地外ニ本籍ヲ轉セント欲スルトキハ戸主ヨリ(一)轉籍者ノ氏名、出生ノ年月日及職業(二)原籍地及轉籍地等ノ諸件ヲ具シ戸籍ノ謄本ヲ添ヘテ轉籍地ノ戸籍吏ニ届出ヅルコトヲ要ス。以上ノ届書ハ正副二簿ヲ作ルモノナリ(第九十五條)。戸籍吏ノ管轄地内ニ於テ本籍ヲ變更セント欲スルトキハ戸主ヨリ原籍地及新本籍地ヲ具シテ其旨ヲ戸籍吏ニ届出ヅルコトヲ要ス(第九十七條)。就籍ノ届出ハ許可ノ裁判ヲ確定シタル日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ就籍地ノ戸籍吏ニ之

ヲ爲スコトヲ要ス(第九十八條)。除籍ノ届出モ許可ノ確定裁判アリタル日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添ヘテ除籍スヘキ地ノ戸籍吏ニ之ヲ爲スコトヲ要ス(第九十九條)。就籍又ハ除籍スヘキ者カ家族ナルトキ又ハ戸主及家族ナル時ハ戸主ヨリ届出ツヘシ(第二百條)

●罰則

本法ノ規定ニ依リ期間内ニ爲スヘキ届出申請ヲ怠リタル者ハ貳拾圓以下ノ過料ニ處シ、若シ以上ノ件々ヲ爲サ、ルニ依リ戸籍吏ノ催告ヲ受ケタルモ尙之ヲ怠リタル時ハ貳拾圓以下ノ過料ニ處ス(第二百十條、第二百十一條)

○不動産登記法摘要 (明治三十二年法律第二十四號)

(一)登記ハ左ニ掲ケタル不動産ニ關スル權利ノ設定、保存、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付キ之ヲ爲ス  
一 所有權  
二 地上權  
三 永小作權  
四 地役權  
五 先取特權  
六 質權

七 抵當權

八 質借權 (第一條)

(一)假登記ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス  
一 登記ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セザルトキ

二 前條ニ掲ケタル權利ノ設定、移轉、變更、又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セントスルトキ  
右ノ請求權カ始期附又ハ停止條件附ナルトキ其他將來ニ於テ確定スヘキモノナルトキ亦同シ(第二條)

(二)豫告登記ハ登記原因ノ無効又ハ取消ニ因ル登記ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲ス但登記原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

(四)登記スヘキ權利ノ目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其出張所以テ管轄登記所トス  
不動産カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カルトキハ其各登記所ヲ併セテ管轄スル直接上級ノ裁判所ニ於テ申請ニ因リ管轄登記所ヲ指定ス(第八條)

(五)登記簿ハ土地登記簿及ヒ建物登記簿ノ二種トス  
各種ノ登記簿ハ市ニ付テハ從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲シ町村ニ付テハ町村毎ニ別冊ト爲ス但登記事件夥多ナル町村ニ付テハ大字其他從前ノ區畫ニ從ヒ別冊ト爲スコトヲ得(第十四條)

(六)登記ハ法律ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外當事者ノ申請又ハ官廳若クハ公署ノ囑託アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス  
囑託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス(第二十五條)

(七)登記ハ登記權利者及ヒ登記義務者又ハ其代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ申請スルコトヲ要ス(第二十六條)

(八)判決又ハ相續ニ因ル登記ハ登記權利者ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得(第二十七條)  
(九)登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ハ登記名義人ノミニテ之ヲ申請スルコトヲ得(第二十八條)  
(十)假登記ハ次條ノ場合ヲ除ク外假登記權利者ノ



申請ニ因リ其目的タル不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滞ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス  
 前項ノ假處分命令ハ假登記權利者カ假登記原因ヲ説明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スルコトヲ要ス

申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ニ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス(第二十二條)

(十一)假登記ハ假登記義務者ノ承諾アルトキハ申請書ニ其承諾書ヲ添附シテ假登記權利者ヨリ之ヲ登記所ニ申請スルコトヲ得(第二十三條)

(十二)豫告登記ハ第三條ニ掲ケタル訴ヲ受理シタル裁判所ヨリ職權ヲ以テ遲滞ナク囑託書ニ訴狀ノ原本又ハ抄本ヲ添附シテ之ヲ登記所ニ囑託スルコトヲ要ス(第二十四條)

(十三)登記ヲ申請スルニハ左ノ書面ヲ提出スルコトヲ要ス  
 一 申請書

- 二 登記原因ヲ證スル書面
- 三 登記義務者ノ權利ニ關スル登記簿
- 四 登記原因ニ付キ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ要スルトキハ之ヲ證スル書面
- 五 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其權限ヲ證スル書面

登記原因ヲ證スル書面カ執行力アル判決ナルトキハ前項第三號及ヒ第四號ニ掲ケタル書面ヲ提出スルコトヲ要セス(第二十五條)

(十四)申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之署名、捺印スルコトヲ要ス

- 一 不動産所在ノ郡、市、區、町村、字及ヒ土地ノ番號
- 二 地目及ヒ段別又ハ坪數
- 三 申請人ノ氏名、住所若シ申請人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ事務所
- 四 代理人ニ依リテ登記ヲ申請スルトキハ其氏名住所
- 五 登記原因及ヒ其日附
- 六 登記ノ目的

七 登記所ノ表示  
 八 年月日(第三十六條)

(十五)登記スヘキ權利ノ目的カ建物ナル場合ニ於テハ申請書ニ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載シ若シ建物ノ番號アルトキハ其番號ヲ記載シ附屬建物アルトキハ其種類、構造及ヒ建坪ヲ記載スルコトヲ要ス(第二十七條)

(十六)登記原因ニ買戻ノ特約其他登記ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其事項ヲ記載スルコトヲ要ス(第二十八條)

(十七)登記權利者カ多數ナル場合ニ於テ登記原因ニ其持分ノ定アルトキハ申請書ニ其持分ヲ記載スルコトヲ要ス(第二十九條)

(十八)登記原因ヲ證スル書面カ初ヨリ存在セス又ハ之ヲ提出スルコト能ハサルトキハ申請書ノ副本ヲ提出スルコトヲ要ス(第四十條)

(十九)登記原因カ相續ナルトキハ申請書ニ相續ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スルコトヲ要ス(第四十一條)

(二十)申請人カ登記權利者又ハ登記義務者ノ相續

人ナルトキハ申請書ニ其身分ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス(第四十二條)

(二十一)登記名義人ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其表示ノ變更ヲ證スル戸籍吏ノ書面又ハ之ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス(第四十三條)

(二十二)登記義務者ノ權利ニ關スル登記簿カ滅失シタルトキハ申請書ニ其登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル成年者二人以上カ登記義務者ノ人違ナキコトヲ保證シタル書面ニ通テ添付スルコトヲ要ス(第四十四條)

(二十三)所有權ノ一部移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其部分ノ表示ヲ爲シ若シ登記原因ニ民法第二百五十六條第一項但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス(第七十八條)

(二十四)土地ノ分合、滅失、段別若クハ坪數ノ増減又ハ地目、字若クハ番號ノ變更アリタルトキハ其土地ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク其登記ヲ申請スルニトヲ要ス(第七十九條)



(二十五)前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地ノ分合、滅失若クハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ又ハ新地目、新字若クハ新番號ヲ記載スルコトヲ要ス(第八十條)

(二十六)建物ノ分合、其番號若クハ構造ノ變更、其滅失、其建坪ノ増減又ハ附屬建物ノ新築アリタルトキハ其建物ノ所有權ノ登記名義人ハ遲滞ナク登記ヲ申請スルコトヲ要ス

建物ノ敷地ノ地目、字若クハ番號又ハ段別若クハ坪數ノ變更アリタルトキ亦同シ(第九十一條)

(二十七)前條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ノ分合シタル建坪、新番號若クハ新構造又ハ滅失、増減若クハ新築シタル建坪並ニ現在ノ建坪ヲ記載シ又ハ敷地ノ新地目新字若クハ新番號又ハ増減シタル段別若クハ坪數並ニ現在ノ段別若クハ坪數ヲ記載シ且建物ノ分合、構造ノ變更又ハ建坪ノ増減ヲ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ其圖面ヲ添附スルコトヲ要ス(第九十二條)

(二十八)未登記ノ土地所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 土地臺帳原本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者
- 二 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者(第五條)
- 三 判決ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
- 四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者(第六條)

(二十九)未登記ノ建物所有權ノ登記ハ左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得

- 一 建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿ニ登記セラレタル者
- 二 土地臺帳原本ニ依リ自己又ハ被相續人カ土地臺帳ニ敷地ノ所有者トシテ登錄セラレタルコトヲ證スル者
- 三 既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者
- 四 判決其他官廳又ハ公署ノ書面ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者(第六條)

(三十)地上權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ地上權設定ノ目的及ヒ範圍

ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、地代又ハ其支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十一條)

(三十一)永小作權ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ小作料ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間、小作料ノ支拂時期其他永小作人ノ權利若クハ義務ニ關スル特約又ハ民法第二百七十二條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十二條)

(三十二)地役權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ要役地ノ表示ヲ爲シ地役權設定ノ目的及ヒ範圍ヲ記載シ若シ登記原因ニ民法第二百八十一條第一項但書、第二百八十五條第一項但書又ハ第二百八十六條ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十三條)

(三十三)先取特權ノ保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス但不動産工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其工事費用ノ豫算額ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十五條)

(三十四)質權ノ設定又ハ轉質ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ存續期間若クハ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、違約金若クハ賠償額ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ、民法第三百四十六條但書ノ定アルトキ、第三百五十六條若クハ第三百五十七條ノ規定ニ異ナリタル定アルトキ又ハ第三百七十條但書ノ定アルトキハ之ヲ記載スルコトヲ要ス(第九十六條)

(三十五)抵當權ノ設定ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ若シ登記原因ニ辨濟期ノ定アルトキ、利息ニ關スル定アルトキ、其發生期若クハ支拂時期ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ民法第三百七十條但書ノ定アルトキハ記載スルコトヲ要ス(第九十七條)

(三十六)登記官吏ノ決定又ハ處分ヲ不當トスル者ハ管轄裁判所ニ抗告ヲ爲スコトヲ得(第九十五條)



(三十七) 抗告ハ執行ヲ停止スル効力ヲ有セス  
抗告裁判所ハ抗告ニ付キ決定ヲ爲ス前登記官吏  
ニ假登記ヲ命スルコトヲ得(第五百五十四條)

○ 所得稅法摘要 (明治三十二年二月  
法律第十七號) (同三十四年四月法律  
第十七號ヲ以テ改正)

(一) 帝國內此ノ法律施行地ニ住所ヲ有シ又ハ一箇  
年以上居所ヲ有スル者ハ此ノ法律ニ依リ所得稅  
ヲ納ムル義務アルモノトス(第一條)

(二) 前條ニ該當セサル者此ノ法律施行地ニ資產營  
業又ハ職業ヲ有シ若ハ公債社債ノ利子支拂ヲ受  
クルトキハ其ノ所得ニ付テノミ所得稅ヲ納ムル  
義務アルモノトス(第二條)

(三) 所得稅ハ左ノ稅率ニ依リ之ヲ賦課ス

- 第一種 法人ノ所得 千分ノ二十五
- 第二種 此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲナス公債  
社債ノ利子 千分ノ二十
- 第三種 前各種ニ屬セサル所得 千分ノ五十五  
十萬圓以上 千分ノ五十五  
五萬圓以上 千分ノ五十

- 三萬圓以上 千分ノ四十五
  - 二萬圓以上 千分ノ四十
  - 一萬五千圓以上 千分ノ三十五
  - 一萬圓以上 千分ノ三十
  - 五千圓以上 千分ノ二十五
  - 三千圓以上 千分ノ二十
  - 二千圓以上 千分ノ十七
  - 千圓以上 千分ノ十五
  - 五百圓以上 千分ノ十二
  - 三百圓以上 千分ノ十
- (四) 所得ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ算定ス
- 一 第一種ノ所得ハ各事業年度總益金ヨリ同年  
度總損金、前年度繰越金及保險責任準備金  
ヲ控除シタルモノニ依ル但シ第二條ニ該當  
スル法人ノ所得ハ此法律施行地ニ於ケル資  
産又ハ營業ヨリ生スル各事業年度ノ益金ヨ

リ同年度損金ヲ控除シタルモノニ依ル  
二 第二種ノ所得ハ其支拂ヲ受クヘキ金額ニ依  
ル

三 第三種ノ所得ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費  
ヲ控除シタル豫算年額ニ依ル但シ此ノ法律  
施行地ニ於テ支拂ヲ受ケサル公債社債ノ利  
子、營業ニ非サル貸金、預金ノ利子、此ノ法

律ニ依リ所得稅ヲ課セラレサル法人ヨリ受  
ケタル配當金、俸給、給料、手當金、歳費、年  
金、恩給金ハ其收入額ノ豫算年額ニ依リ山  
林ノ所得ハ前年ノ所得ニ依ル田畑ノ所得ハ  
前三箇年間所得平均高ヲ以テ算出スヘシ

前項第一號ノ場合ニ於テ益金中此ノ法律ニ依リ  
所得稅ヲ課セラレタル法人ヨリ受ケタル配當金  
及此ノ法律施行地ニ於テ支拂ヲ受ケタル公債社  
債ノ利子アルトキハ之ヲ控除ス(第四條)

- (五) 左ニ掲クル所得ニハ所得稅ヲ課セス
  - 一 軍人從軍中ニ係ル俸給
  - 二 扶助料及傷痍疾病者ノ恩給
  - 三 旅費學資金及法定扶養料

四 營利ヲ目的トセサル法人ノ所得  
五 營利ノ事業ニ屬セサル一時ノ所得  
六 外國又ハ此ノ法律ヲ施行セサル地ニ於ケル  
資產營業又ハ職業ニ依ル所得但シ此ノ法律  
施行地ニ本店ヲ有スル法人ノ所得ヲ除ク

七 此ノ法律ニ依リ所得稅ヲ課セラレタル法人  
ヨリ受ケタル配當金及割賦賞與金(第五條)

(六) 第三種ノ所得ハ三百圓ニ滿タサルキハ所得稅  
ヲ課セス但シ第三條第二項ノ場合ニ於テ其合算  
額三百圓ニ滿ツルトキハ此ノ限ニ在ラス(第六  
條)

(七) 納稅義務アル法人ハ各事業年度毎ニ損益計算  
書ヲ政府ニ提出スヘシ但シ第二條ニ該當スル法  
人ハ各事業年度毎ニ此ノ法律施行地ニ於ケル資  
産又ハ營業ニ關スル損益ヲ計算シ其計算書ヲ政  
府ニ提出スヘシ(第七條)

(八) 第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者ハ毎年四月  
中ニ所得ノ種類及金額ヲ詳記シ政府ニ申告スヘ  
シ(第八條)

(九) 第一種ノ所得金額ハ損益計算書ヲ調査シ政府



之ヲ決定シ第三種ノ所得金額ハ所得調査委員會ノ調査ニ依リ政府之ヲ決定ス(第九條)

(十) 政府ハ第一種及第三種ノ所得金額ヲ決定シタルトキハ之ヲ納稅義務者ニ通知スヘシ(第三十五條)

(十一) 納稅義務者政府ノ通知シタル所得金額ニ對シテ異議アルトキハ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ不服ノ事由ヲ具シ政府ニ申出テ審査ヲ求ムルコトヲ得(第三十六條)

(十二) 納稅義務者ハ第三十六條ノ審査ヲ求メタル場合ト雖モ通知ヲ受ケタル所得金額ニ依リ稅金ヲ納ムヘシ(第三十八條)

(十三) 所得金額ノ決定ニ對シ不服アル者ハ訴訟又ハ行政訴訟ヲ爲スコトヲ得(第三十九條)

(十四) 山林ノ所得ヲ除ク外第三種ノ所得ニ付納稅義務アル者所得金額四分ノ一以上ヲ減損シタルトキハ政府ニ申出テ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得但シ翌年一月三十一日ヲ過クルトキハ所得金額ノ更訂ヲ求ムルコトヲ得ス、所得金額決定後贈與ヲ爲シタル爲所得金額ヲ減損シタル

場合ニハ前項ヲ適用セス(第四十條)

(十五) 第一種ノ所得ニ付テハ各事業年度毎ニ所得稅ヲ徵收ス

第二種ノ所得ニ付テハ其ノ金額支拂ノ際支拂者其所得稅ヲ徵收シ其都度之ヲ政府ニ納ムヘシ

第三種ノ所得ニ付テハ所得稅ノ年額ヲ二分シ其ノ年九月及翌年三月之ヲ徵收ス但シ納稅者納稅管理人ヲ定メスシテ帝國外ニ住所若ハ居所ヲ移ストキハ其際直ニ其所得稅ヲ徵收スルコトヲ得(第四十二條)

(十六) 第四十條ノ請求アリタルトキハ政府ハ其確定ニ至ルマテ稅金ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得(第四十三條)

(十七) 第三種ノ所得ニ係ル所得稅ハ本人住所ノ地ヲ以テ納稅地トシ住所ナキトキハ居所ノ地ヲ以テ納稅地トス但シ納稅者ハ申告シテ住所又ハ居所以外ノ地ニ於テ所得稅ヲ納ムルコトヲ得此ノ法律施行地ニ住所又ハ居所ナキ者ハ納稅地ヲ定メ政府ニ申告スヘシ申告ナキトキハ政府其ノ納稅地ヲ指定ス(第四十四條)

(十八) 納稅義務者納稅地ニ現住セザルトキハ其ノ所得稅ニ關スル事項ヲ處理セシムル爲ニ納稅管理人ヲ定メ政府ニ申告スヘシ(第四十五條)

(十九) 所得金額ヲ隱蔽シテ通稅シタル者ハ其ノ通稅金高三倍ノ罰金ニ處ス但自首スル者ハ其稅金ヲ追徵シ其ノ罪ヲ問ハス(第四十六條)

○登録稅法摘要

(明治二十九年三月法律第二十七號 明治三十二年四月一ヨリ施行)

●不動産ノ登録稅

一 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ノ取得  
不動産價格 千分ノ七

二 第一號以外ノ家督相續又ハ遺產相續ニ因ル所有權ノ取得  
不動産價格 千分ノ十五

三 遺言、贈與其ノ他無償名義ニ因ル所有權ノ取得  
不動産價格 千分ノ四十

四 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ノ取得  
不動産價格 千分ノ廿五

五 從來保有セル所有權ノ保存  
不動産價格 千分ノ二

六 共有物ノ分割(分割ニ因リテ受クル不動産ノ價格)  
不動産價格 千分ノ五

七 永代ノ地上權ノ取得  
不動産價格 千分ノ廿五

八 地上權、永小作權ノ取得  
存續期間十年未滿  
不動産價格 千分ノ二

存續期間二十年未滿  
不動産價格 千分ノ三

存續期間三十年未滿  
不動産價格 千分ノ四

存續期間三十年以上  
不動産價格 千分ノ五

存續期間ノ定メナキモノ  
不動産價格 千分ノ五

但シ權利移轉ニ因ル場合ハ既ニ經過シタル期間ヲ存續期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ存續期間ト看做シ計算ス

九 賃借權ノ取得  
存續期間十年未滿



- 一 不動産価格 千分ノ一
- 二 存続期間十年以上 不動産価格 千分ノ二
- 三 存続期間ノ定メナキモノ 不動産価格 千分ノ一
- 四 但シ権利移轉ノ場合ニ於テハ既ニ経過シタル期間ヲ存続期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ以テ存続期間ト看做シ計算ス
- 五 地役權ノ取得 要役地價格 千分ノ一
- 六 華族世襲財産ノ創設 不動産價格 千分ノ二十
- 七 先取特權ノ保存又ハ取得 債權金額又ハ不動産工率費用總算金額 千分ノ六
- 八 但シ債權金額ナキトキ又ハ先取特權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ先取特權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 九 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ六
- 十 但シ債權金額ナキトキ又ハ質權、抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ質權、抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十一 競賣、強制管理ノ申立 債權金額 千分ノ六
- 十二 但シ競賣若ハ強制管理ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十三 假差押、假處分 債權金額 千分ノ四
- 十四 但シ假差押ト假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十五 抵當アル債權ノ差押 債權金額 千分ノ六
- 十六 但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ其ノモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス
- 十七 相續財産ノ分離 所有權ニ付テハ 不動産價格 千分ノ六

- 一 所有權以外ノ權利ニ付テハ 不動産價格 千分ノ一
- 二 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復 不動産每一箇 金貳拾錢
- 三 假登記 不動産每一箇 金貳拾錢
- 四 廣告登記 不動産每一箇 金貳拾錢
- 五 附記登記申立 不動産每一箇 金拾錢
- 六 但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス
- 七 存記ノ更正、變更又ハ抹消、附記、廣告等 不動産每一箇 金拾錢
- 八 但シ一件ニ付稅額金三十錢ヲ超ユルトキハ三十錢トス
- 九 船舶ノ登録稅 船舶價格 千分ノ三
- 十 法定ノ家督相續ニ因ル所有權ヲ取得 船舶價格 千分ノ三
- 十一 第一號以外ノ家督相續又ハ遺產相續ニ因ル所有權ヲ取得 船舶價格 千分ノ六
- 十二 遺贈贈與、其他無償名義ニ因ル所有權ヲ取得 船舶價格 千分ノ二十
- 十三 第一號乃至第三號以外ノ原因ニ因ル所有權ヲ取得 船舶價格 千分ノ十五
- 十四 繼承保有セル所有權ノ保存 船舶價格 千分ノ十
- 十五 質權ノ取得 船舶價格 千分ノ十
- 十六 存続期間十年未滿 船舶價格 千分ノ一
- 十七 存続期間十年以上 船舶價格 千分ノ一
- 十八 但シ權利移轉ニ因リ場合ニ於テハ既ニ経過シタル期間ヲ存続期間ヨリ控除シ其ノ殘期ヲ存続期間ト看做シ登録稅ヲ計算ス
- 十九 質權、抵當權ノ取得 債權金額 千分ノ六
- 二十 但シ債權金額ナキトキ又ハ質權、抵當權ノ目的タルモノノ價格カ債權金額ヨリ寡キトキハ質權、抵當權ノ目的タルモノノ價格ヲ以テ債權金額ト看做ス



- 八 競賣ノ申立 債権金額 千分ノ六  
但シ競賣ニ付スヘキモノノ價格カ債権金額ヨリ寡キトキハ其モノノ價格ヲ以テ債権金額ト看做ス
- 九 假差押、假處分 債権金額 千分ノ四  
但シ假差押假處分ニ付スヘキモノノ價格カ債権金額ヨリ寡キトキハ其モノノ價格ヲ債権金額ト看做ス
- 十 抵當アル債権ノ差押 債権金額 千分ノ六  
但シ差押ニ付スヘキモノノ價格カ債権金額ヨリ寡キトキハ其モノノ價格ヲ債権金額ト看做ス
- 十一 請求又ハ申立ニ因リ抹消セラレタル登記ノ回復 船舶每一箇 金貳拾錢
- 十二 假登記 船舶每一箇 金貳拾錢
- 十三 豫告登記 船舶每一箇 金貳拾錢
- 十四 附記登記 船舶每一箇 金拾錢  
但シ一件ニ付税額金參拾錢ヲ超ユルトキハ參拾錢トス

- 十五 登記ノ更正、變更又ハ抹消 船舶每一箇 金拾錢  
但シ一件ニ付税額金參拾錢ヲ超ユルトキハ參拾錢トス
- 船舶ノ登録税
  - 一 新規登録 每十噸 金五拾錢
  - 二 轉籍 每十噸 金拾錢
  - 三 除籍 每十噸 金五錢
  - 四 登録ノ變更 船舶每一箇 金拾錢
- 船舶ノ噸數ハ總噸數ニ依ル但シ十噸未滿ノ噸數ハ十噸トシテ計算ス
- 石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ハ積石數百石ヲ十噸トシテ計算ス
- 土地臺帳登録税
  - 一 新規登録 地 價 千分ノ二十
  - 二 地價ノ設定 地 價 千分ノ十
  - 三 地價ノ修正 地 價 千分ノ十
  - 四 開墾 地 價 千分ノ十
  - 五 鐵下年期付與 地 價 千分ノ十
  - 六 地價据置年期付與

- 七 鐵下年期ノ繼年期付與 地 價 千分ノ十
- 八 新開免租年期ノ繼年期付與 地 價 千分ノ十
- 九 低價年期ノ付與 地 價 千分ノ一
- 十 地租條例第二十二條ノ地價ノ修正 地 價 千分ノ一
- 十一 地租ノ復舊 地 價 千分ノ一  
前記ノ中地價未設定ノ土地ハ近傍類地地價ノ比準ニ依ル
- 商事會社其他營利ヲ目的トスル法人ノ登録税  
但シ第一、第三、第六、第九ノ場合ニ於テ税金額十圓未滿ナルトキハ十圓トス
- 一 合名會社、合資會社設立 財產ヲ目的トスル出資ノ價格 千分ノ三
- 二 合名會社、合資會社出資増加 財產ヲ目的トスル出資ノ價格 千分ノ三
- 三 株式會社設立 拂込株金額 千分ノ四
- 四 株式會社資本増加

- 五 株式會社第二回以後ノ株金拂込 増資拂込株金額 千分ノ四  
每回拂込株金額
- 六 株式合資會社設立 拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ四
- 七 株式合資會社資本増加 増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ四
- 八 株式合資會社第二回以後ノ株金拂込 每回拂込株金額 千分ノ四
- 九 合併又ハ組織變更ニ因ル會社ノ設立 拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一
- 十 合併ニ因ル會社資本ノ増加 増資拂込株金額及財產ヲ目的トスル株金以外ノ出資ノ價格 千分ノ一
- 十一 債權發行 債權總金額 千分ノ一
- 十二 支店設置 每一箇所 金拾圓
- 十三 本店又ハ支居ノ移轉 每一件 金五圓
- 十四 支配人ノ選任又ハ代理權ノ消滅 每一件 金五圓
- 十五 登記事項ノ變更、消滅又ハ廢止 每一件 金五圓







- 但シ演劇脚本及寫真ヲ除ク
- 一 新聞紙定期刊行物 每一號 金五拾錢
  - 一 演劇脚本 每一種一回 金五拾圓
  - 一 寫真 每一版 金五圓
  - 一 著作權ノ讓渡又ハ質入 每一件 金五圓
  - 一 無名又ハ變名著作物ノ著作者ノ實名登録 每一件 金五圓
- 特許ノ登録稅
- 一 讓渡又ハ共有 每一件 金拾圓
  - 二 質入 每一件 金五圓
- 意匠ノ登録稅
- 一 讓渡又ハ共有 物品一類毎ニ 金貳圓
  - 二 質入 物品一類毎ニ 金壹圓
- 商標ノ登録稅
- 一 讓渡又ハ共有 商品一類毎ニ 金拾圓
- 續業ノ官簿登録稅
- 一 試掘 金七拾五圓
  - 二 探掘 金百五拾圓

- 三 試掘増區及増減區ニ係ル訂正 金參拾圓
  - 四 探掘増區及増減區ニ係ル訂正 金七拾五圓
  - 五 買受、讓受 金七拾五圓
  - 六 探掘權書入又ハ試掘延期 金貳拾圓
  - 七 減區ニ係ル訂正 金五圓
  - 八 鑛區ノ合併又ハ分割 金拾五圓
  - 九 廢業 金五圓
- 國債ノ登録稅
- 一 新規登録 債權金額 千分ノ二
  - 二 登録變更 債權金額 千分ノ一
  - 三 登録除却 債權金額 千分ノ一
- 左ニ掲グルモノハ登録稅ヲ課セス
- 一 政府自己ノ登記
  - 二 公立ノ學校、病院及養育院ノ所用ニ係ル不動産ノ登記
  - 三 公園、社寺、堂宇ノ敷地、墳墓地ニ係ル登記
  - 四 明治六年第十八號布告地所質入書入規則、同八年第四百四十八號布告建物書入質入規則ニ從ヒテ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付テ債權者ヨリ申請スル登記

●登記所ニ於テ登記申請者ノ申告シタル課稅標準ノ價格ヲ不當ト認ムルトキハ二名ノ評價人ヲ撰定シ之ヲ評價セシム評價一致セサルトキハ其平均ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ評價申請價格ヨリ多キトキハ評價人ニ給スル旅費手當ハ登記申請者ノ負擔トス

官吏及當該事件ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ評價人トナルコトヲ得ス

○營業稅法摘要

(明治十九年三月法律第三十三號 明治三十年一月一日ヨリ實施)

●左ニ掲クル營業ヲ爲ス者ハ左ニ記スル課稅標準及稅率ニ依リ毎年之ヲ賦課ス

- 物品販賣業 (課稅標準) (稅率) 以下準之
- 賣上金額 大賣 八萬分ノ十五
  - 小賣 八萬分ノ十五
  - 建物質貸價格 千分ノ四十
- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 銀行業、保險業、金錢貸付業、物品貸付業
- 資本金額 千分ノ二
  - 建物質貸價格 千分ノ四十

- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 倉庫業 資本金額 千分ノ二
- 建物質貸價格 千分ノ二十
- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 製造業、印刷業、寫真業 資本金額 千分ノ一
- 建物質貸價格 千分ノ四十
- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 從業者ノ内職工勞役者 一人毎ニ 金參拾錢
- 運送業、運河業、棧橋業、船渠業、船舶碇繋場業 貨物陸揚場業 資本金額 千分ノ二半
- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 土木請負業、勞力請負業 請負金額 千分ノ二
- 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 席貸業、料理店業 從業者 一人毎ニ 金壹圓
- 建物質貸價格 千分ノ六十



●從業者 一人毎ニ 金壹圓  
 ○旅人宿業 一人毎ニ 金壹圓  
 ○建物賃賃價格 一人毎ニ 金壹圓  
 ○公子周旋業、代辨業、仲立業、仲買業、報償金額 有圓毎ニ 金壹圓  
 ○從業者 一人毎ニ 金壹圓  
 ●右諸營業中、課稅ヲ免ルルヘキ者  
 ○一年ノ賣上金額千圓未滿ノ販賣業  
 ○資本金額五百圓未滿ノ金錢、物品貸付業  
 ○資本金額五百圓未滿ノ者又ハ職工勞役者ヲ通シテ二人以上ヲ使用セサル製造業  
 ○使用雇人二人以下ノ運送業  
 ○職工雇人ヲ通シテ使用人二人以下ノ印刷業寫眞業  
 ○請負金額一箇年千圓未滿ノ土木、勞力請負業  
 ○建物賃賃價格五拾圓未滿ノ席貸業  
 ○木質宿及使用雇人三人以下ナル旅人宿業  
 ○客室ノ設備ナシ又ハ使用雇人三人以下ナル料理店業

●營業稅ヲ課セザル者  
 ○政府ヨリ發行スル印紙切手類ノ賣捌  
 ○自己ノ採掘又ハ採取シタル礦物ノ販賣  
 ○度量衡ノ製作、修葺、販賣  
 ●此ノ稅法ニヨリ納稅義務ヲ有スル營業者ハ毎年一月三十一日迄ニ業名及課稅標準ヲ詳記シ政府ニ届出ベシ但新ニ開業シタル者ハ其際届出ヲ爲スベシ、營業者廢業シタルトキハ其際届出ベシ  
 ●前項ニヨリ届出ヘキ課稅標準ハ左ノ區別ニ從ヒ計算ス、但新ニ開業シタル者ハ豫算ヲ以テ定ム  
 一 賣上金、請負金及報償金ハ前年中ノ總額ニヨル但前年中ニ開業ノモノハ豫算ニ依ル  
 二 資本金及建物賃賃價格ハ前年中ノ平均額ニ依ル  
 三 從業者ハ前年ニ於ケル最多數ノトキニ依ル  
 資本金額ノ算定方法ハ勅令ヲ以テ定ム  
 ●建物賃賃價格ハ店舗其ノ他營業用ノ土地、家屋ノ借料ニ相當スルモノトス、但住居ニ供スルモノ其他直接營業ニ使用セサルモノアルモ同一區域内ニテアリテ自己ノ所用ニ係ルモノハ營業用ニ

○印紙稅法

シテ計算ス借家ノ場合ニハ土地、建物ノ賃借上借主ヨリ貸主ニ支拂フモノヲ以テ建物賃賃價格ヲ計算ス、借家ニ非サル場合ニ於テハ近傍借家ノ借料ニ照準シ之ヲ定ム  
 ●營業稅ハ年額二分シ其ノ年五月、十一月ヲ以テ納期トス但廢業スルトキハ未納ノ稅金ハ即納トス、新規開業スル者ハ其翌年ヨリ徵收ス  
 左掲ノ營業ヲ開始スル者ハ翌年ヨリ尙三箇年間營業稅ヲ徵收セス、銀行業、保險業、倉庫業、製造業、印刷業、運送業、運河業、棧橋業、船渠業、船舶碇繋場業  
 ●同一ノ場所ニ於テ六箇月以内ニ前營業者ト同一ノ營業ヲ開始スル者ハ其ノ月ヨリ營業稅ヲ徵收ス  
 ●營業者廢業スルトキハ其ノ廢業ノ月迄營業稅ヲ徵收ス  
 ●各種ノ營業者ハ貨物ノ仕入、賣上、受入、貸付、廻送、從業者ノ人員及營業ニ關スル金錢ノ出納ヲ明ニスル爲メ帳簿ヲ備ヘ營業上一切ノ事實ヲ記載スベシ

第一條 財產權ノ創設、移轉、變更若ハ消滅ヲ證明スヘキ證書、帳簿及財產權ニ關スル追認若ハ承認ヲ證明スヘキ證書ヲ作成スル者ハ此ノ法律ニ依リ印紙稅ヲ納ムヘシ  
 第二條 證書ニ關シテハ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限り記載金額一萬分ノ五ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムヘシ但シ印紙稅額五拾圓トナルトキハ五拾圓ニ止メ壹錢未滿トナリ又ハ壹錢未滿ノ端數ヲ生スルトキハ壹錢ニ切上タルモノトス  
 金高記載ナキモ證書面ニ標記シアル價額ノ單位又ハ其ノ他ノ記載事項ニ依リ其ノ金高ヲ算出スルコトヲ得ルモノハ總金額ヲ以テ記載金高ト看做ス  
 第三條 爲替手形、約束手形ハ一通毎ニ其ノ記載金高五圓以上ノモノニ限り左ノ割合ヲ以テ印紙稅ヲ納ムベシ  
 金高貳千圓未滿 印紙稅 貳錢  
 金高貳千圓以上 印紙稅 拾錢  
 (明治三十四年四月二日法律第十六號ヲ以



テ本條削除セラル

第四條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ證書ハ一通毎ニ帳簿ハ一冊一年以内ノ附込ニ對シテ定ムル所ノ印紙税ヲ納ムヘシ

- 一委任狀 印紙税 壹錢
- 一爲替手形 印紙税 貳錢
- 一約束手形 印紙税 貳錢
- (爲替手形、約束手形ノ二號ハ明治三十四年四月二日法律第十六號ヲ以テ加ヘラル)
- 一銀行預金證書 印紙税 貳錢
- 一船荷證券 全
- 一運送貨物引替證 全
- 一倉荷預證券 全
- 一倉荷質入證券 全
- 一保險證券 全
- 一株券 全
- 一債券 全
- 一株式申込證 全
- 一地上權、永小作權、地役權ニ關スル證書 全

一使用貸借、貸貸借、雇傭、寄託、定期金ニ關スル契約證書 印紙税 貳錢

- 一一定款及組合契約書 全
  - 一權利ノ變更ニ關スル證書 全
  - 一追認承認ニ關スル證書 全
  - 一物品切手 全
  - 一賣買仕切書 全
  - 一送狀 全
  - 一受取書 全
  - 一金高記載ナキ證書 全
  - 一擔保品差入證券、擔保品預證券 全
  - 一通帳 全
  - 一判取帳 印紙税 貳拾錢
- 第五條 左ニ掲クル證書、帳簿ニ關シテハ印紙税ヲ納ムルコトヲ要セス
- 一官廳又ハ公署ヨリ發スル證書、帳簿
  - 一官廳又ハ公署ニ職ヲ奉スルモノ、職務上發

スル證書、帳簿

- 一國庫金ノ取扱ニ關シ發スル證書
  - 一慈善又ハ公共事業ノ爲メニスル金員物品ノ寄附ニ關シ人民ヨリ官廳又ハ公署ニ提出スル證書
  - 一俸給、給料、歳費、手當金、賞與金、年金、恩給金、扶助料、旅費及救恤金ノ受取書
  - 一小切手
  - 一金高五圓未満ノ爲替手形、約束手形
  - 一營業ニ關セサル受取書
  - 一金高五圓未満若ハ金高記載ナキ送狀、受取書又ハ賣買仕切書
  - 一主タル債務ノ證書ニ併記シタル擔保契約
  - 一證券ノ裏書及手形ノ裏面ニ記載シタル受取書
  - 一株券、債券ノ讓渡ヲ證明スヘキ裏面記載
  - 一手形引受、保證
  - 一手形及證券ノ拒絕證書
  - 一手形及證券ノ換本、磨本
- 第六條 印紙税ハ證書、帳簿ニ印紙ヲ貼用シテ納

ムルモノトス但シ「爲替手形、約束手形、船荷證券、運送貨物引換證、倉荷預證券、倉荷質入證券、保險證券、株券、債券ハ」印紙税額ニ相當スル現金ヲ政府ニ納附シテ税印ノ押捺ヲ受ケ印紙貼用ニ代フルコトヲ得

- (「爲替手形以下債券ハ」明治三十四年四月二日法律第十六號ヲ以テ削ラル)
- 第七條 一冊ノ帳簿ヲ一年以上使用スルトキハ別帳簿ヲ調製シタルモノト看做ス
- 第八條 證書ニ外國貨幣ヲ以テ員數ヲ記載シタルトキハ内國貨幣ニ換算シタル金高ニ相當スル印紙ヲ貼用スヘシ
- 第九條 印紙ヲ貼用スルトキハ證書又ハ帳簿ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニカケテ證書又ハ帳簿作成者ノ印章又ハ署名ヲ以テ判明ニ之ヲ消スヘシ
- 第十條 印紙ヲ貼用スヘキ帳簿、賣買仕切證、送狀ハ當該官吏之ヲ檢査スルコトアルヘシ
- 第十一條 證書、帳簿ニ相當印紙ヲ貼用セス又ハ第六條但書ニ依リ税印ノ押捺ヲ受ケサルモノハ脱税高二十倍ノ科料又ハ罰金ニ處ス



- 第十二條 第十條ノ検査ヲ拒ミタル者ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス
  - 第十三條 第九條ニ違背シタル者ハ壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス
  - 第十四條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法ノ不倫罪、減輕、再犯加重、數罪併發ノ例ヲ用キス
- 附 則
- 第十五條 此法律ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス
  - 第十六條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ハ此法律施行ノ日ヨリ廢止ス
  - 第十七條 明治十七年第十一號布告證券印稅規則ニ依ル手形用紙ニシテ此ノ法律施行ノ際自用者ノ所持ニ係ルモノハ此ノ法律施行後ニ於テモ仍之ヲ使用スルコトヲ得但シ手形用紙記載ノ税金高以上ニ之ヲ使用セムトスルトキハ其不足額ハ印紙ヲ貼用シテ之ヲ補足スヘシ

○民事訴訟用印紙法

民事訴訟ノ書類ニハ其正本ニ左ノ定メノ印紙ヲ貼

- 用スル事又裁判所ノ書記ニ口述シテ作ラシメタル調書ニモ同様印紙ヲ貼用スルコト
- 財產權上ニ關スル第一審訴狀ニハ左ノ區別ニ從ヒ貼用ノ事
- | (訴訟物ノ價額)            | (貼用印紙高) |
|---------------------|---------|
| 金五圓迄                | 金貳拾錢    |
| 金拾圓迄                | 金參拾錢    |
| 金貳拾圓迄               | 金六拾錢    |
| 金五拾圓迄               | 金壹圓五拾錢  |
| 金七拾五圓迄              | 金貳圓貳拾錢  |
| 金百圓迄                | 金參圓     |
| 金貳百五拾圓迄             | 金六圓五拾錢  |
| 金五百圓迄               | 金拾圓     |
| 金七百五拾圓迄             | 金拾參圓    |
| 金千圓迄                | 金拾五圓    |
| 金貳千五百圓迄             | 金貳拾圓    |
| 金五千圓迄               | 金貳拾五圓   |
| 五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ貳圓ヲ加フ |         |
- 財產權上ノ請求ニアラサル訴狀ニハ
- 訴訟物ノ價額百圓ト看做シ貼用印紙高金參圓

○民事訴訟費用法

民事訴訟法ニヨリ訴訟費用ハ左ノ規定ニ從ヒ算定ス

- 財產權上ノ請求ニアラサル訴訟ト其訴訟ニ由テ生スル財產權上ノ訴訟ト合フ時ハ其多キ一方ノ訴訟物ノ價額ニ依リ印紙貼用ノ事
  - 本訴ト反訴ト其目的同一ノ訴訟物ナル時ハ反訴ニ印紙ヲ要セス
  - 控訴ニハ前記規定ノ印紙ノ半額、上告ニハ其全額ヲ加貼スヘシ
  - 左ノ書類ニハ五拾錢ノ印紙ヲ貼用スヘシ
    - (第一) 抗告(第二) 故障(第三) 證據調ノ申立(第四) 仮差押仮處分ノ申請(第五) 判決ノ送達ヲ求ムル申立(第六) 執行力アル正本ヲ求ムル申立
  - 但シ正本ノ數通ヲ求ムルトキハ其一通毎ニ五拾錢ノ割合ヲ以テ印紙ヲ貼用ス可シ
  - 再審ヲ求ムル訴狀ニハ其訴ヲ爲スヘキ裁判所ノ審級ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用ス可シ
  - 原狀回復ノ申立ニハ其書面ヲ差出スヘキ裁判所ノ審級ニ依リ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ
  - 答辨書其他前掲以外ノ申立及申請ニハ貳拾錢ノ印紙ヲ貼用ス可シ
- (一) 訴訟其他總テノ書記料ハ  
半枚十二行二十字詰ニ付 金貳錢五厘  
(但シ半枚ニ滿サルモノモ同ジ) 圖面ハ一枚ニ付 金 拾 錢  
別ニ測量ヲ爲シタル時ハ其測量費ハ裁判所ノ見込ニ從フ事
  - (二) 翻譯料ハ  
半枚十二行二十字詰(半枚未滿モ同ジ) 金五拾錢
  - (三) 當事者ノ日當ハ出頭一度ニ付 金五拾錢  
但シ滞在費支給ノ場合ニハ此日當ヲ貳拾五錢トス
  - (四) 證人ノ日當ハ出頭一度ニ付 金五拾錢  
但シ滞在費支給ノ場合ニハ日當ハ給セサルモノトス
  - (五) 鑑定人及通事ノ日當ハ出頭一度ニ付 金五拾錢ヨリ金五圓迄



- (六) 當事者ノ滞在費ハ滿八里以外ノ地ヨリ來リタル時ハ 金貳拾五錢
- (七) 證人及通事ノ滞在費ハ一日 金五拾錢
- (八) 當事者、證人、鑑定人、通事ノ旅費ハ海陸一里毎ニ 金拾錢
- (九) 郵便、電信、運送料等ハ凡ヘテ其實費ニヨル事
- (一〇) 官報、公報並ニ新聞紙ヲ以テ公告セシ公告料ハ定價ニヨル事
- (一一) 民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ辯護士ノ附添ヲ命シタルトキハ其報酬ハ裁判所ノ意見ヲ以テ定ムル處ニヨル
- (一二) 判事及ヒ裁判所書記檢證ノ爲メ實地臨檢ヲ爲スニ就テノ旅費及ヒ滞在費ハ證人ニ準ス
- (一三) 本法ニ定メサル必要ノ費用ハ其實費ニヨル事
- (一四) 強制執行及ヒ非訟事件ニ關スル費用ハ執達吏ノ手数料規則ニ定メタルモノヲ除キ外前數條ノ定ニヨリ算定ス
- (一五) 強制執行又ハ非訟事件ニ關シテ保管人若クハ管理人ヲ任命シタル時ハ其費用ハ裁判所ノ意見

見ヲ以テ定ムル所ニ依ル  
 (一六) 外國ニ在ル當事者ノ旅費ハ裁判所ノ定ムル所ニヨル

○商事非訟事件印紙法

(明治二十三年八月)  
 法律第六十六號

- 第一條 商法中登記ニ關スル場合ヲ除ク外非訟事件ニ付裁判所ノ命令其他ノ處分ヲ求ムル者ハ以下數條ノ手續ニ從ヒ其差出ス書類ニ民事訴訟用印紙ヲ貼用ス可シ但シ口述ヲ以テスル場合ニ於テハ其調書ニ印紙ヲ貼用ス可シ第五條第六條第七條ノ場合ニ於テハ管財人ヨリ差出ス計算書ニ印紙ヲ貼用ス可シ
- 第二條 左ニ掲クルモノニ付テハ五十錢ノ印紙ヲ貼用ス可シ
  - 一 抗告又ハ假差押ノ申立
  - 二 債權者ヨリ爲ス破產宣告ノ申立
  - 三 支拂猶豫ノ申立
- 第三條 左ニ掲クルモノニ付テハ二十錢ノ印紙ヲ貼用ス可シ

- 一 抗告ニ對スル答辨
- 二 裁判所ノ命令其他ノ處分ノ申立ニシテ本法ニ於テ特ニ規定セサル非訟事件ニ係ルモノ
- 第四條 破產手續ニ付テハ破產財團中ノ貸方金額ニ應シ左ノ區別ニ從ヒ印紙ヲ貼用ス可シ但シ財團管理費用其他破產手續上ノ費用及ヒ財團ノ爲メニ負擔シタル財務並ニ削除ノ辨濟ニ供スル金額ハ貸方金額ヨリ之ヲ控除スヘキモノトス
  - 財團ノ價格五圓マデ 四十錢
  - 同十圓マデ 六十錢
  - 同二十圓マデ 一圓二十錢
  - 同五十圓マデ 三圓
  - 同七十五圓マデ 四圓四十錢
  - 同百圓マデ 六圓
  - 同二百五十圓マデ 十三圓
  - 同五百圓マデ 二十圓
  - 同七百五十圓マデ 二十六圓
  - 同千圓マデ 三十圓
  - 同二千五百圓マデ 四十圓
  - 同五千圓マデ 五十圓

- 同五千圓以上ハ千圓ニ達スル毎ニ四圓ヲ加フ
  - 第五條 破產手續ニ付テハ財團ノ配當アル毎ニ其配當金額ノ割合ヲ以テ印紙價額ニ相當スル金額ヲ引去リ置キ終局計算ニ至リ配當金總高ノ割合ニ從ヒ相當印紙ヲ貼用ス可シ
  - 第六條 協諾契約ニ依リ手續ヲ止メタルトキハ第四條ニ掲ケタル印紙ノ半額ヲ貼用ス可シ
  - 第七條 破產手續再施ノ場合ニ於テハ破產手續開始ニ於ケル場合ト同一ノ印紙ヲ貼用ス可シ
  - 第八條 本法ニ定ムル印紙代價ノ負擔ニ付テハ民事訴訟法第一篇第二章第五節ノ規定ヲ準用ス
- 民事訴訟用印紙法ハ本法ノ規定ニ牴觸セサルモノニ限リ之ヲ準用ス

○利息制限法

(明治十九年九月)  
 第六十六號布告

- 第一條 凡ソ金銀貸借上ノ利息ヲ分テ契約上ノ利息ト法律上ノ利息トス
- 第二條 契約上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ定メ得ヘキ所ノ利息ニシテ元金百圓以下ハ一箇年ニ付百分ノ二十(二割)百圓以上千圓以下百分



ノ十五(一割五分)千圓以上百分ノ十二(一割二分)以下トシ若シ此限ヲ超過スル分ハ裁判上無効ノモノトシ各其制限ニマテ引直サシムヘシ

第三條 法律上ノ利息トハ人民相互ノ契約ヲ以テ利息ノ高ヲ定メサル裁判所ヨリ言渡ス所ノ者ニシテ元金ノ多少ニ拘ラス百分ノ六(六分)トス

第四條 第二條ニ依リ定限利息ノ外總ヘテ人民相互ノ契約ヲ以テ禮金捧利等ノ名目ヲ用キル者アルトモ總テ裁判上無効ノモノトス

第五條 返還期限ヲ違フルトキハ負債主ヨリ債主ニ對シ若干ノ償金罰金違約金科料等ヲ差出スヘキコトヲ約定スルコトアルモ概シテ損害ノ補償ト看做シ裁判官ニ於テ該債主ノ事實受ケタル損害ノ補償ニ不當ナリト思量スルトキハ之ニ相當ノ減少ヲ爲スコトヲ得

○收入印紙ノ代用印紙ニ

關スル件 (明治三十一年七月勅令第四百四十四號)

證券印紙、煙草印紙、訴訟印紙、賣藥印紙、登記印紙ヲ貼用スヘキ場合ニハ自今一様ノ收入印紙ヲ用ウ

○狩獵法 (明治三十四年四月十二日法律第三十三號)

○日出前、日没後又ハ市街、人家稠密ノ場所、衆人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ處アル建物、船舶若ハ瀛車ニ向テ銃獵ヲ爲スコトヲ得ス (第三條)

ヘシ但シ從來使用ノ各種印紙ハ當分ノ内收入印紙ニ代へ使用スルコトヲ得

收入印紙ノ形式左ノ如シ (明治三十一年大藏省令第十二號)

|     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 一 厘 | 萌黃色   | 二 厘 | 橙黃色   |
| 三 厘 | 濃青色   | 五 厘 | 赭色    |
| 一 錢 | 淡青色   | 二 錢 | 綠色    |
| 五 錢 | 紫色    | 拾 錢 | 紅色    |
| 五拾錢 | 上摸樣綠色 |     | 地紋淡紅色 |
| 一 圓 | 上摸樣青色 |     | 地紋黃色  |
| 五 圓 | 上摸樣青色 |     | 地紋紅色  |
| 拾 圓 | 橙 黃色  |     |       |
| 五拾圓 | 青 色   |     |       |
| 百 圓 | 紫 色   |     |       |

金額ハ各相當額ヲ記ス

○一御獵場、二禁獵區、三公道、四公園、五社寺境内、六墓地ニ於テハ狩獵スルヲ得ズ (第四條)

○柵、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ所有地、他人ノ共同狩獵地ニ於テハ所有者、免許ヲ受ケタルモノ、承諾ヲ得ルニ非サレハ狩獵スルヲ得ス (第五條)

○狩獵ハ地方長官ニ願出テ免許ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スヲ得ズ (第八條)

○免許ヲ分ナテ甲乙ノ二種トス、甲種ハ銃器ヲ使用セスシテ狩獵ヲ爲ス者ニ下付シ乙種ハ銃器使用ノ狩獵者ニ下付スルモノトス (第十條)

○免許ヲ受クル者ハ甲乙各種ニ付左ノ區別ニ從ヒ免許稅ヲ納ムベシ

- 一等 (所得稅百圓以上地租五百圓以上若ハ營業稅百五十圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族)
  - 二等 (所得稅三十圓以上地租三十圓以上若ハ營業稅二十圓以上ヲ納ムル者又ハ其ノ家族)
  - 三等 一等二等以外ノ者
- 金二十圓  
金十圓  
金二圓

○免許ノ有効期限ハ十月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス、但シ北海道ニ於テハ九月十五日ヨリ翌年四月十五日マテトス、前項期間内ニ非サ

レハ狩獵ヲ爲スコト得ス (第十二條)

○免許ノ使用ハ本人ニ限ル (第十三條)

○獵者ハ出獵ノ際免許ヲ携帯スヘシ、警察官、憲兵、森林官及市町村長ハ免許ヲ檢査スルヲ得、獵者ハ之ヲ拒ムヲ得ス (第十四條)

○免許ヲ亡失シタルトキハ其ノ地ノ所轄警察官署及當初之ヲ下付シタル官廳ニ届出ツベシ、免許ヲ亡失、毀損シタルトキハ再渡、書換ヲ請求スルヲ得其手数料金貳拾五錢 (第十五條)

○未成年者ハ乙種免許ヲ受クルヲ得ズ (第十六條)

○免許ハ失効ノ日ヨリ三十日以内ニ當初下付ノ官廳ニ返納スベシ

○遺失物法摘要

(一)他人ノ遺失シタル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ遺失者又ハ所有者其他物件回復ノ請求權ヲ有スル者ニ其物件ヲ返還シ又ハ警察官署ニ之ヲ差出スヘシ但シ法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタルノ物件ハ返還スルノ限ニアラス

○物件ヲ警察官署ニ差出シタルトキハ警察官署



ハ物件ノ返還ヲ受クヘキ者ニ之ヲ返還スヘシ若シ返還ヲ受クヘキ者ノ氏名又ハ居所ヲ知ルコト能ハサルトキハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ公告ヲナスヘシ

(二)物件ノ返還ヲ受クル者ハ物件ノ價格百分ノ五ヨリ少カラス二十ヨリ多カラサル報勞金ヲ拾得者ニ給スヘシ但シ國庫其他公ノ法人ハ報勞金ヲ請求スルコトヲ得ス◎報勞金ハ物件ヲ返還シタル後一箇月ヲ過クルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

(三)拾得者ハ豫メ申告シテ拾得物ニ關スル一切ノ權利ヲ拋棄シ義務ヲ免ルルコトヲ得

(四)物件ノ返還ヲ受クヘキ者ハ其權利ヲ拋棄シテ警察官署ノ保管費用及報勞金辨償ノ義務ヲ免ルルコトヲ得◎物件ノ返還ヲ受クヘキ各權利者其權利ヲ拋棄シタルトキハ拾得者其物件ノ所有權ヲ取得ス但シ拾得者其取得權ヲ拋棄シ第一項ノ例ニ依ルコトヲ得◎法令ノ規定ニ依リ私ニ所有所持スルコトヲ禁シタル物件ヲ拾得シタル者ハ所有權ヲ取得スルノ限ニアラス

(五)管守者アル船車建築物其他公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者ハ其物件ヲ管守者ニ交附スヘシ◎本條ノ場合ニ於テハ船車建築物ノ占有者ヲ以テ拾得者トス自己ノ管守スル場所ニ於テ他人ノ物件ヲ拾得シタル者亦同シ◎本條ノ場合ニ於テ報勞金ハ前項ノ占有者ト現ニ物件ヲ拾得シタル者ト折半スヘシ

(六)犯罪者ノ置去リタルモノト認ムル物件ヲ拾得シタル者ハ速ニ其物件ヲ警察官署ニ差出スヘシ◎前項ノ物件ニ關シテハ法律ノ規定ニ依リ沒收スルモノヲ除ク外本法及ヒ民法第二百四十條ノ規定ヲ準用ス但シ公訴權消滅ノ日ヨリ一箇年間還附ヲ受クル者ナキトキニ限り拾得者ニ於テ所有權ヲ取得ス

(七)埋藏物ニ關シテハ公衆ノ通行ヲ禁シタル構内ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ準用ス

(八)學術技藝若ハ考古ノ資料ニ供スヘキ埋藏物ニシテ其所有者知レサルトキハ其所有權ハ國庫ニ歸屬ス此場合ニ於テハ國庫ハ埋藏物ノ發見者及埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ニ通知シ其價

格ニ相當スルノ金額ヲ給スヘシ◎埋藏物ノ發見者ト埋藏物ヲ發見シタル土地ノ所有者ト異ルトキハ前項ノ金額ハ折半シテ之ヲ給スヘシ◎本條ノ金額ニ不服アル者ハ第二項ノ通知ノ日ヨリ六箇月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

(九)拾得物其他本法ノ規定ヲ準用スル物件ヲ隱匿シ若ハ不正ニ處分シタル者ハ三月以下ノ重禁錮又ハ貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス

○徵兵令摘要

(一)重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルヲ許サス

(二)兵役ヲ免スルハ廢疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル

(三)體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ滿タサル者疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム

(四)公權ノ剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重輕罪ノ爲メ訊問若クハ拘留中ノ者ハ徵集ヲ延期ス

(五)徵集ニ應ルストキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

(六)官立學校、府縣立師範學校、中學校若ハ文部大臣ニ於テ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認メタル學校若ハ文部大臣ノ認可ヲ經タル學則ニ依リ法律學政治學理財學ヲ教授スル私立學校ニ在校ノ者ハ本人ノ願ニ依リ滿二十八歲迄徵集ヲ猶豫ス其事故滿二十八歲ニ止ミ又ハ二十八歲ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ抽籤ノ法ニ由ラスシテ之ヲ徵集ス

(七)餘人ヲ以テ代フヘカラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長、助役及收入役ハ豫備兵後備兵ニ在ルト第一補充兵ニ在ルトヲ問ハス勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ

(八)外國ニ在ル者ハ(朝鮮國ニ在ル者ヲ除ク)本人ノ願ニ由リ徵集ヲ猶豫ス滿三十二歲迄ニ歸朝ス



- ル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵收シ三十二歳ヲ過クル者ハ國民兵役ニ服セシム
- (九)兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潜匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス
- (十)毎年一月ヨリ十二月迄ニ滿二十歳トナル者ハ其年ノ一月一日ヨリ同月三十一日迄ニ又學校ニ在ル者ニシテ二十八歳迄ニ事故止ミ外國ニ在ル者ニシテ三十二歳迄ニ歸朝シタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ(戶主ニ非サル者ハ戶主ヨリ)本籍ノ市町村長ニ届出可シ
- (十一)前條ノ届出ヲ爲ササル者及正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ニ處ス
- (十二)兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潜匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ一箇月以上一年以上ノ重禁錮ニ處シ參圓以上參拾圓以下ノ罰金ヲ附加ス
- (十三)國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役

トス第一國民兵役ハ後備兵役及第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス

○徵兵適齡表

明治三十五年ヨリ同三十七年迄ノ分  
滿二十歳トナリ徵兵ニ當ル者  
明治三十五年同十五年二月生ヨリ十六年一月生迄  
明治三十六年同十六年二月生ヨリ十七年一月生迄  
明治三十七年同十七年二月生ヨリ十八年一月生迄  
滿十七歳トナリ國民兵ニ入ル者  
十八年二月生ヨリ 十九年一月生迄  
十九年二月生ヨリ 二十年一月生迄  
二十年二月生ヨリ 廿一年一月生迄

○官吏恩給法摘要

(一)在官滿十五年以上ノ者左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ終身恩給ヲ給ス○年滿六十歳ヲ超エ退官ヲ許シタルトキ○傷病ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹

- リ其職ニ堪ヘス退官ヲ許シタル時○廢官廢廳若クハ官廳事務ノ伸縮又ハ非職滿期ニ依リ退官シタルトキ
- (二)左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ハ前條ノ年限ニ滿タサルモ終身恩給ヲ給シ尙其最下金額十分ノ七迄ノ増加恩給金ヲ給ス○公務ニ依リ傷病ヲ受ケ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ニシテ其職務ニ堪ヘス退官シタルトキ○公務ニ依リ健康ニ有害ナル感動ヲ受クルヲ顧ミルコト能ハスシテ勤務ニ從事シ爲メニ疾病ニ罹リ一肢以上ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキモノニシテ其職務ニ堪ヘス退官シタルトキ
- (三)恩給ノ年額ハ退官現時ノ俸給ト在官年數トニ依リ之ヲ定ム即チ在官滿十五年以上十六年未滿ニシテ退官シタル者ノ恩給年額ハ俸給年額ノ二百四十分ノ六十トシ十五年以後滿五年毎ニ二百四十分ノ一ヲ加ヘ滿四十年ニ至テ止ム但在官四十年以上ノ者ニ給スヘキ恩給ハ四十年ノ額又十五年未滿ノ者ニ給スヘキ恩給ハ十五年ノ額トス
- 恩給年額圓位未滿ノ數ハ圓位ニ滿タシム

(四)恩給ヲ受ケ又ハ恩給ヲ受ケスシテ退官シタル者在官中ノ公務ニ起因スル傷病疾病引續キ重症ニ趣キタル時其事由ヲ詳悉シ左ノ期限内ニ申出レハ査駁ノ上相當ノ恩給ヲ給ス○一肢ノ用ヲ失ヒ若クハ之ニ準スヘキ者ハ退官後二箇年○一肢ヲ亡シ或ハ二肢ノ用ヲ失ヒ又ハ兩眼ヲ盲シ若クハ二肢ヲ亡シ若クハ準スヘキ者ハ退官後三箇年

○官吏遺族扶助法摘要

(一)文官判任以上ノ者左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキハ其遺族ハ此法律ノ規定スル所ニ依リ扶助料ヲ受クルノ權利ヲ有ス○在官十五年以上ノ者在官中死去シタルトキ○在官十五年未滿ノ者公務ノ爲メ死去シタルトキ○恩給ヲ受クル者死去シタルトキ

(二)寡婦扶助料年額ハ亡夫ノ受ケタル若クハ受ケヘキ恩給年額三分ノ一トス○公務ノ爲メ受ケタル傷病疾病ニ依リ死去シタル者ノ寡婦扶助料ハ亡夫ノ受ケヘキ恩給年額三分ノ二トス



- (三) 寡婦ナキ時又ハ扶助料ヲ受クル寡婦死去シ若クハ權利消滅シタルトキハ其扶助料ヲ孤兒ニ給ス
- (四) 恩給ヲ受ケタル者ノ寡婦ニシテ其夫退官後結婚シタル者扶助料ヲ受クルコトヲ得ス
- (五) 此法律ニ於テ孤兒トハ年齢二十歳未滿ノ男女子ニシテ未タ結婚セサル者ヲ云フ但養男女子ハ家名繼續者ニ限ル
- (六) 扶助料ヲ受クヘキ寡婦及孤兒ナク若クハ之ヲ受ケタル寡婦及孤兒戸籍ヲ去リ若クハ死去シ若クハ權利消滅シタルトキハ父母又ハ祖父母ニ終身給スルコトヲ得
- (七) 扶助料ヲ受クヘキ寡婦孤兒又ハ父母祖父母ナクシテ戸籍内ニアル二十歳未滿又ハ廢疾若クハ不具ニシテ産業ヲ營ムコト能ハサル兄弟姉妹アリ之ヲ給養スル者ナキトキハ寡婦ニ相當スル扶助料一箇年分ヨリ少カラス五箇年分ヨリ多カラサル金額ヲ人員ニ拘ラス一時限リ給スルコトヲ得

### ● 貨幣及紙幣

#### ○ 貨幣法摘要 (明治三十年三月法律第十六號)

- 貨幣ノ製造及發行ノ權ハ政府ニ屬ス
- 純金ノ量目二分ヲ以テ價格ノ單位ト爲シ之ヲ圓ト稱ス
- 貨幣ハ左ノ九種類トス
 

|      |     |     |    |
|------|-----|-----|----|
| 金貨幣  | 貳拾圓 | 拾圓  | 五圓 |
| 銀貨幣  | 五拾錢 | 貳拾錢 | 拾錢 |
| 白銅貨幣 | 五錢  |     |    |
| 青銅貨幣 | 一錢  | 五厘  |    |
- 金貨幣ハ其ノ額ニ制限ナク法貨トシテ通用ス銀貨幣ハ拾圓マデ白銅貨幣及ヒ青銅貨幣ハ壹圓マデヲ限リ法貨トシテ通用ス
- 金貨幣ノ通用最輕量目ハ左ノ如シ
 

|     |                    |
|-----|--------------------|
| 貳拾圓 | 四々四分貳厘(十六グラム五七五〇)  |
| 拾圓  | 二々二分一厘(八グラム二八七五)   |
| 五圓  | 一々一分零厘五毛(四グラム一四三八) |
- 金貨幣ニシテ磨損ノ爲メ通用最輕量目ヲ下ルモノ及銀貨幣白銅貨幣又ハ青銅貨幣ニシテ著シク

- 磨損シタルモノ其他流通不便ノ貨幣ハ其額面價格ヲ以テ無手数料ニテ政府ニ於テ之ヲ引換フベシ
  - 貨幣ニシテ模様ノ認識シ難キモノ又ハ私ニ極印ヲ爲シ其他故意ニ毀損セリト認ムルモノハ貨幣タル效用ナキモノトス
  - 金地金ヲ輸納シ金貨幣ノ製造ヲ請フ者アルトキハ政府ハ其ノ請求ニ應スベシ
- 附 則
- 從來發行ノ金貨幣ハ此ノ法律ニ依リ發スル金貨幣ノ倍位ニ通用スベシ
  - 從來發行ノ壹圓銀貨幣ハ金貨幣壹圓ノ割合ヲ以テ政府ノ都合ニ依リ漸次引換フベシ。引換ノ結了マデハ金貨幣壹圓ノ割合ヲ以テ無制限ニ法貨トシテ通用ヲ許シ通用禁止ノ場合ハ六箇月以前ニ勅令ヲ以テ公布スベシ通用禁止ノ翌日ヨリ起算シ滿五ヶ年内ニ引換ヲ請求セサルトキハ爾後地金トシテ取扱フ
- (明治三十年九月勅令第三百三十八號ヲ以テ)

- 從來發行ノ壹圓銀貨幣ハ明治三十一年四月一日限リ通用禁止ヲ公布セララル
- 從來發行ノ五錢銀貨幣及ヒ銅貨幣ハ從前ノ通り通用スベシ

#### ○ 流通不便ノ金銀銅貨

##### 交換方

(明治二十二年二月大藏省令第三號)

- 流通不便ノ金銀銅貨ハ本年四月一日以後當省金庫局及同局大阪出張所ニ於テ左ノ區別ヲ以テ交換スヘシ但シ手数料ハ徴收セス
 

|           |      |
|-----------|------|
| 一量目減少セサル者 | 全額   |
| 一量目減少セル者  | 現存價格 |









| 貨  | 一厘   | 正發行                  | 明治四年制定全六年八月圖蓋改    | 五分二厘                           | 日本 二毫四厘一モ五        | 十厘               | 發行年月 |
|----|------|----------------------|-------------------|--------------------------------|-------------------|------------------|------|
| 種類 | 寬永通寶 | 二厘                   | 青波紋ト稱ヘ元四文<br>眞鍮ナリ | 徑曲尺(創制ノ品)<br>九分五厘及ヒ九分ノ<br>二種アリ | 一匁四分、一匁ノ二<br>種アリ  | 昭和五年戊子五月ヨ<br>リ發行 |      |
| 價格 | 一厘半  | 波紋ニテ元四文銅錢<br>ナリ      | 九分弱               | 一匁、九分、八分ノ三<br>種アリ              | 文久三年癸亥二月ヨ<br>リ發行  |                  |      |
| 呼稱 | 一厘   | 耳自錢或ハ其外トモ<br>元一文銅錢ナリ | 七分五厘強             | 九分                             | 寬永十三年丙子六月<br>ヨリ發行 |                  |      |

○兌換銀行券條例摘要

一 兌換銀行券ハ日本銀行條例第十四條ニヨリ同銀行ニ於テ發行シ金貨ヲ以テ兌換スルモノトス

一 日本銀行ハ兌換銀行券發行高ニ對シ同類ノ金銀貨、及、地金銀ヲ置キ其引換準備ニ充ツベシ

但、銀貨、及、銀地金ハ引換準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ズ

一 日本銀行ハ前項ノ外、特ニ八千五百萬圓(明治三十二年三月九日法律第五十五號ヲ以テ「壹億貳千萬圓」ト改メラル)ヲ限リ政府發行ノ公債證書、大藏省證券、其他、確實ナル證券、又ハ商業手形ヲ保證トシ兌換銀行券ヲ發行スルコトヲ得

但、本項八千五百萬圓ノ内貳千七百萬圓ハ明治二十二年一月一日以降ニ係ル國立銀行紙幣ノ消却高ヲ限トシ漸次發行スルモノトス

一 日本銀行ハ市場ノ景況ニ由リ流通貨幣ノ增加ヲ必要ト認ムルキハ大藏大臣ノ許可ヲ得テ前二項發行高ノ外、更ニ政府發行公債證書、大藏省證券、其他、確實ナル證券、若クハ商業手形ヲ保證トシ兌換銀行券ヲ發行スルコトヲ得、此場合ニ於テハ其發行額ニ對シニケ年百分ノ五ヲ下ラザル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムベシ

但、其割合ハ其時々、大藏大臣之ヲ定ム

一 日本銀行ハ政府發行紙幣、償却ノ爲メ貳千貳百

萬圓ヲ限リ無利子ヲ以テ政府ヘ貸付スベシ

一 前項、貸付金ノ償還年限、及、償還金額ハ大藏大臣之ヲ定ム

一 兌換銀行券ノ種類ハ壹圓、五圓、拾圓、貳拾圓、五拾圓、百圓、貳百圓ノ七種トス

但大藏大臣ハ各種ニ就テ其發行高ヲ定ムヘシ

一金貨ヲ持參シテ兌換銀行券ニ引換ヘシコトヲ請フモノアルトキハ日本銀行本店、及、支店ニ於テ無手数料ニテ交換スルモノトス

○毀損兌換銀行券交換規則

(十九年十二月日本銀行報告)

第一條 水火災ニ罹リ又ハ其他ノ理由ニ依リ汚染毀損シタル兌換銀行券ハ左ノ各條ニ照シテ審査シ該券面金額ノ全額若クハ半額ヲ以テ之ヲ交換スヘシ

一 兌換券表面彩欄内面積三分ノ二以上ヲ存シ記號番號及券面金員(中央及四隅數字ノ内一個以上)ヲ認ムルモノ

以上全額交換

二 面積五分ノ二以上ヲ存シ記號番號及券面金員(中央云々前同)ヲ認ムルモノ

以上半額交換

第二條 細裂ノ小片ヲ合シ其裂目接續セサルモノ並ニ面積五分ノ二ニ充タサルモノハ兌換ノ効ヲ失ヒタルモノトス

但前第一條ニ符合セサルモノト雖ニ面積二分ノ一以上ヲ存スルモノハ審査上ノ實況ニヨリ半額若クハ全額ヲ以テ交換スルコトアルヘシ

第三條 肉色ニ變化ヲ生シ又ハ其他ノ理由ニヨリ眞贋認定シ難キモノハ全額ヲ存スルモノト雖モ之ヲ交換セス

○公債

○公債一覽

兌換銀行券條例摘要 毀損兌換銀行券交換規則



| 種類    | 券種                        | 起因及發令年月  | 償還期限                       | 利子  | 利渡月   |
|-------|---------------------------|--|----------------------------|-----|-------|
| 警公債   | 五百圓、三百圓、百圓、五十圓、廿五圓        | 弘化元年ヨリ慶應三年迄ノ警備ノ遺債ヲ償ヒタルニ起ル(發令明治六年三月)  | 明治五年ヨリ同五十四年迄五十年賦           | 無利子 | 每年十二月 |
| 金銀公債  | 五千圓、千圓、五百圓、三百圓、百圓、五十圓、廿五圓 | 寶清藩ノ家録賞典ノ制ヲ廢シ之ヲ一時ニ下付セシニ起ル(發令明治九年八月)  | 明治十五年ヨリ同四十四年迄三十年賦          | 年五歩 | 十一月   |
| 海軍公債  | 千圓、五百圓、百圓                 | 海軍ノ費途ニ充ル爲メニ起ル(發令明治十九年六月)   | 發行ノ年ヨリ五ヶ年同額償還其翌年ヨリ向フ三十ヶ年賦  | 年五歩 | 十一月   |
| 整理公債  | 五千圓、千圓、五百圓、百圓、五十圓         | 内國債(六分以上利付)ヲ償還整理スル爲メニ起ル(發令明治十九年十月)   | 募集ノ年ヨリ五ヶ年同額償還其翌年ヨリ向フ三十ヶ年賦  | 年五歩 | 十二月   |
| 鐵道公債  | 百圓                        | 第一期鐵道敷設費ノ爲メ空額ヲ限リ明治二十年ヨリ向フ十年間ニ募集ス。第一回募集令明治六年四月、第二回明治七年二月、既設官設鐵道改良、北海道鐵道建設、製鐵事業、電氣鐵道、築港、草野、實業及國防事業費用ニ充ツル爲メ一億三千五百萬圓ヲ限リ明治二十九年ヨリ全三十五年迄七ヶ年同額募集第一回募集明治三十年三月第二回全十年 | 同上                         | 年五歩 | 九月    |
| 軍事公債  | 五千圓、千圓、五百圓、百圓、五十圓         | 朝鮮二國ニ對スル交涉事ニ付軍費補充ノ爲メ一億五千萬圓ヲ限リ漸次募集ス(發令明治廿七年八月及十月)   | 明治廿七年ヨリ五ヶ年同額償還其翌年ヨリ向フ三十ヶ年賦 | 年五歩 | 十二月   |
| 東京市公債 | 千圓、五百圓、百圓                 | 東京市區改正費ノ爲メ向フ五ヶ年ニ一千萬圓ヲ募集メ(發令明治二十四年十月)   | 募集ノ翌年ヨリ向フ三十ヶ年間             | 年六歩 | 十二月   |
| 大阪市公債 | 千圓、五百圓、百圓、五十圓、二十五圓        | 大阪市水道敷設費ニ充ル爲メ起ル  |                            | 年六歩 | 十二月   |
| 全     | 千圓、五百圓、百圓、五十圓             | 大阪市下水道工費ニ充ル爲メ起ル  |                            | 年五歩 | 八月    |

○大藏省證券條例摘要

- (明治十七年九月第二十四號布告)
- (一)大藏省證券ハ出納上一時使用ノ爲メ大藏省ヨリ發行スルモノトス
  - (二)大藏省證券ハ無記名利付定期拂ニシテ其發行シタル年度ノ歲入ヲ以テ支拂ヲ爲スモノトス
  - (三)大藏省證券ノ發行金額及利子金額ハ「大藏卿」之ヲ豫定シ「太政官」ノ裁可ヲ受クベシ
  - (四)大藏省證券ハ百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓及十萬圓ノ六種ニ別テ其支拂期限ハ十二箇月以内トス(明治二十六年法律第十九號ヲ以テ本條ヲ改正ス)
  - (五)大藏省證券ハ何人ニテモ授受買賣スルヲ得
  - (六)大藏省證券ノ所持人ハ其支拂ノ期日ニ至リ日本銀行本支店又ハ代理店ニ於テ其支拂ヲ請求スベシ
  - (七)大藏省證券ハ其仕拂期日ヨリ起算シ滿六箇月間ハ之ヲ仕拂フベシ滿六ヶ月ヲ過クルトキハ一切仕拂ヲ爲ササルモノトス但支拂期日後ハ其利子ヲ付セズ

◎通信

○通常郵便

- 通常郵便物ノ種類及料金ハ左ノ如シ
- 第一種 書狀 重量四匁又ハ其端數指ニ 金三錢
  - 第二種 郵便證書 一通常證書 金一錢五厘  
二往復證書 金三錢  
三封緘證書 金三錢
  - 第三種 每月一回 一紙一箇重量二十匁又ハ其端數指ニ 金五厘  
二二紙又ハ二箇以上一重量 金一錢  
三刊行物 量廿匁又ハ其端數指ニ 金一錢
- 但第三種郵便物ト爲スベキ定期刊行物ハ主務官署ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル
- 第四種 書籍、印刷物、樂器用、重量三十匁又ハ其端數指ニ 金二錢  
書類、寫眞、畫、圖、重量三十匁又ハ其端數指ニ 金二錢  
商品見本及雜形、博物、重量三十匁又ハ其端數指ニ 金二錢  
學上ノ標本、重量三十匁又ハ其端數指ニ 金二錢
- 但商品見本及雜形ハ見本又ハ雜形トシテ其性質又ハ形狀ヲ示スニ足ルヘキ箇數又ハ分量ヲ限リ其營業者ト往復スルモノニ限ル此郵便ニハ其外部ニ差出人又ハ受取人ノ營業名及其表面ニ商品見本又ハ雜形ノ文字ヲ記スヲ要ス



第五種 農産物種子 重量二十匁又ハ其端數ニ 金一錢

右第二種以下各種ニ該當セサル物件及該當スルモ封緘シタルモノハ第一種郵便物トシテ取扱ハル

異種ノ郵便物ヲ合装シタルモノハ其中ノ最高料金ヲ納ムベキ郵便物ト同一ニ取扱ハル

又郵便葉書ノ表面又ハ第三種乃至第五種ノ郵便物ニ通信文ヲ記シタルモノハ第一種郵便物トシテ取扱ハル

●通常郵便物ノ容積ハ長一尺三寸幅八寸五分厚五寸ヲ限ル

●郵便葉書ノ表面ニハ左ノ事項ノ外記スヲ得ス

一 差出人及受取人ノ宿所氏名、身分、職業及商標等

二 日附及要用、至急、貴酬等ノ慣用語

○郵便葉書ハ原形ノ儘使用シ契約書、委任狀若ハ受納證等ト爲サンカ爲メ收入印紙ヲ裏面ニ貼付スル場合ノ外ハ何等ノ物品モ添付スルヲ得ス

○郵便葉書ノ料額印面ヲ汚損シタルモノハ之ト同額ノ郵便切手ヲ貼付スルニ依リ仍ホ其葉書ヲ使

用スルコトヲ得

○政府ノ發行スル通常葉書ト同一ノ寸法及紙質ニシテ之ト同一ノ位置ニ「郵便葉書」ノ文字ヲ印刷シ且之ト同額ノ切手ヲ貼付シタル私製葉書ハ通常葉書ト看做サル

●第三種乃至第五種郵便物ハ其外部ニ左記ノ事項ニ限リ之ヲ記入シ又ハ別ニ記載シテ添付スルコトヲ得

一 差出人及受取人ノ宿所氏名

二 差出人及受取人ノ身分、職業、商標等

三 日附及要用、至急、貴酬等ノ慣用語

四 贈呈、納本等ノ慣用語

五 定期刊行物ニ前金切レ又ハ何月何日限リ前金滿了等ノ慣用語

六 送達上必要ナル注意ヲ示ス語辭

○第三種乃至第五種郵便物ニハ右各號ノ外尙左ノ事項ニ限リ之ヲ記入シ又ハ別ニ記載シテ添付スルコトヲ得

一 名稱、番號、數量、金額、寸尺、重量

二 定期刊行物、書籍、印刷物、書、畫、圖、

業務書類ニ正誤、注意、點、線、批評ノ類

三 圖、畫及寫眞ニ說明又ハ著色

四 商品見本及雛形、農産物種子及博物學上ノ標本ニ生産地及種類ヲ確知スル爲メ必要ノ事項

五 農産物種子ニ播種ノ時季及說明

○第三種乃至第五種郵便物ノ重量ハ一箇三百匁ヲ限トス但商品見本雛形ニ在リテハ一箇百匁ヲ限トス

●無料郵便ハ郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信、電話ノ事務ニ關スル郵便物ニ限ル

●郵便禁制品ハ左ノ如シ

一 公安ヲ妨害シ風俗ヲ壞亂スヘキ文書、圖、畫、其他ノ物件

二 爆發性、發火性又ハ危險性ノ物件其他郵便吏員ニ危害ヲ加ヘ又ハ郵便物ニ損害ヲ與フヘキ物件

●郵便受取人ハ郵便料ノ完納サレザル郵便物ノ受取ヲ拒ムコトヲ得

○郵便受取人其受取ルヘカラサル郵便物ヲ誤テ受

取リタル時ハ速ニ其事由及居所氏名ヲ記シタル附箋ヲ爲シ料金ヲ納付スルコトナク再ヒ郵便ニ差出スカ又ハ郵便局所ニ持參スベシ

○右ノ場合ニ於テ其郵便物ヲ誤テ開封シタル時ハ之ヲ封緘シ又ハ相當ノ手當ヲ爲シタル上ニテ右ノ手續ヲ履ムベキモノトス

●郵便料ノ未納又ハ不足ノ郵便物ハ受取人其不納額ニ倍ノ料金ヲ納付シテ之ヲ受取ルコトヲ得受取人其納付ヲ拒ム時ハ差出人ニ還付シ差出人ヨリ之ヲ徴收ス

●郵便切手其他郵便料金ヲ表彰スヘキ證券ノ汚損毀損シタルモノハ其効用ヲ失フ

●成規ニ依リ差出シタル郵便物ノ取扱ニ關シ郵便官署ノ損害ヲ賠償スルハ左ノ場合ニ限ル

一 書留郵便物ヲ亡失シタルトキ

二 小包郵便物若ハ價格表記郵便物ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ

三 郵便ニ依ル取立金ノ證券ヲ亡失シ又ハ其効力ヲ失ハシメタルトキ

但左ノ事項ニ該當スル時ハ賠償ノ限ニアラス



- 一 差出人又ハ受取人ノ過失ニ因リタルトキ
  - 二 不可抗力ニ因リタルトキ
  - 三 其郵便物ノ性質又ハ瑕疵ニ因リタルトキ
- 郵便官署ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘキ場合ニ於ケル賠償ノ金額ハ左ノ割合ニ依ル
- 一 書留郵便物亡失ノトキハ一箇ニ付金十圓
  - 二 價格表記郵便物亡失ノトキハ表記金額ノ全額、毀損ノ時ハ其表記金額ト殘存價格トノ差額但表記金額市場價格ニ超過スル時ハ市場價格ニ依リ算定ス此場合ニ於ケル市場價格ハ引受當時ニ於ケル引受郵便局所在地ノ價格ニ依ル
  - 三 小包郵便物亡失又ハ毀損ノ時ハ重量百匁又ハ其端數毎ニ金二十錢
  - 四 現金取立郵便ニ依ル證券ノ亡失又ハ失効ノトキハ其實損額
- 郵便官署ニ於テ損害賠償ヲ爲シタル後其郵便物ヲ發見シタル時ハ之ヲ其賠償者ニ通知スヘシ此場合ニ於テ賠償受領者ハ其通知ヲ受ケタル日ヨリ六ヶ月以内ニ賠償金ノ全部又ハ一部ヲ返付シ

- テ其郵便物ノ交付ヲ求ムルヲ得
  - 郵便ニ關スル既納及過納ノ料金ハ左ノ場合ニ於テ其納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テスルノ外總テ之ヲ還付セズ
  - 一 郵便局所ノ過失ニ因リ徵收シタル郵便料過徵額及誤納額
  - 二 特殊取扱ノ請求アリタル郵便物ニシテ郵便局所ノ過失ニ依リ其取扱ヲ爲サザリシ場合ニ於ケル特殊取扱ノ料金
  - 三 郵便局所ノ過失ニ依リ普通郵便ニ依リテ到達シ得ヘキ時刻ヨリ遅レテ受取人ニ到達シタル別配達取扱ノ料金
  - 四 亡失又ハ失効ニ依リ損害賠償ヲ爲シタル場合ノ書留郵便物、小包郵便物、價格表記郵便物、現金取立郵便物ノ郵便ニ關スル料金
- 小包郵便
- 書狀ハ小包郵便ト爲シ又ハ小包郵便物ニ合裝スルヲ得ス但無封ノ添狀又ハ送狀ハ此限ニ在ラズ
  - 小包郵便物ノ容積ハ長、幅及厚二尺ヲ限トシ、幅及厚五寸以内ノモノハ長三尺ヲ限トシ其重量

ハ一貫五百匁ヲ超過スベカラサルモノトス

○小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

| 内地小包郵便料 |   | 内地臺灣間小包郵便料 |   | 臺灣内小包郵便料 |   | 日本内地、清、韓三國相互間小包郵便料 |   | 臺灣及清、韓國間小包郵便料 |   | 里程ニ拘 |   |
|---------|---|------------|---|----------|---|--------------------|---|---------------|---|------|---|
| 里       | 匁 | 里          | 匁 | 里        | 匁 | 里                  | 匁 | 里             | 匁 | 里    | 匁 |
| 二       | 百 | 二          | 百 | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 四    | 二 |
| 四       | 百 | 四          | 百 | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 六    | 三 |
| 六       | 百 | 六          | 百 | 二        | 四 | 二                  | 四 | 二             | 四 | 八    | 四 |
| 八       | 百 | 八          | 百 | 三        | 二 | 三                  | 二 | 三             | 二 | 一    | 六 |
| 一       | 千 | 一          | 千 | 四        | 〇 | 四                  | 〇 | 四             | 〇 | 二    | 六 |
| 一       | 萬 | 一          | 萬 | 五        | 六 | 五                  | 六 | 五             | 六 | 三    | 三 |
|         |   |            |   | 六        | 四 | 六                  | 四 | 六             | 四 | 三    | 〇 |
|         |   |            |   | 七        | 二 | 七                  | 二 | 七             | 二 | 二    | 〇 |
|         |   |            |   | 八        | 〇 | 八                  | 〇 | 八             | 〇 | 一    | 八 |
|         |   |            |   | 九        | 〇 | 九                  | 〇 | 九             | 〇 | 二    | 六 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 〇 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 四 | 一                  | 四 | 一             | 四 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 五 | 一                  | 五 | 一             | 五 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 六 | 一                  | 六 | 一             | 六 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 七 | 一                  | 七 | 一             | 七 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 八 | 一                  | 八 | 一             | 八 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 九 | 一                  | 九 | 一             | 九 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 〇 | 一                  | 〇 | 一             | 〇 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 一 | 一                  | 一 | 一             | 一 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 二 | 一                  | 二 | 一             | 二 | 三    | 四 |
|         |   |            |   | 一        | 三 | 一                  | 三 | 一             | 三 | 三    | 四 |



- 六 代金引換料 一口ニ付 金五錢 外ニ取立金送達料トシテ其引換金額十圓迄ハ其超過シタル額ニ對シテ十圓迄ハ其超過シタル額以上三百圓迄ハ其超過シタル額ニ對シテ十圓迄ハ其超過シタル額以上三百圓迄ハ其超過シタル額ニ對シテ十圓迄ハ其超過シタル額
- 七 現金取立料 一口ニ付 金五錢 外ニ取立金送達料トシテ代金引換ト同一ノ割合ニ依ル料額
- 左記ノ郵便物ハ各其下ニ記載セル文字ヲ表面看易キ場所ニ記入スルヲ要ス
- 一 別配達郵便物 別配達又ハ何局別配達
- 二 留置郵便物 留置若ハ何局留置又ハ留置通知
- 三 配達證明郵便物 配達證明
- 四 書留郵便物 書留
- 五 價格表記郵便物 價格表記金何程
- 六 代金引換委託郵便物 代金引換金何程
- 別配達郵便物ト爲シ得ルモノハ書留又ハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ニ限ル別配達ノ郵便物ハ通常ノ配達時間ニ拘ラス直ニ特使ヲ以テ之ヲ配達ス
- 留置郵便物ハ差出人指定ノ郵便局所ニ留置キ受取人ノ出頭ヲ待テ之ヲ交付ス○留置期間ハ三十

日トス交通不便ニシテ其受取人此期間ニ出頭シ能ハズト認ムル地ニ宛テタル郵便物ハ其期間ヲ延長スルコトアルベシ留置郵便物ノ差出人ハ留置郵便局所ヨリ其受取人ニ該郵便物到着ノ通知ヲ求ムルコトヲ得

● 配達證明ト爲シ得ル郵便物ハ書留又ハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ニ限ル○配達證明郵便物ノ配達ヲ了シタル時ハ其郵便局所ハ配達證明書ヲ差出人ニ送付ス

● 書留郵便物ト爲スヲ得ルモノハ價格表記ト爲ササル通常郵便物ニ限ル

● 價格表記ト爲スヲ得ルハ書留ト爲ササル郵便物ニシテ有價ノ物件ヲ封入シタルモノニ限ル○通貨、金銀、寶石、珠玉其他高價ノ物件ハ價格表記ト爲スニ在ラサレバ郵便物トシテ差出スヲ得ス○價格表記金額ノ制限ハ金千圓トス

● 代金引換トシテ其郵便物ト代金トノ引換ヲ郵便局所ニ委託スルコトヲ得ルモノハ價格表記ノ通常郵便物及小包郵便物ニ限ル但其金額ハ三百圓ヲ超ユルヲ得ス○此郵便物ハ到着郵便局ニ留置

キ其旨ヲ受取人ニ通知シ其出頭ヲ待テ代金ト引換ニ交付ス○取立郵便局所代金引換郵便物ノ代金ヲ取立タル時ハ引受郵便局所、差出人ニ其旨ヲ通知ス差出人此通知ニ接シタル時ハ所定ノ期間ニ其通知書及該郵便物ノ受取書並ニ取立金送達料ヲ差出シ之ト引換ニ取立金ノ交付ヲ受クヘシ

● 現金取立トシテ其金額ノ取立ヲ郵便局所ニ委託スルコトヲ得ルモノハ代金受領書、株式配當券、公債又ハ社債ノ利券、保險掛金受領證ニシテ持參人ニ支拂ハルベキモノニ限ル但其金額ハ一口ニ付金三百圓ヲ超ユルヲ得ズ○現金取立ハ一口ニ付二通以上ノ證券ヲ委託スルヲ得サルモ同一ノ債權者ニ屬シ同一ノ債務者ヨリ同時ニ取立ヲ得ベキモノハ幾通ニテモ之ヲ委託スルヲ得ベシ○一定ノ期日ニ取立ツベキ證券ハ債務者所在地ニ達スベキ日數ヲ除キ該日ヨリ早クモ十五日遅クモ五日以前ニ之ヲ委託スベシ○取立テラレタル金圓ノ交付ヲ受クル手續ハ前記代金引換郵便物ノ下ニ記スル所ト同シ

○郵便爲替

● 郵便爲替證書一枚ノ金額制限ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外、通常爲替及電信爲替金五十圓、小爲替金五圓トシ通常爲替小爲替ノ金額ハ厘位未滿電信爲替ノ金額ハ圓位未滿ノ端數ヲ付スルヲ得ス

● 郵便爲替證書一枚ノ爲替料ハ別ニ定ムルモノヲ除ク外左ノ如シ

|      |    |      |       |       |       |       |
|------|----|------|-------|-------|-------|-------|
| 通常爲替 | 金額 | 十圓以内 | 二十圓以内 | 三十圓以内 | 四十圓以内 | 五十圓以内 |
|      | 同  | 同    | 同     | 同     | 同     | 同     |
| 電信爲替 | 金額 | 十圓以内 | 二十圓以内 | 三十圓以内 | 四十圓以内 | 五十圓以内 |
|      | 同  | 同    | 同     | 同     | 同     | 同     |
| 小爲替  | 金額 | 十圓以内 | 二十圓以内 | 三十圓以内 | 四十圓以内 | 五十圓以内 |
|      | 同  | 同    | 同     | 同     | 同     | 同     |

● 郵便爲替ノ差出人及受取人ハ各一名ニ限ル

● 小爲替證書ニシテ受取人ノ指定ナキモノハ隨意ニ之ヲ讓渡スヲ得ルモ其他ノ郵便爲替證書ハ之ヲ讓渡スヲ得ス

● 郵便爲替證書ノ有効期間ハ其發行ノ日ヨリ通常



爲替及電信爲替ハ九十日、小爲替ハ六十日トス但千島國琉球國小笠原島伊豆諸島及臺灣ニ設置シタル郵便局ト取組ミタル郵便爲替證書ノ有効期間ハ百二十日トシ（同一國內又ハ同一島内ニ取組ミタルハ此限ニ在ラズ）千島國ニ設置シタル郵便局所ト取組ミタル通常爲替證書及電信爲替證書ニ對シテハ毎年十二月一日ヨリ翌年四月三十日迄其有効期間ニ算入セズ郵便官署ニ於テ郵便爲替金ノ拂渡ヲ遅延シタル爲メ經過シタル日數亦同ジ

●郵便爲替ニ關シ當該事務員ノ過失ニ因リ左ノ事故ヲ生シタルトキハ差出人又ハ受取人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ其既納ノ料金を還付ス

一 電信爲替證書ノ送達ヲ通常爲替證書ノ到達スベキ期限ニ後レシメ因テ該爲替金ノ拂戻ト爲リタルトキ

二 郵便爲替ノ特殊取扱ニ關シ料金を納付ヲ要シタル手續ヲ脱漏シタルトキ

右ノ請求ハ其爲替證書ノ有効期間満了後三箇月以内ニ料金を納付シタル郵便爲替局所ニ之ヲ爲

スヘシ

●通常爲替ノ差出人、爲替金ノ拂渡停止ヲ請求セントスルトキハ其請求書ヲ郵便局所ニ差出シ且其爲替金受領證書ヲ呈示シテ之ヲ爲スヲ得此場合ニ於テ其請求ヲ受タル郵便局所ヨリ拂渡局所ニ通知ヲ要スル時ハ其料金をトシテ郵便ニ依ルモノハ金三錢、電信ニ依ルモノハ該電報料ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ○此手續ハ通常爲替ノ差出人、爲替金拂渡停止ヲ解除セントスル場合ニ準用セラル

●左ノ場合ニ爲替金ノ拂渡ヲ停延ス

一 通常爲替證書違式ノトキ

二 通常爲替振出請求書違式ノトキ

三 通常爲替振出請求書未達ノトキ

四 通常爲替證書ト通常爲替振出請求書ト金額符合セザルトキ

但此場合ニ於テハ其少キ金額ヲ限度トシ爲替金ノ假拂渡ヲ求ムルヲ得

五 拂渡資金缺乏ノトキ

●郵便爲替證書ノ有効期間ヲ經過シタル時又ハ郵

便爲替證書ヲ亡失毀損若クハ汚損シタル時ハ其差出人又ハ受取人ハ命令ノ定ムル所（郵便爲替規則第三十條乃至第三十三條同五十條乃至第五十四條）ノ規定ニ從ヒ再度證書ノ交付又ハ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

○郵便爲替ノ有効期間満了ノ日ヨリ滿三年間此請求ヲ爲サザル時ハ其爲替金ハ國庫ノ所有ニ歸ス

○再度證書ヲ發行シタル時ハ其原證書ハ無効トス

○小爲替證書ニシテ左ノ事項判明ナラサルモノハ毀損汚損シタルモノトス

- 一 爲替金額
  - 二 爲替證書ノ記號番號
  - 三 受取人及拂渡郵便局所ノ指定欄
  - 四 爲替證書ノ番號
- 通常爲替ノ差出人又ハ受取人ハ拂渡局所ノ變更ヲ請求スルヲ得、差出人又ハ拂戻郵便局所ノ變更ヲ請求スルヲ得其料金を通常爲替一口ニ付金六錢トス
- 電信爲替ノ場合ニ於テ拂渡郵便局、電信ヲ取扱ハサルトキハ其爲替ニ關スル通報ハ郵便接續ノ

方法ニ依ル

○電信爲替ノ差出人ハ至急電報ノ取扱又ハ郵便接續ノ場合ニ於テ別配達ノ取扱ヲ請求スルヲ得此場合ニ於テハ別ニ其料金をトシテ至急電報ノ取扱ニ對シテハ金四十錢、別配達ノ取扱ニ對シテハ郵便別配達料ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

○電信爲替ノ差出人ハ電信爲替證書ノ別配達ヲ請求スルヲ得此場合ニ於テハ其料金をトシテ郵便別配達料ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

●郵便爲替ノ差出人ハ爲替振出ノ際郵便又ハ電信ニ依ル郵便爲替金拂渡通知ヲ請求スルヲ得此場合ニ於テ其料金をトシテ郵便爲替一口ニ付郵便ニ依ルモノハ金三錢、電信ニ依ルモノハ該電報料金を相當スル金額ヲ納付スヘシ

●郵便爲替ノ差出人又ハ受取人ハ爲替金ノ居宅拂ヲ請求スルヲ得但差出人ハ爲替振出後ニ於テ又ハ小爲替受取人ノ爲ニ此請求ヲ爲スヲ得此請求ヲ爲シタル時ハ其料金をトシテ郵便爲替一口ニ付通常爲替又ハ電信爲替ハ金四錢小爲替ハ金二錢ヲ納付スヘシ



○郵便貯金

- 郵便貯金一人一度ノ預金ハ十錢以上五十圓以下トシ端數ハ厘位ニ限ル
- 郵便貯金一人預金總額ハ元利合セテ五百圓ニ超過スルコトヲ得ズ郵便貯金ノ金額此制限ニ超過シタル時ハ其旨ヲ貯金預ケ人ニ通知シ預ケ金額ヲ制限以內ニ引直サシム
- 右ノ通知ヲ發シタル後六十日以内ニ引直ヲ爲ササル時ハ貯金預ケ人ノ爲メ其貯金ヲ以テ公債證書ヲ購入ス但此場合ニ於テ購入スル公債證書ハ額面五十圓ヲ超過スルヲ得ズ
- 郵便貯金預ケ人ハ其貯金ノ幾分ヲ以テ公債證書ノ購入保管ヲ請求スルヲ得但此公債證書ハ額面五十圓又ハ五十圓ヲ追加シタルモノニ限ル
- 郵便貯金預ケ人ハ何時ニテモ郵便貯金ノ全額又ハ其幾分ノ拂戻ヲ請求スルヲ得但幾分拂戻ノ場合ニハ其未タ元金ニ加ヘサル利子ヲ請求スルヲ得ズ
- 貯金預ケ人ハ左ノ場合ニ於テ一箇月一回金二十圓迄ヲ限リ即時拂ノ取扱ヲ請求スルヲ得但此

- 場合ニ於テハ十錢以上ノ預ケ金ヲ殘シ置クベキモノトス
- 一 預ケ金ヲ爲シタル局所ニ其預入金額内幾部拂戻ヲ請求スル場合
  - 一 再度通帳ノ交付ヲ受ケタル局所ニ繰越金額内幾部拂戻ヲ請求スル場合
  - 一 相續シタル貯金ノ轉記通帳ノ交付ヲ受ケタル局所ニ其轉記金額ノ内幾部拂戻ヲ請求スル場合

- 郵便貯金ノ利子ハ壹ケ年元金ノ百分ノ四分八厘トス但明治二十三年十二月三十一日以後ノ貯金コシテ一人ノ預ケ金千圓ヲ超過シタルモノニ對スル利子ノ割合ハ一箇年金百分ノ三分六厘トス
- 郵便貯金ノ利子ハ三月三十一日ヲ期トシテ之ヲ計算シ元金ニ加ヘ四月ヨリ更ニ利子ヲ付ス
- 郵便貯金ハ之ヲ預リタル月及ヒ十錢未滿ノ端數ニハ利子ヲ付セズ又拂戻ノ時ハ拂戻證書發布ノ月ヨリ利子ヲ付セズ
- 貯金ノ利子ノ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生シタル時ハ之ヲ除棄ス

- 郵便貯金ハ其預ケ人、最後ニ貯金預入ヲ爲シタル日又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出シ其書換又ハ利子ノ記入ヲ受ケタル日又ハ拂戻ヲ求メタル日ヨリ十年間預入ヲ爲サズ拂戻ヲ求メス又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出サザルトキハ滿期ノ翌月ヨリ利子ヲ付セズ(若シ貯金預入ヲ爲シ拂戻ヲ求メ又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出セル時ハ其翌月ヨリ利子ヲ付ス)而シテ尙二十年間貯金ノ預入ヲ爲サズ拂戻ヲ請求セズ又ハ通帳ヲ遞信省ニ差出サザルトキハ其貯金ハ政府ノ所得ニ歸ス此場合ニ保管ニ係ル公債證書アルトキハ其公債證書モ亦政府ノ所得ニ歸ス

○電信規則摘要

- 電報ハ至急官報、至急局報、至急私報、官報、局報、私報ノ順序ニ依リ送達シ同一順位ノ電報ハ受付ノ順序ニ依リ傳送シ中繼及着信局所ニ於テハ受信ノ前後ニ依リ之ヲ傳送配達ス
- 通常電報料ハ別ニ規定アル場合ノ外左ノ如シ
  - 一 市區町村内ニテ發(和文 片假名十五字以内 金十五錢 受スル電報料 歐文 五語以内 金十五錢)

但和文ハ五字以内又歐文ハ一語ヲ加フル毎ニ金三錢ヲ増ス

一 前項以外ノ電報料(和文 片假名十五字以内 金二十錢 歐文 五語以内 金廿五錢)

但和文ハ五字以内又歐文ハ一語ヲ加フル毎ニ金五錢ヲ増ス

●特別電報ノ料金ハ左ノ如シ

- 一 至急電報料(官報 通常電報料ノ二倍 私報 通常電報料ノ三倍)
- 二 照校電報料 通常電報料ノ四分ノ一ヲ増ス
- 三 受信電報料(電報受信報知料ハ一通毎ニ和文ハ十五字歐文ハ五語ノ通信料金トシ郵便受信報知料ハ一通毎ニ金三錢トシ)
- 四 追尾電報料(追尾一回毎ニ新ニ電報ヲ差出シタルモノトシテ其料金ヲ計算ス)
- 五 再送電報料(再送電報ノ料金ハ新規發電ノ例ニ依ル)
- 六 同文電報料(同文電報ハ原信ヲ除キ其他一通毎ニ同文料トシテ和文ハ金十錢歐文ハ金十五錢ヲ課セラル)
- 七 外國郵送電報料(郵送料ハ一通ニ付金二十錢トス)
- 八 別使配達料(着信局所ヨリ三里以内ハ金廿錢トシ三里ヲ超ユル時ハ二里以内ニ金廿五錢ヲ増シ島嶼ニ宛テタル者ハ里程ニ拘ラズ廿錢トシ配達費之レニ越ユル時ハ實費額ニ依ル)
- 九 解船配達料(一通ニ付 金二十錢)

●電報ハ特ニ規定アル場合ノ外其字數又ハ語數ニ應シテ電報料ヲ課セラル但和文電報ニシテ字數



- ニ算入スベキ文字記載ナキモノト雖十五字以内ノ電報料ヲ課セラル
- 電報中左ニ記載スルモノハ字數又ハ語數ニ算入ス
  - 一 本文
  - 二 歐文電報ノ受信人居所氏名
  - 三 和文電報ニ連記シタル第二以下ノ受信人氏名並逐書シタル追尾電報又ハ再送電報ノ第二以下ノ居所
  - 四 傳送ヲ要スル發信人居所氏名
  - 五 指定事項
  - 六 右第二號乃至第四號ノ居所氏名ニ附屬スル語字
- 封筒ノ表面ニ「電報在中」ト記載スル時ハ無料郵便ニテ電報ノ差出ヲ爲スヲ得ベク又左記電報ノ配達ヲ受ケタル者ハ其配達ノ時ヨリ五分時間以内ニ依テ受ケタル時ハ其配達人ニ依リテ電報ヲ差出スヲ得ベシ但豫納金ヲ要スル電報ハ本項ノ手續ニ依ルヲ得ス
- 一 返信料前納電報

- 二 局待電報
- 三 別使配達電報
- 四 解船配達電報
- 左ニ掲クル電報ハ追尾電報トシテ發送スルヲ得ス
  - 一 別使料電報報知ヲ要スル電報
  - 二 受信電報
  - 三 別使料郵便報知ヲ要スル電報
  - 四 同文電報
  - 五 返信料前納電報
  - 六 外國郵送電報
- 同文電報ハ其指定ヲ削除シ一通ノ電報トスルニアラザレバ再送スルコトヲ得ズ
- 電話加入者ハ別ニ告示スル電信局所ニ豫メ届出テ其使用ニ屬スル電話機ニ依リ電報ヲ發受スルヲ得但電報一通毎ニ金三錢ヲ納ムルヲ要ス
- 電信局所ヨリ陸上一里以内及其局所所在ノ市區内ヲ電報直配達區域トス此區域内ニ配達スル電報ハ配達料ヲ要セズ此區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方ノ指定ナキモノハ無料ノ普通郵便ヲ

以テ送達ス

- 電報直配達區域外ニ居住スル者ハ電信局所ニ請求シテ別使、解船又ハ書留郵便ヲ以テ自己ニ宛テタル配達方ノ指定ナキ電報ノ配達ヲ受クルヲ得但之ヲ受ケタル時ハ其配達料ヲ納ムヘシ
- 受信人自己ノ居所氏名ニ零號ヲ常用セントシ又ハ電報ヲ受取ルベキ者若ハ電報ノ配達場所ヲ特定セントスル時ハ着信局所ニ請求シテ其零號又ハ配達先ノ登記ヲ受クルヲ得其登記料ハ一箇毎ニ年額金十二圓トス此料金ハ四月一日ヨリ九月三十日迄、十月一日ヨリ三月三十一日迄ノ兩期ニ分チ一期分毎ニ登記ヲ受クル電信局所ニ前納スヘシ
- 受信人電報ノ配達ヲ待タス着信局所ニ於テ之ヲ受取ラントスル時ハ其着信局所ニ請求シテ局渡證券ノ交付ヲ受クルヲ得此場合ニハ局渡料トシテ證券一箇毎ニ年額六圓ヲ四月一日ヨリ九月三十日迄、十月一日ヨリ三月三十一日迄ノ兩期ニ分チ一期分毎ニ前納スヘシ
- 發信人ハ既ニ差出シタル電報ニ關シ尋問、改正

- 又ハ停止ヲ要スル時ハ之ヲ發信局所ニ請求スルヲ得又受信人ハ既ニ受取リタル電報ニ關シ尋問ヲ要スル時ハ之ヲ着信局所ニ請求スルヲ得其請求期間ハ其ニ電報ヲ受取リタル時ヨリ七十二時間トス且之レニ要スル電報料ヲ豫納スヘシ
- 左ノ電報ニ關スル料金ハ其納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ還付ス
  - 一 電信局所ノ過失ニ因リ受信人ニ到達セサルカ又ハ郵便ニテ到達シ得ベキ時ヨリ遅レテ到達シタル電報ノ料金但シ第九十七條ニ依リ送達シタルモノヲ除ク
  - 二 電信局所ノ過失ニ因リ照校電報ニ誤謬ヲ生シ且ツ用辨ヲ闕キタルモノノ料金但シ尋問ノ電報ニ依リ校正シ得タルモノヲ除ク
  - 三 電信局所ノ過失ニ依リ徵收シタル過納及誤納ノ電報料金
  - 四 發信人ノ請求ニ依リ配達前停止シタル電報ニ對シ前納シタル返信料、受信電報料及配達料



- 五 電報直配達區域内ニテ配達シタル電報又ハ別使、解船若ハ書留郵便ヲ以テ配達ヲ爲ササリシ電報ニ對シ發行人ノ前納シタル配達料
- 六 返信料前納證書ヲ以テ發送シタル電報ノ料金前納額ニ滿タサルトキハ其ノ殘餘ノ料金
- 七 第一百四條ノ場合ニ於テ和文十五字歐文五語ノ通常電報料ヲ控除シタル前納ノ返信料金
- 八 返信料前納電報ニ對シ返信料前納證書ヲ發行セザリシトキ又ハ返信料前納電報ヲ配達シ能ハスシテ發行シタル證書ノ使用期間ヲ過キタルトキ若クハ交付シタル返信料前納證書ヲ其ノ使用期間ニ使用セザリシトキハ前納シタル返信料金
- 九 發信局所ニ於テ傳送前ニ返還シタル電報ノ料金

- 一 電報閱覽料 電報一通ニ付 金三錢
  - 二 正寫料 (和文 二百字以内毎ニ 金五錢、歐文 五十語以内毎ニ 金十錢)
- 外國郵便
- 一 信書 信書ハ寸尺重量共ニ制限ナシ
  - 二 郵便證書 郵便證書ハ政府發行ノ萬國郵便聯合證書、全往復證書、成規ニ據リ作成セル私製證書ヲ用ユヘシ
  - 三 各種印刷物 各種印刷物普通ノ性質ヲ具ヘ現

- 四 業務用書類 業務用書類ハ現ニ相互間ニ往復スル音信文ノ性質ヲ具ヘサル全部若クハ一部ヲ筆書セシ各種ノ文書ニシテ檢査シ易キ様包裝スヘシ但寸尺重量ハ印刷物ト同ジ
- 五 商品見本 商品見本ノ寸尺ハ長サ三十「センチメートル」(曲尺六寸六分)厚サ十「センチメートル」(曲尺三寸三分)及卷物體ノモノハ長サ三十「センチメートル」(曲尺九寸九分)直徑十「センチメートル」(曲尺二尺四寸七分五厘)直徑二十「センチメートル」(曲尺二尺四寸七分五厘)又重量ハ二千「グラム」(五百三十三分強)ヲ超過スルヲ得ズ

- 六 萬國郵便條約施行細則第十七條ニ據リ、硝子器、水液、脂肪、粉末物、生活密蜂ニ特定ノ包裝ヲ爲ストキハ何レノ國ヘモ發送スルコトヲ得
- 七 未納、不足稅 未納料若クハ不足料ノ郵便物ハ受取人ヨリ未納若クハ不足額ノ二倍ヲ徵收スヘシ
- 八 郵送禁止物品 公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞乱スヘキ文書、圖書其他ノ物件、其品質郵便吏員ニ危害ヲ贖シ若クハ郵便物ヲ汚穢損害スヘキ商品見本及其他ノ物件、爆發性、發火性、危險性ノ物品、生死ノ動物、蟲類、流通正貨、關稅ヲ課スヘキ物品、金銀寶石珠玉其他貴重品但シ關係國ノ法制上封入若クハ發送ヲ許サル場合ニ限ル
- 九 郵便料金及宛國名



| 國名及地名  | 郵  |    | 便   |    | 料  |       | 手  |    |
|--|----|----|-----|----|----|-------|----|----|
|  | 信書 | 郵便 | 印刷物 | 商品 | 見本 | 業務用書類 | 留書 | 到  |
| 一本邦郵便局所在地(釜山、元山、仁川、木浦、鎮南浦、馬山、龍山、海、芝罘、天津、蘇州、杭州、漢口、上海)   | 四  | 八  | 二   | 四  | 二  | 一〇    | 二  | 一〇 |
| 二郵便聯合諸國(青島、濟南、煙台、濰縣、龍口、威海衛、大連、旅順、營口、安東、奉天、長春、哈爾濱、滿洲里、海拉爾、齊齊哈爾、佳木斯、牡丹江、通遼、四平街、吉林、延吉、琿春、和龍、敦化、蛟河、磐石、舒蘭、德惠、九台、農安、梨樹、懷德、雙陽、伊通、德惠、九台、農安、梨樹、懷德、雙陽、伊通、德惠、九台、農安、梨樹、懷德、雙陽、伊通) | 一〇 | 四  | 二   | 四  | 二  | 一〇    | 二  | 一〇 |
| 三郵便聯合外國(倫敦、巴黎、里昂、馬尼拉、宿務、新加坡、仰光、加爾各答、孟買、巴達維亞、泗水、三寶壟、棉蘭、巨港、望加錫、馬辰、坤甸、安汶、萬隆、日惹、梭羅、三寶壟、棉蘭、巨港、望加錫、馬辰、坤甸、安汶、萬隆、日惹、梭羅)  | 四  | 八  | 二   | 四  | 二  | 一〇    | 二  | 一〇 |
| 內國郵便規則及稅率ニ據ル   |    |    |     |    |    |       |    |    |

(備考) 重量一「グラムム」ハ二分六厘六毛六  
 七、十五「グラムム」ハ四匁〇〇〇  
 五、五十「グラムム」ハ十三匁三分三厘三毛五〇

十 聯合國名 獨逸及獨逸保護國、中央亞米利加大共和國、亞米利加合衆國、亞然的音共和國、埃地利、洪甸利、白耳義、ボリビエ、ボスニア、ルビゴウキス、伯西兒、勃爾瓦利、智利、古

倫比亞共和國、公果獨立國、古西多利加共和國、丁抹及丁抹殖民地、ドミンカ共和國、埃及、エクアドール、西班牙及西班牙殖民地、加那太、南亞弗利加大不列顛殖民地、佛蘭西、佛蘭西殖民地、大不列顛及大不列顛殖民地、英領印度、濠太刺利大不列顛殖民地、希臘、ガチマラ、ハイチ共和國、布哇共和國、伊太利、リベリア共和國、歷山堡、墨西哥、滿得涅各羅、那威、オランジュ自由國、パラゲー、和蘭、和蘭殖民地、白露、波斯、葡萄牙及葡萄牙殖民地、羅馬尼、露西亞、塞爾維、暹羅王國、南亞弗利加共和國、瑞典、瑞西、突尼斯攝政國、土耳其、ウルケー、ベチズニラ合衆國

十一 別配達便 通常又ハ書留別配達郵便物ノ差出人ハ通常郵便料ノ外金十二錢ノ手数料ヲ納付スヘシ貴重ナル別配達業務施行ノ國名左ノ如シ  
 埃地利、洪甸利、白耳義、智利、獨逸、大不列顛、伊太利、歷山堡、滿得涅各羅、和蘭、

葡萄牙、塞爾維、瑞西、英國殖民地聖ルシー、  
 十二 留置郵便 留置郵便物ノ留置期間ハ六十日トス、艦船乘組人、旅行者等宛ニシテ交付ノ見込アルモノハ期間外尙三十日以内留置クコトアルヘシ  
 十三 書留郵便 書留郵便ハ郵便物ノ種類ニ拘ラス書留トシテ發送シ得書留郵便物ハ其差出人ヨリ通常郵便料及書留手数料ヲ徴收ス  
 十四 到達證 書留郵便物ノ差出人ハ手数料金五錢ヲ納付スルトキハ到達證ヲ請求スルコトヲ得  
 十五 代金引換書留郵便 代金引換書留郵便物ハ萬國聯合郵便爲替ヲ取扱フ局ニ限リ之ヲ取扱ヒ本邦宛取立代金制限ハ金四百圓トス本邦ト代金引換ヲ交換ズル國名左ノ如シ  
 國名 上記諸國宛代金引換書留郵便物ニ對スル代金ノ示スヘキ貨幣 上記諸國ニ於テ取扱局  
 獨逸 八百「マルク」(Mark) 及 Pfennig 金貨内ハ五マルク以上ノ郵便物  
 埃地利 一千「クローネ」(Kronen) 及 Devisen 同 前  
 白耳義 一千「フランク」(Franc) 及 Contine 同 前







報ハ此限ニ非ス而シテ朝鮮發着和文電報ハ片假名七字ヲ以テ一語トシ受信人ノ住所氏名ヲ本文字數ニ算入セス然シテ本文ナキモノハ之ヲ取扱ハス

○電話交換規則摘要

- (一)電話交換ニ加入セムトスル者ハ加入申込書ヲ電話交換局ニ差出スベシ、他人ノ所有家屋ニ電話機ヲ設置セムトスルキハ其家屋所有者ノ承諾書ヲ加入申込書ニ添附スベシ
- (二)加入申込者又ハ加入者其使用電話機ニ依リ長距離電話通信ヲ爲サントスルキハ其申込書ヲ電話交換局ニ差出スベシ
- (三)電話機設置ノ場所ヲ變更スルニハ其請求書ノ交換局ニ差出スヘシ、他人ノ所有家屋ニ設置スルニハ家屋所有者ノ承諾書ヲ要ス
- (四)電話機及附屬品ヲ他ニ移轉セントスルトキハ其請求書ヲ交換局ニ出スヘシ但シ他人ノ所有家屋ニ移轉スルニハ其承諾書ヲ要ス

加入申込書

私儀電話交換規則ニ遵ヒ何地電話交換ニ加入致度仍テ左ニ電話機設置ノ場所ヲ記載シ(別紙承諾書相添ヘ)此段申込候也

住所職業

年月日

何 某 印

何電話交換局御中

一 電話機設置場所 何市(郡區)何町(村)何番地何々家屋  
但家屋所有者ハ何某ニ有之候

承諾書

今般貴殿ニ於テ何地電話交換ニ加入ノ爲メ私所有ノ何市(郡區)何町(村)何番地何々家屋へ電話機設置ノ趣ハ私ニ於テ故障無之候也

住所

年月日

何 某 殿

何 某 殿

一 加入登記料及電話使用料

| 地名  | 加入登記料 | 電話使用料年額 |
|-----|-------|---------|
| 名古屋 | 金拾圓   | 金五拾四圓   |

二 附加使用料

|             |    |                  |      |
|-------------|----|------------------|------|
| 一 特別加入      | 年額 | 特別加入區域内ノ丁種一町マテ毎ニ | 金貳圓  |
| 一 長距離電話     | 同  | 一個毎ニ             | 金六圓  |
| 一 卓上電話機     | 同  | 同                | 金六圓  |
| 一 增設(普通電話機) | 同  | 同                | 金拾貳圓 |
| 一 機械(卓上電話機) | 同  | 同                | 金拾八圓 |
| 一 電話料及電話呼出料 | 同  | 同                | 金參圓  |

| 地 域 | 一 通話時ノ電話料 | 一 回ノ電話呼出料 |
|-----|-----------|-----------|
|-----|-----------|-----------|

|           |       |       |
|-----------|-------|-------|
| 同一電話加入區域内 | 金拾五錢  | 金拾錢   |
| 東京 名古屋間   | 金壹圓   | 金貳拾五錢 |
| 橫濱 同      | 金九拾五錢 | 金貳拾錢  |
| 京都 同      | 金四拾五錢 | 金貳拾錢  |
| 大阪 同      | 金四拾錢  | 金貳拾錢  |
| 大坂 同      | 金五拾五錢 | 金貳拾錢  |
| 堺 同       | 金六拾錢  | 金貳拾錢  |
| 神戸 同      | 金六拾五錢 | 金貳拾錢  |
| 桑名 同      | 金貳拾五錢 | 金拾五錢  |
| 四日市 同     | 金貳拾五錢 | 金拾五錢  |

機械設置場所變更請求書

一 電話加入申込順番(電話番號)  
私儀加入申込書ニ依リ御設置可相成(右電話加入ノ)電話機ヲ左記ノ場所ニ變更(移轉)致度此段及請求候也

住所職業

年月日

何 某 印

何電話交換局御中

一 機械設置場所 何市(郡區)何町(村)何番地何々家屋又ハ何所  
但家屋所有者ハ何某ニ有之候

長距離電話申込書

一 電話加入申込順番(電話番號) 加入申込書ト同時ニ差出ストキハ電話機設置ノ場所ヲ記載スルヲ要ス  
私儀加入申込書ニ依リ御設置可相成(右電話加入ノ)電話機ニ依リ長距離電話ノ通信致度此段申込候也

住所職業

年月日

何 某 印

何電話交換局御中



- 四 機械移轉料
- 一 同一邸宅構内ノ移轉 金貳圓
  - 一 同一邸宅構内ニ於テ電鈴及附屬品ノミ移轉 金壹圓
  - 一 他ノ邸宅構内ヘ移轉 金拾五圓
- 五 電話使用料及附加使用料ハ年額ヲ四分シ毎期

- 初月一日ヨリ十日マデニ電話交換局ニ納附ス
- 第一期 四月一日ヨリ六月三十日マデ
  - 第二期 七月一日ヨリ九月三十日マデ
  - 第三期 十月一日ヨリ十二月三十一日マデ
  - 第四期 一月一日ヨリ三月三十一日マデ

◎雜事便覽

○本邦經緯度

| 土 | 地 | 經度 |    | 緯度 | 點數 |
|---|---|----|----|----|----|
|   |   | 名  | 度  |    |    |
| 全 | 國 | 極東 | 極西 | 極北 | 極南 |
| 本 | 州 | 極東 | 極西 | 極北 | 極南 |
| 四 | 國 | 極東 | 極西 | 極北 | 極南 |
| 九 | 州 | 極東 | 極西 | 極北 | 極南 |
| 琉 | 球 | 極東 | 極西 | 極北 | 極南 |

○本邦周圍及面積

| 土 | 地 | 別島數 | 本  |    | 合  | 面  |    | 合  | 百分比 |
|---|---|-----|----|----|----|----|----|----|-----|
|   |   |     | 地  | 島  |    | 地  | 島  |    |     |
| 北 | 海 | 道   | 本  | 地  | 島  | 本  | 地  | 島  | 計   |
| 千 | 島 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |
| 北 | 島 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |
| 九 | 島 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |
| 四 | 島 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |
| 木 | 島 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |
| 總 | 計 | 島   | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 極北 | 極南 | 北緯  |



○著名高山

|    |          |        |         |          |       |     |             |       |
|----|----------|--------|---------|----------|-------|-----|-------------|-------|
| 新高 | 山(蘆海)    | 二二八五〇  | 駒ヶ      | 嶽(甲斐)    | 九、九〇五 | 地藏ヶ | 嶽(甲斐)       | 八、八五七 |
| 富士 | 山(駿河、甲斐) | 一二三三〇  | 大蓮華     | 山(越中)    | 九、八七一 | 國師ヶ | 嶽(甲斐、信濃、武蔵) | 八、五五三 |
| 四耳 | 山(蘆海)    | 一一三〇〇  | 蓮華      | 山(信濃、越中) | 九、六八三 | 峰   | 山(甲斐)       | 八、五〇九 |
| 分水 | 山(全)     | 一〇、九七〇 | 杖       | 嶽(信濃)    | 九、二四〇 | 科   | 山(信濃)       | 八、三四九 |
| 分水 | 山(全)     | 一〇、五〇〇 | 八ヶ      | 嶽(甲斐)    | 九、一六  | 永   | 山(駿河)       | 八、三三三 |
| 草  | 山(全)     | 一〇、四〇〇 | 鞍ヶ      | 嶽(飛騨、信濃) | 九、〇九  | 間   | 山(信濃)       | 八、三三〇 |
| 大島 | 山(全)     | 一〇、〇〇〇 | 御       | 嶽(信濃)    | 九、〇八  | 凸   | 嶽(蘆海)       | 八、二〇〇 |
| 内島 | 山(全)     | 一〇、二八〇 | 白       | 山(加賀)    | 八、九四七 | 體   | 山(下野)       | 八、一九六 |
| 赤石 | 山(信濃)    | 一〇、二二〇 | 孤       | 嶽(蘆海)    | 八、九二〇 | 雞   | 山(蘆海)       | 八、一〇〇 |
| 白根 | 山(甲斐)    | 一〇、二二〇 | 四阿(アツマ) | 山(信濃)    | 八、九〇七 | 鞍   | 山(全)        | 八、〇〇〇 |

○著名大河

|     |             |        |     |          |       |    |             |        |
|-----|-------------|--------|-----|----------|-------|----|-------------|--------|
| 石狩  | 川(石狩)       | 一六七〇〇  | 波   | 川(土佐)    | 三、七〇三 | 富  | 川(信濃、甲斐、駿河) | 二九、一〇〇 |
| 北上  | 川(陸中、陸前)    | 七六、〇〇九 | 吉野  | 川(土佐、阿波) | 三、七〇一 | 後  | 川(豐後、筑後)    | 二七、二九  |
| 利根  | 川(上野、武蔵)    | 七二、一一一 | 新宮  | 川(大和、紀伊) | 三、七〇二 | 米  | 川(陸中)       | 二六、二二  |
| 信濃  | 川(信濃、越後)    | 六三、〇〇二 | 阿武隈 | 川(羽後)    | 三、五三三 | 桂  | 川(山城、丹後)    | 二六、〇〇  |
| 天龍  | 川(信濃、遠江)    | 五五、〇〇七 | 阿武隈 | 川(岩代、磐城) | 三、五二八 | 大井 | 川(駿河)       | 二五、二八  |
| 木曾  | 川(信濃、飛騨、美濃) | 五五、〇〇〇 | 荒   | 川(大和、紀伊) | 三、三三三 | 井  | 川(美作、備前)    | 二五、〇〇  |
| 最上  | 川(羽前、羽後)    | 五四、〇〇〇 | 荒   | 川(武蔵)    | 三、三二八 | 淀  | 川(美作、備前)    | 二五、〇〇  |
| 阿賀野 | 川(岩代、越後)    | 四五、二〇〇 | 日高  | 川(紀伊)    | 三、一〇八 | 大淀 | 川(日向)       | 二五、〇〇  |

○著名湖沼

|     |       |       |          |       |       |   |       |       |
|-----|-------|-------|----------|-------|-------|---|-------|-------|
| 琵琶湖 | 湖(近江) | 七、三三二 | 中央道(シムチ) | 湖(陸奥) | 一、三〇二 | 河 | 沼(加賀) | 六、二〇〇 |
| 琵琶湖 | 湖(常陸) | 三、六〇〇 | 印        | 沼(下總) | 一、二〇〇 | 北 | 沼(陸奥) | 六、一八  |
| 猪苗代 | 湖(岩代) | 一、六二二 | 十輪田      | 湖(陸奥) | 一、〇〇〇 | 三 | 沼(陸奥) | 六、〇六  |
| 中   | 海(出雲) | 一、六一一 | 中禰寺      | 湖(下野) | 八、〇〇〇 | 品 | 沼(常陸) | 五、二四  |
| 八   | 沼(羽後) | 一、五〇〇 | 調        | 沼(常陸) | 七、〇〇〇 | 井 | 沼(陸前) | 五、二四  |
| 小河原 | 沼(陸奥) | 一、三二四 | 豐架(タカホ)  | 沼(陸奥) | 六、二二三 | 北 | 沼(越前) | 五、二二  |

○各地方廳管轄國郡區市名表

|      |   |  |                   |
|------|---|--|-------------------|
| 東京府  | 武蔵の内(東京市、荏原、豊多摩、北多摩、南多摩、南足立、南葛飾、西多摩、北多摩、南多摩)      | 伊豆の内(大島、利島、新島、神津島、三宅島、御倉島、八丈島)   | 小笠原島              |
| 京都府  | 山城(京都市、愛宕、葛野、紀伊、乙訓、宇治、久世、綴喜、相樂)                   | 丹波の内(南桑田、北桑田、船井、何鹿、天田)   | 丹後(加佐、與謝、中、竹野、熊野) |
| 大阪府  | 攝津の内(大坂市、西成、東成、三島、豊能、和泉、南河内、中河内、北河内、堺市、泉南、泉北)     |  |                   |
| 神奈川縣 | 武蔵の内(横浜市、久良岐、橋本、都筑、相模(三浦、鎌倉、高座、足柄上、足柄下、愛甲、津久井、中)) | 攝津の内(神戸市、武庫、川邊、有馬、姫路市、明石、美濃、加東、加西、加古、多可、印南、飾磨、神崎、揖保、赤穂、佐用、宍粟、神崎、揖保、赤穂) | 播磨(但馬、丹波、淡路)      |
| 兵庫縣  | 播磨(但馬、丹波、淡路)                                      | 丹波の内(多紀、氷上、津名、三原)  | 淡路(津名、三原)         |
| 長崎縣  | 肥前(肥前市、西彼杵、東彼杵、北高来、南高来、北松浦、南松浦、壱岐、島原、下縣)          |  |                   |



|   |  |  |   |  |   |   |  |   |                            |  |  |   |   |  |   |  |   |  |   |   |   |  |   |  |   |                                 |
|---|--|--|---|--|---|---|--|---|----------------------------|--|--|---|---|--|---|--|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---------------------------------|
| <p><b>新瀉縣</b> 越後 船沼、刈羽、東頸城、中頸城、西頸城、南頸城、岩船、佐渡、</p> | <p><b>埼玉縣</b> 武蔵の内 北足立、入間、比企、秩父、兒玉、大里、北埼玉、南埼玉、北葛飾、</p> | <p><b>千葉縣</b> 安房 安房、長生、山武、夷隅、市原、下總の内 千葉、東葛飾、印旛、香取、匝路、海上、</p> | <p><b>茨城縣</b> 常陸 水戸市、東茨城、西茨城、那珂、久慈、多賀、鹿島、行方、新治、筑波、稻敷、筑波、下總の内 結城、猿島、北相馬、</p> | <p><b>群馬縣</b> 上野 群馬、多野、北甘樂、碓氷、吾妻、利根、山田、新田、邑樂、佐波、</p> | <p><b>栃木縣</b> 下野 足利、安蘇、上都賀、下都賀、河内、芳賀、塩谷、那須、</p> | <p><b>奈良縣</b> 大和 添上、生駒、山邊、南葛城、北葛城、宇陀、磯城、高市、宇智、吉野、</p> | <p><b>三重縣</b> 伊賀 阿山、名賀、伊勢 津市、桑名、員辨、三重、鈴鹿、河藝、安志、志摩、志摩、飯南、多氣、度會、</p> | <p><b>愛知縣</b> 尾張 名古屋、愛知、東春日井、西春日井、丹羽、羽栗、中島、海東、海西、知多、設楽、北設楽、寶飯、瀧美、八名、南</p> | <p><b>岩手縣</b> 陸奥の内 氣仙、</p> | <p><b>福島縣</b> 磐城の内 東白川、西白川、石川、田村、石城、相馬、雙葉、</p> | <p><b>宮城縣</b> 陸奥の内 仙臺市、柴田、名取、宮城、黒川、加美、牡鹿、本吉、</p> | <p><b>長野縣</b> 信濃 南佐久、北佐久、小縣、諏訪、上伊那、下伊那、西築摩、東築摩、南安曇、北安曇、更級、地科、上高井、下高井、上水内、下水内、</p> | <p><b>岐阜縣</b> 美濃 岐阜市、稲葉、羽島、海津、養老、揖斐、不破、安八、本巣、山縣、武儀、郡上、加茂、可兒、土岐、惠那、大野、益田、吉城、</p> | <p><b>滋賀縣</b> 近江 滋賀、栗太、野洲、甲賀、蒲生、神崎、愛知、犬上、坂田、東淺井、伊香、高島、</p> | <p><b>山梨縣</b> 甲斐 甲府市、東山梨、西山梨、東八代、西八代、南巨摩、中巨摩、北巨摩、南都留、北都留、</p> | <p><b>静岡縣</b> 伊豆の内 賀茂、田方、静岡市、駿東、富士、庵原、安倍、志太、藤原、小笠、周智、磐田、濱名、引佐、</p> | <p><b>岡山縣</b> 備前 岡山市、御野、津高、赤坂、一宮、和氣、邑久、上道、兒島、</p> | <p><b>廣島縣</b> 備前 御調、世羅、深安、沼隈、廣品、神石、甲奴、雙三、比賣、</p> | <p><b>山口縣</b> 周防 大島、玖阿、熊毛、都濃、佐波、吉敷、赤間關市、厚狭、豐浦、美禰、大津、阿武、</p> | <p><b>和歌山縣</b> 紀伊の内 和歌山市、海草、那賀、伊都、有田、日高、四半、東牟婁、</p> | <p><b>徳島縣</b> 阿波 徳島市、名東、勝浦、那賀、海部、名西、板野、河波、麻植、美島、三好、</p> | <p><b>香川縣</b> 讃岐 高松市、香川、大川、木田、綾歌、仲多度、三豊、</p> | <p><b>愛媛縣</b> 伊予 松山市、宇摩、新居、越智、周桑、温泉、北宇和、上浮穴、喜多、東宇和、西宇和、香美、安藝、</p> | <p><b>高知縣</b> 土佐 高知市、土佐、幡多、高岡、吾川、長岡、香美、安藝、</p> | <p><b>福岡縣</b> 筑前 福岡市、糟屋、宗像、遠賀、鞍手、筑紫、久留米市、浮羽、八女、三井、三浦、山門、三池、</p> | <p><b>豊前</b> 内 企救、田川、京那、姫上、</p> |
|---|--|--|---|--|---|---|--|---|----------------------------|--|--|---|---|--|---|--|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---------------------------------|

|  |  |   |                                |   |  |                                    |  |   |   |  |   |   |   |  |   |  |   |                                 |
|--|--|---|--------------------------------|---|--|------------------------------------|--|---|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---------------------------------|
| <p><b>青森縣</b> 陸奥の内 弘前市、東津輕、西津輕、中津輕、南津輕、北津輕、上北、下北、三戸、</p> | <p><b>山形縣</b> 羽前 山形市、米澤市、南村山、東村山、西村山、北村山、最上、東田川、西田川、西置賜、東置賜、南置賜、</p> | <p><b>秋田縣</b> 羽後の内 秋田市、南秋田、北秋田、山本、河邊、由利、仙北、平鹿、雄勝、</p> | <p><b>福井縣</b> 若狭 三方、速岐、大飯、</p> | <p><b>石川縣</b> 加賀 金澤市、江沼、能美、石川、河北、登羽、鹿島、鳳至、珠洲、</p> | <p><b>富山縣</b> 越前 富山市、高岡市、中新川、下新川、婦負、射水、東礪波、西礪波、水見、上新川、</p> | <p><b>鳥取縣</b> 因幡 鳥取市、岩美、氣高、八頭、</p> | <p><b>島根縣</b> 出雲 松江市、八束、鹿野、仁多、大原、綾川、</p> | <p><b>美作</b> 美作 真島、大庭、西四條、西北條、東南條、東北條、勝北、吉野、英田、勝南、久米、南條、久米北條、</p> | <p><b>岡山縣</b> 備前 岡山市、御野、津高、赤坂、一宮、和氣、邑久、上道、兒島、</p> | <p><b>廣島縣</b> 備前 御調、世羅、深安、沼隈、廣品、神石、甲奴、雙三、比賣、</p> | <p><b>山口縣</b> 周防 大島、玖阿、熊毛、都濃、佐波、吉敷、赤間關市、厚狭、豐浦、美禰、大津、阿武、</p> | <p><b>和歌山縣</b> 紀伊の内 和歌山市、海草、那賀、伊都、有田、日高、四半、東牟婁、</p> | <p><b>徳島縣</b> 阿波 徳島市、名東、勝浦、那賀、海部、名西、板野、河波、麻植、美島、三好、</p> | <p><b>香川縣</b> 讃岐 高松市、香川、大川、木田、綾歌、仲多度、三豊、</p> | <p><b>愛媛縣</b> 伊予 松山市、宇摩、新居、越智、周桑、温泉、北宇和、上浮穴、喜多、東宇和、西宇和、香美、安藝、</p> | <p><b>高知縣</b> 土佐 高知市、土佐、幡多、高岡、吾川、長岡、香美、安藝、</p> | <p><b>福岡縣</b> 筑前 福岡市、糟屋、宗像、遠賀、鞍手、筑紫、久留米市、浮羽、八女、三井、三浦、山門、三池、</p> | <p><b>豊前</b> 内 企救、田川、京那、姫上、</p> |
|--|--|---|--------------------------------|---|--|------------------------------------|--|---|---|--|---|---|---|--|---|--|---|---------------------------------|



|      |   |
|------|---|
| 大分縣  | 豐前の内 下毛、宇佐、<br>〔西國東、東國東、速見、大分、北海部、<br>南海部、大野、直入、玖珠、日田〕  |
| 佐賀縣  | 肥前の内 佐賀市、佐賀、神崎、三養期、小城、東<br>〔松浦、西松浦、杵島、藤津〕   |
| 熊本縣  | 肥後 熊本市、鹿北、宇土、玉名、鹿本、天池、<br>〔阿蘇、上益城、下益城、八代、荻北、球<br>磨、天草〕  |
| 宮崎縣  | 日向 宮崎、南那珂、北諸縣、西諸縣、東諸縣、<br>〔兒湯、東臼杵、西臼杵〕  |
| 鹿兒島縣 | 薩摩 給良、嶺嶽、肝圓、大島、鹿毛、<br>鹿兒島市、鹿兒島、日置、川邊、掛指、伊佐、<br>島尻、中頭、國頭、宮古、八重山、   |
| 沖繩縣  | 島 〔西諸縣、龜田、上嶺、茅部、松前、檜山、<br>〔爾志〕<br>志 久遠、典尻、大樽、瀨棚、嘉部、島牧、<br>〔歌登、櫻谷、小樽、高島、忍路、余市、<br>古平、美國、積丹、古宇、岩内、<br>狩 〔札幌區、札幌、空知、夕張、樺戸、雨龍、<br>上川、石狩、厚山、釧路、<br>〔増毛、留萌、苦前、天鹽、中川、上川、<br>見 〔宗谷、枝幸、尻利、禮文、網走、常呂、<br>斜里、紋別、<br>〔山越、室蘭、虻田、有珠、網走、勇拂、<br>振 〔白老、千歳、<br>〔沙流、新冠、神内、浦河、糠部、磯谷、<br>高 〔三石、 |
| 北海道廳 | 日 〔札幌區、札幌、空知、夕張、樺戸、雨龍、<br>上川、石狩、厚山、釧路、<br>〔増毛、留萌、苦前、天鹽、中川、上川、<br>見 〔宗谷、枝幸、尻利、禮文、網走、常呂、<br>斜里、紋別、<br>〔山越、室蘭、虻田、有珠、網走、勇拂、<br>振 〔白老、千歳、<br>〔沙流、新冠、神内、浦河、糠部、磯谷、<br>高 〔三石、   |

○各市區人口表

|      |      |          |      |      |        |
|------|------|----------|------|------|--------|
| 東京府  | 東京市  | 一、四三、五六一 | 岡山縣  | 岡山市  | 五七、一七〇 |
| 大坂府  | 大坂市  | 八二、八五五   | 熊本縣  | 熊本市  | 五五、五九九 |
| 京都府  | 京都市  | 三三、四六一   | 鹿兒島縣 | 鹿兒島市 | 三三、九五六 |
| 愛知縣  | 名古屋市 | 三九、七七一   | 新潟縣  | 新潟市  | 三三、三九四 |
| 兵庫縣  | 神戶市  | 三三、四一九   | 大坂府  | 堺市   | 四九、八八一 |
| 神奈川縣 | 横浜市  | 一九、三六二   | 福井縣  | 福井市  | 四九、九一九 |
| 廣島縣  | 廣島市  | 二四、三三二   | 山口縣  | 赤間關市 | 四、三九九  |
| 長崎縣  | 長崎市  | 一〇、五九三   | 靜岡縣  | 靜岡市  | 五九、九九四 |
| 石川縣  | 金澤市  | 八、三三〇    | 山梨縣  | 甲府市  | 五、六三三  |
| 宮城縣  | 仙台市  | 五、三三六    | 高知縣  | 高知市  | 五、五五八  |
| 福岡縣  | 福岡市  | 三三、三三三   | 愛媛縣  | 松山市  | 三、七六八  |
| 和歌山縣 | 和歌山市 | 三、〇〇〇    | 香川縣  | 高松市  | 三、四二六  |
| 德島縣  | 德島市  | 六、六六八    | 島根縣  | 松江市  | 三、二二六  |
| 富山縣  | 富山市  | 五、〇八九    | 青森縣  | 弘前市  | 三、〇八一  |

○人口壹萬以上名邑

|      |        |        |        |        |        |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 東京府  | 品川町    | 一八、三九九 | 東京府    | 王子村    | 一〇、六四四 |
| 大森町  | 一、〇九一  | 京都府    | 伏見町    | 三三、〇三三 |        |
| 南千住町 | 三、七三二  | 神奈川縣   | 戸太町    | 三〇、〇〇九 |        |
| 八王子町 | 二二、〇〇〇 | 神奈川縣   | 神奈川町   | 一八、八六三 |        |
| 千住町  | 一五、九九九 | 横須賀町   | 一八、三〇三 |        |        |

各市區人口表 人口一萬以上名邑

臺灣

|     |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 澎湖島 | 臺南 | 臺中 | 臺北 | 基隆 | 新竹 | 苗栗 | 桃園 | 臺南 | 嘉義 | 屏東 | 高雄 | 基隆 | 新竹 | 苗栗 | 桃園 | 臺南 | 嘉義 | 屏東 | 高雄 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|

○東京府管轄伊豆國郡市なし依て島名を掲ぐ小笠原島も之に準ず









警備隊

| 部   |     | 西   |     |     |     | 部   |     |     |     | 中   |     |     |     |     |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| (倉) |     | (小) |     |     |     | (阪) |     |     |     | (大) |     |     |     |     |     |
| 第十二 | 第十一 | 第六  | 第五  | 第十  | 第九  | 第四  | 第三  | 第十二 | 第十一 | 第六  | 第五  | 第十  | 第九  | 第四  | 第三  |
| 小倉  | 丸龜  | 熊本  | 廣島  | 姫路  | 金澤  | 大阪  | 名古屋 | 小倉  | 丸龜  | 熊本  | 廣島  | 姫路  | 金澤  | 大阪  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿二 | 第廿三 | 第廿一 | 第廿九 | 第廿八 | 第廿七 | 第廿五 | 第廿四 | 第廿二 | 第廿三 | 第廿一 | 第廿九 | 第廿八 | 第廿七 | 第廿五 |
| 久留米 | 小倉  | 松山  | 丸龜  | 大村  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 |
| 久留米 | 小倉  | 高松  | 丸龜  | 大鹿  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 |
| 久留米 | 小倉  | 高松  | 丸龜  | 大鹿  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 |
| 久留米 | 小倉  | 高松  | 丸龜  | 大鹿  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 |
| 久留米 | 小倉  | 高松  | 丸龜  | 大鹿  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |
| 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 | 第廿四 |
| 久留米 | 小倉  | 高松  | 丸龜  | 大鹿  | 熊本  | 山口  | 廣島  | 福知山 | 姫路  | 教養  | 金澤  | 伏見  | 大坂  | 豐橋  | 名古屋 |

近衛師團

| 部   |     | 東   |     |     |     | 部  |    | 京   |     | 東  |    | 司令  |     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|----|----|-----|-----|
| (京) |     | (東) |     |     |     | 師  |    | 團   |     | 司  |    | 令   |     |
| 第八  | 第七  | 第二  | 第一  | 第十二 | 第十一 | 第六 | 第五 | 第十二 | 第十一 | 第六 | 第五 | 第十二 | 第十一 |
| 弘前  | 札幌  | 仙臺  | 東京  | 青森  | 山形  | 秋田 | 岩手 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |
| 第廿六 | 第廿四 | 第廿三 | 第廿二 | 第廿一 | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  | 第廿 | 第廿 | 第廿  | 第廿  |
| 秋田  | 弘前  | 新發田 | 仙臺  | 東京  | 東京  | 山形 | 秋田 | 山形  | 秋田  | 岩手 | 山形 | 秋田  | 岩手  |



| 警備隊 |      | 司令部 |    | 兵種 |    | 所在 |   | 管轄   |      |
|-----|------|-----|----|----|----|----|---|------|------|
| 司   | 小笠原島 | 砲兵  | 步兵 | 砲兵 | 步兵 | 原  | 原 | 第一師團 | 第一師團 |
| 佐   | 馬渡   | 砲兵  | 步兵 | 砲兵 | 步兵 | 原  | 原 | 第二師團 | 第二師團 |
| 對   | 馬    | 砲兵  | 步兵 | 砲兵 | 步兵 | 原  | 原 | 第六師團 | 第六師團 |
| 嚴   | 原    | 砲兵  | 步兵 | 砲兵 | 步兵 | 原  | 原 | 第六師團 | 第六師團 |

但シ沖繩縣ニハ目下第六師團ヨリ步兵一中隊ヲ分遣ス  
要塞砲兵配備

○海軍管區表

| 第一                         | 第二  | 第三  | 第四                                  |
|----------------------------|---|---|-------------------------------------|
| 陸中國南九州北閉伊那界ヨリ紀伊國南半東半東界ニ至ル海 | 紀伊國南半東半東界ヨリ石見、長門國界ニ至ル又筑前豐前國界ヨリ九州東海岸ニ沿ヒ日向國南那珂、南諸縣郡界ニ至ル | 筑前、豐前國界ヨリ九州西海岸ニ沿ヒ日向國南那珂、南諸縣郡界ニ至ルノ海岸海面及豐前、對馬、沖繩諸島ノ海岸海面 | 石見、長門國界ヨリ羽後、隱岐國界ニ至ルノ海岸海面及隱岐、佐渡ノ海岸海面 |
| 相模國三津郡                     | 安藝國安藝郡  | 肥前國東彼杵郡   | 丹波國加佐郡                              |
| 橫須賀鎮守府                     | 吳鎮守府  | 佐世保鎮守府  | 舞鶴鎮守府                               |
| 一、〇五七                      | 二、〇六七   | 一、四九七   | 一、〇五五                               |

第五 北海道、陸奧國及陸中國北九州南九州兩郡海岸海面

禮部國空關郡 空關鎮守府

二、二七六

○帝國軍鑑表

| 種類    | 名   | 實 | 種 | 進 | 水 | 噸 | 數      | 馬 | 力      | 砲 | 數  | 速 | 力     |
|-------|-----|---|---|---|---|---|--------|---|--------|---|----|---|-------|
| 一等戰艦  | 初日  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 一五、四四三 |   | 一五、〇〇〇 |   | 五〇 |   |       |
| 二等戰艦  | 敷島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 一五、二四〇 |   | 一四、七〇〇 |   | 五〇 |   |       |
| 一等巡洋艦 | 常盤  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 一二、六四九 |   | 一三、六八七 |   | 三八 |   | 一八、二五 |
| 二等巡洋艦 | 八島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 一二、五一七 |   | 一三、六八七 |   | 三八 |   | 一八、二五 |
| 一等驅逐艦 | 香取  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 九、八五五  |   | 一八、〇〇〇 |   | 三七 |   | 二一、五〇 |
| 二等驅逐艦 | 八雲  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 九、八五五  |   | 一八、〇〇〇 |   | 三七 |   | 二一、五〇 |
| 一等水雷艦 | 千代田 | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 七、三三五  |   | 一五、五〇〇 |   | 一八 |   | 一四、二五 |
| 二等水雷艦 | 松島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、九七八  |   | 一七、〇〇〇 |   | 三〇 |   | 二二、五〇 |
| 一等防護艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、八三六  |   | 一五、五〇〇 |   | 三〇 |   | 二二、五〇 |
| 二等防護艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 三一 |   | 一六、〇〇 |
| 一等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 二等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 三等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 一等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 二等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 三等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 一等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 二等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 三等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 一等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 二等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 三等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 一等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 二等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |
| 三等水雷艦 | 高島  | 全 | 全 | 製 | 中 |   | 四、二七八  |   | 一五、四〇〇 |   | 二八 |   | 一六、〇〇 |







○帝國水雷艇表

| 艇名  | 艘數 | 種類 | 艇質 | 噸 | 數速  | 力  | 長   | 實馬力  | 水雷發射管 |
|-----|----|----|----|---|-----|----|-----|------|-------|
| 小鷹  | 一  | 一等 | 鋼  |   | 一九〇 | 一九 | 四七〇 | 一四〇〇 | 六     |
| 福龍  | 一  | 全  |    |   | 一二八 | 二四 | 一四四 | 一六〇〇 | 二     |
| 番號付 | 二  | 二等 | 全  |   | 九〇  | 二三 | 一二五 | 一三〇〇 | 三     |
| 全   | 一  | 全  | 全  |   | 七五  | 二三 | 一一八 | 一三〇〇 | 二     |
| 全   | 二  | 全  | 全  |   | 五三  | 二〇 | 一一五 | 五二五  | 二     |
| 全   | 一〇 | 三等 | 全  |   |     |    | 一一〇 |      |       |
| 準   | 一  | 全  | 全  |   |     |    |     |      |       |

○租稅納期一覽

| 地種           | 租額       | 項目 | 稅率 | 納額   | 徵收區分             | 納期            |
|--------------|----------|----|----|------|------------------|---------------|
| 細租、郡村宅地租、雜地租 | 地價百分ノ二ケ半 | 價  | 五分 | 第一期  | 九月一日ヨリ全月三十日限     | 十一月一日ヨリ全月三十日限 |
| 田租           | 全        |    | 五分 | 第二期  |                  |               |
| 市街宅地租        | 全        |    | 五分 | 第三期  | 十二月十六日ヨリ翌年一月十五日限 |               |
| 延納年賦         |          |    | 五分 | 第四期  | 翌年二月一日ヨリ全月二十八日限  |               |
| 北海道地租        | 地價百分ノ一   |    | 五分 | 第五期  | 全三月一日ヨリ全月三十一日限   |               |
|              |          |    | 五分 | 第六期  | 全五月一日ヨリ全月三十一日限   |               |
|              |          |    | 五分 | 前半年分 | 七月三十一日限          |               |
|              |          |    | 五分 | 後半年分 | 翌年一月三十一日限        |               |
|              |          |    | 五分 | 前年分  | 五月一日ヨリ全月三十一日限    |               |

地租ハ地價百分ノ二箇半ヲ以テ一年ノ定率トス  
 明治三十二年分ヨリ全三十六年分迄地租ニ於テ地價百分ノ八市街宅地租ニ於テ地價百分ノ二箇半ヲ増徴ス

| 所得                                     | 稅率     | 納額 | 徵收區分 | 納期     |
|--|--------|----|------|--------|
| 第一種 法人ノ所得                              | 千分ノ二十五 |    |      |        |
| 第二種 此法律施行地ニ於テ支拂ヲナス公債社債ノ利子              | 千分ノ二十  |    |      |        |
| 第三種 前各種ニ關セサル所得                         | 千分ノ二十五 |    |      |        |
| 十萬圓以上                                  | 千分ノ五十五 | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 三萬圓以上                                  | 千分ノ四十五 | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 一萬圓以上                                  | 千分ノ三十五 | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 五千圓以上                                  | 千分ノ二十五 | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 二千圓以上                                  | 千分ノ十七  | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 五百圓以上                                  | 千分ノ十二  | 五分 | 前半年分 | 九月三十日限 |
| 一月主及其同居家族ノ所得ハ第三種ニ限リ之ヲ合算シ其ノ總額ニ依リ右ノ稅率ヲ定ム |        |    |      |        |
| 一月主ト別居スル家族二人以上同居スルトハ亦同シ                |        |    |      |        |
| 一左ノ所得ニハ所得稅ヲ課セス、                        |        |    |      |        |







| 營業稅     | 營業額稅    | 麥酒稅      | 酒類及酒類含稅   |
|---------|---------|----------|---|
| 營業稅     | 營業額稅    | 一石ニ付 金七圓 | 一石ニ付原容量百分中純酒精ノ容量一箇毎ニ金七十五錢<br>但一石ニ付金十六圓ノ割合ヲ下ルテ得ス |
| 前半年分    | 前半年分    | 後半年分     | 後半年分  |
| 五月三十一日限 | 三月三十一日限 | 十一月三十日限  | 十二月十五日限   |

各種手数料

- 一 特許願書 每一件 金五圓
- 二 追加特許願書 每一件 金三圓
- 三 特許證改訂願書 每一件 金五圓
- 四 特許證分割願書 每一件 金五圓
- 五 意匠登錄願書 每一件 金一圓
- 六 商標登錄願書 每一件 金三圓
- 七 標章登錄願書 每一件 金三圓
- 八 商標登錄續用登錄願書 每一件 金二圓
- 九 再審査請求書 每一件 金三圓
- 十 審判請求書 每一件 金十二圓

特許、意匠、商標ニ關スル手数料

- 十一 書類ノ謄本ノ請求書 謄本十三行二十五字詰一枚ニ付金十錢、字數一枚ニ付金十錢ノハ一枚トス、歐文書類ノ謄本ハ百圓ニ付金十錢百語末滿亦同シ、圖面一枚ニ付金三十圓以上、金三十圓以下ニ於テ圖面ノ題易ニ從ヒ特許局長ノ定ムル金額
- 十二 圖面ノ複製ノ請求書 每一件 金二十一圓
- 十三 原簿ノ一覽ノ請求書 每一件 金一圓
- 十四 博覽會又ハ共進會ノ出品ニ關スル願書 每一件 金壹圓

公證人手數料

●手数料ハ原本一枚ニ付二十五錢正本及謄本ハ一枚ニ付金十錢但一行二十字二十行ヲ以テ一枚トシ十行以上ハ一枚十行以下ハ半枚ヲ以テ算ス

●囑託人ノ求メニ依リ先ツ證書ノ草案ヲ渡シ後其原本ヲ作リタルトキハ草案ノ手数料ヲ別ニ請求スルヲ得ス但シ原本ヲ作ラサルトキハ原本手数料ノ半額ヲ受クルヲ得

●公證人其役場ヨリ一里以外ノ地ニ往テ職務ヲ行フトキハ往返トモ一里毎ニ二十錢ノ旅費ヲ受ク其職務ノ爲メ或ハ災變ノ爲メ其場所又ハ途中ニ滞留スルトキハ日常七十錢ヲ受クルヲ得

執達吏手数料

- 書類送達手数料 一通ニ付五錢
  - 差押假差押ノ手数料 執行スヘキ債權額
  - 二十圓マテ 三十錢
  - 五十圓マテ 五十錢
  - 百圓マテ 七十五錢
  - 二百五十圓マテ 一圓
  - 五百圓マテ 一圓廿五錢
  - 千圓マテ 一圓五十錢
  - 千圓ヲ超ユルトキハ二圓トス
- 執務三時間ニ涉ルトキハ一時間毎ニ右手數料ノ

各種手数料

十分ノ三ヲ加フ但シ一時間未滿ハ一時間ニ算ス

●差押ヲ爲スヘキ場所ニ臨ムト雖差押ノ物ナキトキ又ハ差押物ヲ換價スルモ強制執行費ヲ償フテ剩餘ノ見込ナキトキハ前定手数料ノ半額ヲ受ク

●動産不動産及船舶ノ競賣手数料

- 競賣金額
  - 二十圓マテ 六十錢
  - 五十圓マテ 一圓
  - 百圓マテ 一圓五十錢
  - 二百五十圓マテ 二圓
  - 五百圓マテ 二圓五十錢
  - 千圓マテ 四圓
  - 以上千圓毎ニ一圓ヲ加フ
- 執行ノ爲メ其場所ニ臨マサル以前ニ和解ニ依リ又ハ委任消滅ニ依リ中止セル時又ハ支拂若ハ引渡ニ依リ委任終了シタル時ハ手数料三十錢既ニ場所ニ臨ミタル後ナル時ハ五十錢トス
- 拒絕證書作成手数料 金拾錢
- 拒絕者ノ營業場又ハ住居ノ間合ヲ爲シ拒絕書ヲ作リタルトキハ二十錢トス

百十九



海外旅券手数料

海外旅券 ハ外國ニ於テ日本國民タルヲ證明スル者ニ付外國へ旅行スル者ハ外務省又ハ開港場官廳へ願出テ(郵便ヲ以テ願フヲ得)左ノ手数料ヲ納メテ之ヲ受取其券面へ當人姓名ヲ自記スベシ

旅券手数料 一枚ニ付キ金五拾錢

但一人一枚ニ限ルト雖五歳以下ノ小兒其父母同道ノトキハ父母ノ旅券ニ附記ス

内地ニ於テ旅券ヲ請取ル間合ナキカ又ハ海外ニ於テ遺失シタルトキハ在外本邦公使館又ハ領事館へ其趣ヲ書面ニ記シ自身願出テ之ヲ受クベシ但シ手数料金貳圓トス

公用又ハ官費留學等ニテ旅行スルモノ内地ニ於テハ其官廳ヨリ外務省へ掛合海外ニ於テハ前項ニ從ヒ旅券ヲ受取ヘシ但シ手数料ヲ要セス

朝鮮國へ旅行スルモノニ限リ左ノ縣廳ニ出願旅券ヲ受取ルヲ得

廣島 山口 島根 福岡  
 鹿島 長崎縣原支廳 沖繩  
 丹後國宮津港ヨリ露領浦潮斯德及朝鮮國へ渡航ス

ル者ニ限リ京都府廳へ出願旅券ヲ受クルヲ得

外國船ニ乗込旅行セント欲スル者ハ其出船地ノ廳へ自身出願乘船證書ヲ受クベシ

乘船證書手数料 一枚ニ付金拾錢

但一人一枚ノコト

各種試験手数料

- 高等文官試験 金拾圓
- 普通文官試験 金貳圓
- 外交官及領事官試験 金拾圓
- 全書記生試験 金貳圓
- 判檢事試験 金拾圓
- 辨護士試験 金拾圓
- 尋常師範學校教員檢定試験 金貳圓
- 尋常中學校同上 金貳圓
- 高等女學校同上 金貳圓
- 右三校教員免許料 金壹圓
- 醫師開業試験 前期 金六圓五十錢 後期 金九圓
- 齒科 金九圓
- 藥劑師試驗 金六圓

利息早見表

此表は倍に云ふ十五兩一分、二十兩一分、二十五兩一分に對する一箇年、一箇月及び一日の利息金額を示したるものなり

| 元金   | 年二割の利息、即ち(二十兩) |      |      | 年一割五分の利息、即ち(十五兩) |        |        | 年一割二分の利息、即ち(十二兩) |      |        |
|------|----------------|------|------|------------------|--------|--------|------------------|------|--------|
|      | 一ヶ月            | 一ヶ月  | 一日   | 一ヶ月              | 一ヶ月    | 一日     | 一ヶ月              | 一ヶ月  | 一日     |
| 一圓   | 二錢             | 一錢六厘 | 五毛   | 一圓               | 一錢五厘   | 四錢一厘   | 一圓               | 一錢二厘 | 三錢三厘   |
| 二圓   | 四錢             | 三錢二厘 | 一圓   | 二圓               | 三錢     | 八錢二厘   | 二圓               | 二錢四厘 | 六錢六厘   |
| 三圓   | 六錢             | 四錢八厘 | 一圓五毛 | 三圓               | 四錢五厘   | 一圓一錢七厘 | 三圓               | 三錢六厘 | 九錢九厘   |
| 四圓   | 八錢             | 六錢四厘 | 二圓   | 四圓               | 六錢     | 一圓二錢七厘 | 四圓               | 四錢八厘 | 一圓二錢三厘 |
| 五圓   | 一圓             | 八錢   | 二圓五毛 | 五圓               | 七錢五厘   | 一圓三錢七厘 | 五圓               | 五錢九厘 | 一圓三錢六厘 |
| 十圓   | 二圓             | 一圓六錢 | 五圓   | 十圓               | 一圓五錢   | 二圓七錢七厘 | 十圓               | 一圓一錢 | 二圓七錢三厘 |
| 十五圓  | 三圓             | 二圓四錢 | 七圓五毛 | 十五圓              | 二圓二錢五厘 | 四圓一錢七厘 | 十五圓              | 一圓六錢 | 三圓四錢三厘 |
| 二十圓  | 四圓             | 三圓二錢 | 一圓   | 二十圓              | 二圓九錢   | 五圓一錢七厘 | 二十圓              | 二圓二錢 | 四圓一錢三厘 |
| 二十五圓 | 五圓             | 四圓   | 一圓二錢 | 二十五圓             | 三圓六錢   | 六圓一錢七厘 | 二十五圓             | 二圓八錢 | 四圓八錢三厘 |
| 三十圓  | 六圓             | 四圓八錢 | 一圓四錢 | 三十圓              | 四圓二錢   | 七圓一錢七厘 | 三十圓              | 三圓四錢 | 五圓五錢三厘 |
| 四十圓  | 八圓             | 六圓四錢 | 一圓九錢 | 四十圓              | 五圓六錢   | 八圓一錢七厘 | 四十圓              | 四圓   | 六圓二錢三厘 |
| 五十圓  | 一圓             | 八圓   | 二圓二錢 | 五十圓              | 六圓二錢   | 九圓一錢七厘 | 五十圓              | 四圓六錢 | 七圓     |
| 六十圓  | 一圓二錢           | 八圓六錢 | 二圓四錢 | 六十圓              | 六圓八錢   | 九圓七錢七厘 | 六十圓              | 五圓二錢 | 七圓六錢三厘 |
| 七十圓  | 一圓四錢           | 九圓二錢 | 二圓六錢 | 七十圓              | 七圓四錢   | 一圓零錢七厘 | 七十圓              | 五圓八錢 | 八圓二錢三厘 |
| 八十圓  | 一圓六錢           | 九圓八錢 | 二圓八錢 | 八十圓              | 八圓     | 一圓一錢七厘 | 八十圓              | 六圓四錢 | 八圓八錢三厘 |
| 九十圓  | 一圓八錢           | 一圓零錢 | 三圓   | 九十圓              | 八圓六錢   | 一圓二錢七厘 | 九十圓              | 七圓   | 九圓四錢三厘 |







出合ふ所の八十三圓三十三錢三厘にて百圓券を買入るものと知るべし又、年一割の配當を爲す銀行株券、額面百圓のものを時價二百圓にて買受るとき此利率、如何と問はば横線の一割と買受金額の二百圓と出合ふ所の上欄、即五分なることを知るなり

| 利率   | 割合      | 一分      | 二分      | 三分      | 四分      | 五分      | 六分      | 七分      | 八分      | 九分      | 一割        |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 一分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 一分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 二分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 二分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 三分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 三分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 四分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 四分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 五分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 五分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 六分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 六分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 七分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 七分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |
| 八分   | 100.000 | 100.000 | 200.000 | 300.000 | 400.000 | 500.000 | 600.000 | 700.000 | 800.000 | 900.000 | 1,000.000 |
| 八分五厘 | 100.000 | 100.000 | 150.000 | 200.000 | 250.000 | 300.000 | 350.000 | 400.000 | 450.000 | 500.000 | 550.000   |

○預金利殖表

此表は小口當座預金百圓に付日歩一錢八厘の割合を以て初年一月一日に預り利息は六月、十二月の末日に計算して七月一日と翌年一月一日に預主に渡し更に同日之を銀行に預かると假定して其預高、及び年數に應ずる元利金を示したるものなり

| 年次   | 元金        | 元利     | 元金        | 元利     | 元金        | 元利     |
|------|-----------|--------|-----------|--------|-----------|--------|
| 初年   | 600.000   | 6.115  | 606.115   | 6.232  | 612.347   | 6.350  |
| 五年   | 300.000   | 3.553  | 303.553   | 3.611  | 307.164   | 3.673  |
| 十年   | 600.000   | 12.457 | 606.457   | 12.914 | 613.371   | 13.381 |
| 十五年  | 900.000   | 19.232 | 909.232   | 19.745 | 919.977   | 20.284 |
| 二十年  | 1,200.000 | 25.987 | 1,205.987 | 26.581 | 1,213.568 | 27.194 |
| 廿五年  | 1,500.000 | 32.722 | 1,502.722 | 33.386 | 1,507.108 | 34.007 |
| 三十年末 | 1,800.000 | 39.437 | 1,803.437 | 40.101 | 1,808.538 | 40.634 |



○米價早見表

(凡べて「ます」のはかり  
ねだんに用ふるも同一)

| 壹圓に付 | 一俵の代價<br>(四斗入) | 一石の代價  | 壹圓に付 | 一俵の代價<br>(四斗入) | 一石の代價  | 壹圓に付 | 一俵の代價<br>(四斗入) | 一石の代價 |
|------|----------------|--------|------|----------------|--------|------|----------------|-------|
| 五〇   | 八,〇〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 九五   | 四,二〇〇          | 一〇,五〇〇 | 一四〇  | 二,八〇〇          | 七,一〇〇 |
| 五一   | 七,八〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 九六   | 四,一〇〇          | 一〇,四〇〇 | 一四一  | 二,八〇〇          | 七,〇〇〇 |
| 五二   | 七,六〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 九七   | 四,〇〇〇          | 一〇,三〇〇 | 一四二  | 二,八〇〇          | 六,九〇〇 |
| 五三   | 七,四〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 九八   | 三,九〇〇          | 一〇,二〇〇 | 一四三  | 二,八〇〇          | 六,八〇〇 |
| 五四   | 七,二〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 九九   | 三,八〇〇          | 一〇,一〇〇 | 一四四  | 二,八〇〇          | 六,七〇〇 |
| 五五   | 七,〇〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇〇  | 三,七〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一四五  | 二,八〇〇          | 六,六〇〇 |
| 五六   | 六,八〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇一  | 三,六〇〇          | 九,九〇〇  | 一四六  | 二,八〇〇          | 六,五〇〇 |
| 五七   | 六,六〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇二  | 三,五〇〇          | 九,八〇〇  | 一四七  | 二,八〇〇          | 六,四〇〇 |
| 五八   | 六,四〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇三  | 三,四〇〇          | 九,七〇〇  | 一四八  | 二,八〇〇          | 六,三〇〇 |
| 五九   | 六,二〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇四  | 三,三〇〇          | 九,六〇〇  | 一四九  | 二,八〇〇          | 六,二〇〇 |
| 六〇   | 六,〇〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇五  | 三,二〇〇          | 九,五〇〇  | 一五〇  | 二,八〇〇          | 六,一〇〇 |
| 六一   | 五,八〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇六  | 三,一〇〇          | 九,四〇〇  | 一五一  | 二,八〇〇          | 六,〇〇〇 |
| 六二   | 五,六〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇七  | 三,〇〇〇          | 九,三〇〇  | 一五二  | 二,八〇〇          | 五,九〇〇 |
| 六三   | 五,四〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇八  | 二,九〇〇          | 九,二〇〇  | 一五三  | 二,八〇〇          | 五,八〇〇 |
| 六四   | 五,二〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一〇九  | 二,八〇〇          | 九,一〇〇  | 一五四  | 二,八〇〇          | 五,七〇〇 |
| 六五   | 五,〇〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一〇  | 二,七〇〇          | 九,〇〇〇  | 一五五  | 二,八〇〇          | 五,六〇〇 |
| 六六   | 四,八〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一一  | 二,六〇〇          | 八,九〇〇  | 一五六  | 二,八〇〇          | 五,五〇〇 |
| 六七   | 四,六〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一二  | 二,五〇〇          | 八,八〇〇  | 一五七  | 二,八〇〇          | 五,四〇〇 |
| 六八   | 四,四〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一三  | 二,四〇〇          | 八,七〇〇  | 一五八  | 二,八〇〇          | 五,三〇〇 |
| 六九   | 四,二〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一四  | 二,三〇〇          | 八,六〇〇  | 一五九  | 二,八〇〇          | 五,二〇〇 |
| 七〇   | 四,〇〇〇          | 一〇,〇〇〇 | 一一五  | 二,二〇〇          | 八,五〇〇  | 一六〇  | 二,八〇〇          | 五,一〇〇 |

|     |       |        |     |       |       |     |       |       |
|-----|-------|--------|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
| 七一  | 五,〇〇〇 | 一四,〇七五 | 一一六 | 二,一〇〇 | 八,四〇〇 | 一六一 | 二,八〇〇 | 六,二〇〇 |
| 七二  | 四,八〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一一七 | 二,〇〇〇 | 八,三〇〇 | 一六二 | 二,八〇〇 | 六,一〇〇 |
| 七三  | 四,六〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一一八 | 一,九〇〇 | 八,二〇〇 | 一六三 | 二,八〇〇 | 六,〇〇〇 |
| 七四  | 四,四〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一一九 | 一,八〇〇 | 八,一〇〇 | 一六四 | 二,八〇〇 | 五,九〇〇 |
| 七五  | 四,二〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二〇 | 一,七〇〇 | 八,〇〇〇 | 一六五 | 二,八〇〇 | 五,八〇〇 |
| 七六  | 四,〇〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二一 | 一,六〇〇 | 七,九〇〇 | 一六六 | 二,八〇〇 | 五,七〇〇 |
| 七七  | 三,八〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二二 | 一,五〇〇 | 七,八〇〇 | 一六七 | 二,八〇〇 | 五,六〇〇 |
| 七八  | 三,六〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二三 | 一,四〇〇 | 七,七〇〇 | 一六八 | 二,八〇〇 | 五,五〇〇 |
| 七九  | 三,四〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二四 | 一,三〇〇 | 七,六〇〇 | 一六九 | 二,八〇〇 | 五,四〇〇 |
| 八〇  | 三,二〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二五 | 一,二〇〇 | 七,五〇〇 | 一七〇 | 二,八〇〇 | 五,三〇〇 |
| 八一  | 三,〇〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二六 | 一,一〇〇 | 七,四〇〇 | 一七一 | 二,八〇〇 | 五,二〇〇 |
| 八二  | 二,八〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二七 | 一,〇〇〇 | 七,三〇〇 | 一七二 | 二,八〇〇 | 五,一〇〇 |
| 八三  | 二,六〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二八 | 九〇〇   | 七,二〇〇 | 一七三 | 二,八〇〇 | 五,〇〇〇 |
| 八四  | 二,四〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一二九 | 八〇〇   | 七,一〇〇 | 一七四 | 二,八〇〇 | 四,九〇〇 |
| 八五  | 二,二〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三〇 | 七〇〇   | 七,〇〇〇 | 一七五 | 二,八〇〇 | 四,八〇〇 |
| 八六  | 二,〇〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三一 | 六〇〇   | 六,九〇〇 | 一七六 | 二,八〇〇 | 四,七〇〇 |
| 八七  | 一,八〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三二 | 五〇〇   | 六,八〇〇 | 一七七 | 二,八〇〇 | 四,六〇〇 |
| 八八  | 一,六〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三三 | 四〇〇   | 六,七〇〇 | 一七八 | 二,八〇〇 | 四,五〇〇 |
| 八九  | 一,四〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三四 | 三〇〇   | 六,六〇〇 | 一七九 | 二,八〇〇 | 四,四〇〇 |
| 九〇  | 一,二〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三五 | 二〇〇   | 六,五〇〇 | 一八〇 | 二,八〇〇 | 四,三〇〇 |
| 九一  | 一,〇〇〇 | 一四,〇〇〇 | 一三六 | 一〇〇   | 六,四〇〇 | 一八一 | 二,八〇〇 | 四,二〇〇 |
| 九二  | 九〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一三七 | 〇     | 六,三〇〇 | 一八二 | 二,八〇〇 | 四,一〇〇 |
| 九三  | 八〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一三八 |       | 六,二〇〇 | 一八三 | 二,八〇〇 | 四,〇〇〇 |
| 九四  | 七〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一三九 |       | 六,一〇〇 | 一八四 | 二,八〇〇 | 三,九〇〇 |
| 九五  | 六〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四〇 |       | 六,〇〇〇 | 一八五 | 二,八〇〇 | 三,八〇〇 |
| 九六  | 五〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四一 |       | 五,九〇〇 | 一八六 | 二,八〇〇 | 三,七〇〇 |
| 九七  | 四〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四二 |       | 五,八〇〇 | 一八七 | 二,八〇〇 | 三,六〇〇 |
| 九八  | 三〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四三 |       | 五,七〇〇 | 一八八 | 二,八〇〇 | 三,五〇〇 |
| 九九  | 二〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四四 |       | 五,六〇〇 | 一八九 | 二,八〇〇 | 三,四〇〇 |
| 一〇〇 | 一〇〇   | 一四,〇〇〇 | 一四五 |       | 五,五〇〇 | 一九〇 | 二,八〇〇 | 三,三〇〇 |







○年曆表

我邦年號孝德朝大化に始り白雉以後年號なく天武朝又朱鳥の號あり後又經へて文武朝大寶の號を立以來年號絶ゆるとなし或傳天智天武朝の間白風朱雀あり然て其年代を詳せず且北朝年號の如き正統に非るものは省て載せざるなり

Table of Japanese calendar entries (left page) with columns for month, day, and year name (e.g., 壬寅, 乙未, 丙申).

Table of Japanese calendar entries (right page) with columns for month, day, and year name (e.g., 壬寅, 乙未, 丙申).



求年表

|    |        |        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|----|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 甲  | 明和 申二黒 | 乙      | 西一白 | 丙   | 戌九紫 | 丁   | 亥八白 | 戊   | 子七赤 | 己   | 丑六白 | 庚   | 寅五黄 | 辛   | 卯四緑 | 壬   | 辰三紫 | 癸   | 巳二黒 |     |
| 二  | 午一白    | 四      | 未九紫 | 五   | 申八白 | 六   | 酉七赤 | 七   | 戌六白 | 八   | 亥五黄 | 九   | 子四緑 | 十   | 丑三紫 | 十一  | 寅二黒 | 十二  | 卯一白 |     |
| 三  | 辰九紫    | 五      | 巳八白 | 六   | 午七赤 | 七   | 未六白 | 八   | 申五黄 | 九   | 酉四緑 | 十   | 戌三紫 | 十一  | 亥二黒 | 十二  | 子一白 | 十三  | 丑九紫 |     |
| 四  | 寅八白    | 七      | 卯七赤 | 八   | 辰六白 | 九   | 巳五黄 | 十   | 午四緑 | 十一  | 未三紫 | 十二  | 申二黒 | 十三  | 酉一白 | 十四  | 戌九紫 | 十五  | 亥八白 |     |
| 五  | 子七赤    | 二      | 丑六白 | 三   | 寅五黄 | 四   | 卯四緑 | 五   | 辰三紫 | 六   | 巳二黒 | 七   | 午一白 | 八   | 未九紫 | 九   | 申八白 | 十   | 酉七赤 |     |
| 六  | 戌六白    | 七      | 亥五黄 | 八   | 子四緑 | 九   | 丑三紫 | 十   | 寅二黒 | 十一  | 卯一白 | 十二  | 辰九紫 | 十三  | 巳八白 | 十四  | 午七赤 | 十五  | 未六白 |     |
| 七  | 申五黄    | 八      | 酉四緑 | 九   | 戌三紫 | 十   | 亥二黒 | 十一  | 子一白 | 十二  | 丑九紫 | 十三  | 寅八白 | 十四  | 卯七赤 | 十五  | 辰六白 | 十六  | 巳五黄 |     |
| 八  | 午四緑    | 六      | 未三紫 | 七   | 申二黒 | 八   | 酉一白 | 九   | 戌九紫 | 十   | 亥八白 | 十一  | 子七赤 | 十二  | 丑六白 | 十三  | 寅五黄 | 十四  | 卯四緑 |     |
| 九  | 辰三紫    | 二      | 巳二黒 | 三   | 午一白 | 四   | 未九紫 | 五   | 申八白 | 六   | 酉七赤 | 七   | 戌六白 | 八   | 亥五黄 | 九   | 子四緑 | 十   | 丑三紫 |     |
| 十  | 寅二黒    | 二      | 卯一白 | 三   | 辰九紫 | 四   | 巳八白 | 五   | 午七赤 | 六   | 未六白 | 七   | 申五黄 | 八   | 酉四緑 | 九   | 戌三紫 | 十   | 亥二黒 |     |
| 十一 | 子一白    | 慶應 丑九紫 | 二   | 寅八白 | 三   | 卯七赤 | 四   | 辰六白 | 五   | 巳五黄 | 六   | 午四緑 | 七   | 未三紫 | 八   | 申二黒 | 九   | 酉一白 | 十   | 戌九紫 |
| 十二 | 戌九紫    | 八      | 亥八白 | 九   | 子七赤 | 十   | 丑六白 | 十一  | 寅五黄 | 十二  | 卯四緑 | 十三  | 辰三紫 | 十四  | 巳二黒 | 十五  | 午一白 | 十六  | 未九紫 |     |
| 十三 | 申八白    | 十八     | 酉七赤 | 十九  | 戌六白 | 二十  | 亥五黄 | 二十一 | 子四緑 | 二十二 | 丑三紫 | 二十三 | 寅二黒 | 二十四 | 卯一白 | 二十五 | 辰九紫 | 二十六 | 巳八白 |     |
| 十四 | 午七赤    | 廿八     | 未六白 | 廿九  | 申五黄 | 三十  | 酉四緑 | 卅一  | 戌三紫 | 卅二  | 亥二黒 | 卅三  | 子一白 | 卅四  | 丑九紫 | 卅五  | 寅八白 | 卅六  | 卯七赤 |     |
| 十五 | 辰九紫    | 廿七     | 巳八白 | 廿八  | 午七赤 | 廿九  | 未六白 | 三十  | 申五黄 | 卅一  | 酉四緑 | 卅二  | 戌三紫 | 卅三  | 亥二黒 | 卅四  | 子一白 | 卅五  | 丑九紫 |     |

月数表

|      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |      |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 生れ月  | 現在月 | 一月  | 二月  | 三月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月  |
| 一月生  | 一月  | 一月  | 二月  | 三月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月  |
| 二月生  | 二月  | 二月  | 三月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年  |
| 三月生  | 三月  | 三月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年  |
| 四月生  | 四月  | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年  |
| 五月生  | 五月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年  |
| 六月生  | 六月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年  |
| 七月生  | 七月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年  |
| 八月生  | 八月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年 | 満七年  |
| 九月生  | 九月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年 | 満七年 | 満八年  |
| 十月生  | 十月  | 十月  | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年 | 満七年 | 満八年 | 満九年  |
| 十一月生 | 十一月 | 十一月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年 | 満七年 | 満八年 | 満九年 | 満十年  |
| 十二月生 | 十二月 | 十二月 | 満一年 | 満二年 | 満三年 | 満四年 | 満五年 | 満六年 | 満七年 | 満八年 | 満九年 | 満十年 | 満十一年 |

此表は年数月数を早く知る表なり例へば天保八年五月生にして現在の月一月をれば先づ年表にて生れ年の年数を採り満年六十一年を求め置き之れに月表にて生れ月五月と現在月一月と出合ふ處の九月を求め前年数に加ふれば六十一年九月即満年を得るなり



日数早見表

| 一月 | 二月 | 三月 | 四月  | 五月  | 六月  | 七月  | 八月  | 九月  | 十月  | 十一月 | 十二月 |
|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 1  | 32 | 60 | 91  | 121 | 152 | 182 | 213 | 244 | 274 | 305 | 335 |
| 2  | 33 | 61 | 92  | 122 | 153 | 183 | 214 | 245 | 275 | 306 | 336 |
| 3  | 34 | 62 | 93  | 123 | 154 | 184 | 215 | 246 | 276 | 307 | 337 |
| 4  | 35 | 63 | 94  | 124 | 155 | 185 | 216 | 247 | 277 | 308 | 338 |
| 5  | 36 | 64 | 95  | 125 | 156 | 186 | 217 | 248 | 278 | 309 | 339 |
| 6  | 37 | 65 | 96  | 126 | 157 | 187 | 218 | 249 | 279 | 310 | 340 |
| 7  | 38 | 66 | 97  | 127 | 158 | 188 | 219 | 250 | 280 | 311 | 341 |
| 8  | 39 | 67 | 98  | 128 | 159 | 189 | 220 | 251 | 281 | 312 | 342 |
| 9  | 40 | 68 | 99  | 129 | 160 | 190 | 221 | 252 | 282 | 313 | 343 |
| 10 | 41 | 69 | 100 | 130 | 161 | 191 | 222 | 253 | 283 | 314 | 344 |
| 11 | 42 | 70 | 101 | 131 | 162 | 192 | 223 | 254 | 284 | 315 | 345 |
| 12 | 43 | 71 | 102 | 132 | 163 | 193 | 224 | 255 | 285 | 316 | 346 |
| 13 | 44 | 72 | 103 | 133 | 164 | 194 | 225 | 256 | 286 | 317 | 347 |
| 14 | 45 | 73 | 104 | 134 | 165 | 195 | 226 | 257 | 287 | 318 | 348 |
| 15 | 46 | 74 | 105 | 135 | 166 | 196 | 227 | 258 | 288 | 319 | 349 |
| 16 | 47 | 75 | 106 | 136 | 167 | 197 | 228 | 259 | 289 | 320 | 350 |
| 17 | 48 | 76 | 107 | 137 | 168 | 198 | 229 | 260 | 290 | 321 | 351 |
| 18 | 49 | 77 | 108 | 138 | 169 | 199 | 230 | 261 | 291 | 322 | 352 |
| 19 | 50 | 78 | 109 | 139 | 170 | 200 | 231 | 262 | 292 | 323 | 353 |
| 20 | 51 | 79 | 110 | 140 | 171 | 201 | 232 | 263 | 293 | 324 | 354 |
| 21 | 52 | 80 | 111 | 141 | 172 | 202 | 233 | 264 | 294 | 325 | 355 |
| 22 | 53 | 81 | 112 | 142 | 173 | 203 | 234 | 265 | 295 | 326 | 356 |
| 23 | 54 | 82 | 113 | 143 | 174 | 204 | 235 | 266 | 296 | 327 | 357 |
| 24 | 55 | 83 | 114 | 144 | 175 | 205 | 236 | 267 | 297 | 328 | 358 |
| 25 | 56 | 84 | 115 | 145 | 176 | 206 | 237 | 268 | 298 | 329 | 359 |
| 26 | 57 | 85 | 116 | 146 | 177 | 207 | 238 | 269 | 299 | 330 | 360 |
| 27 | 58 | 86 | 117 | 147 | 178 | 208 | 239 | 270 | 300 | 331 | 361 |
| 28 | 59 | 87 | 118 | 148 | 179 | 209 | 240 | 271 | 301 | 332 | 362 |
| 29 |    | 88 | 119 | 149 | 180 | 210 | 241 | 272 | 302 | 333 | 363 |
| 30 |    | 89 | 120 | 150 | 181 | 211 | 242 | 273 | 303 | 334 | 364 |
| 31 |    | 90 |     | 151 |     | 212 | 243 |     | 304 |     | 365 |

此表は一年中の日数を早く見る表なり例へば一月一日より七月五日までの日数を知らんせば先づ一月の欄の五の行を横に七月の欄まで進行し可し出合たる数字八十六日は其日数なり又三月七日より十月十八日までの日数を見るには先づ一月一日より十月十八日までの日数二百九十一日を求め置き之れより一月一日より三月六日までの日数六十五日を引去れば其日数二百二十六日を得るなり

親族忌服一覽

| (名稱)         | (忌日) | (服日)  | 備考                    |
|--------------|------|-------|-----------------------|
| 高祖父母         | 十日   | 三十日   | ○對面せざる嫡母              |
| 曾祖父母         | 二十日  | 九十日   | ○父の離別せし嫡母             |
| 右は父方だけに母方はなし |      |       | ○始より同居せざる繼父母          |
| 但し一日の遠慮をなすべし |      |       | ○離別を受けし繼母             |
| 父方祖父母        | 三十日  | 百五十日  | ○家督相續の養子實方の養繼嫡母       |
| 母方祖父母        | 二十日  | 九十日   | ○父母、父母夫妻              |
| 父母離別の祖母      | 二十日  | 九十日   | ○子孫及其配偶者              |
| 父母           | 五十日  | 百三十ヶ月 | ○兄弟、姉妹及其配偶者           |
| 養父母          | 三十日  | 百五十日  | ○兄弟、姉妹の子其配偶者          |
| 繼父母          | 三十日  | 三十日   | ○父母兄弟姉妹の子及其配偶者        |
| 夫            | 五十日  | 三十ヶ月  | ○父母兄弟姉妹の子及其配偶者        |
| 妻            | 二十日  | 九十日   | ○配偶者の祖父母、父母           |
| 夫の父母         | 三十日  | 百五十日  | ○配偶者の兄弟姉妹及其配偶者        |
| 離別の父母        | 五十日  | 百三十ヶ月 | ○配偶者の兄弟姉妹の子           |
| 父方伯叔父母       | 二十日  | 九十日   | ○配偶者の父母兄弟姉妹           |
| 母方伯叔父母       | 二十日  | 九十日   | ○祖父母と稱するは高曾祖父母外祖父母に同じ |
| 兄弟姉妹         | 二十日  | 九十日   | ○父母と稱するは繼父母嫡母と同じ      |
| 異父兄弟姉妹       | 二十日  | 九十日   | ○子孫と稱するは庶子支孫外孫も同じ     |
| 嫡子           | 二十日  | 九十日   | ○養子其養家に於ける親屬の例は實子に同じ  |
| 末子           | 二十日  | 九十日   |                       |
| 女子           | 二十日  | 九十日   |                       |







222  
68

同治三十四年十一月一日

明  
州

明  
州

明  
州

英  
州

英  
州

英  
州

英  
州

同治三十四年十一月一日

同治三十四年十一月一日



終

